

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
自己資本の構成に関する開示事項

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行連結）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ	
		2023年3月末	2022年3月末	別紙様式 第十四号 (CC2) の参照項目	
<b>普通株式等Tier1資本に係る基礎項目（1）</b>					
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	948,920	918,967		
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	267,215	267,203	(1) (2)	
2	うち、利益剰余金の額	755,517	714,455	(3)	
1c	うち、自己株式の額（△）	62,943	53,108	(4)	
26	うち、社外流出予定額（△）	10,868	9,582		
	うち、上記以外に該当するものの額	-	-		
1b	普通株式に係る新株予約権の額	-	-		
3	その他の包括利益累計額及びその他公表準備金の額	101,326	130,541	(5)	
5	普通株式等Tier1資本に係る調整後非支配株主持分の額	-	-		
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額 (イ)	1,050,247	1,049,508		
<b>普通株式等Tier1資本に係る調整項目（2）</b>					
8+9	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	9,878	10,035		
8	うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	-	-		
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額	9,878	10,035	(6)	
10	繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-		
11	繰延ヘッジ損益の額	853	4	(7)	
12	適格引当金不足額	22,298	16,832		
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-		
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	228	201		
15	退職給付に係る資産の額	12,939	12,535	(8)	
16	自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	107	92		
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-		
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	-	-		
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関するものの額	-	-		
20	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関するものの額	-	-		
21	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関するものの額	-	-		
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関するものの額	-	-		
24	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関するものの額	-	-		
25	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関するものの額	-	-		
27	その他Tier1資本不足額	-	-		
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額 (ロ)	46,306	39,702		
<b>普通株式等Tier1資本</b>					
29	普通株式等Tier1資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	1,003,940	1,009,805		
<b>その他Tier1資本に係る基礎項目（3）</b>					
30	31a	その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-	
	31b	その他Tier1資本調達手段に係る新株予約権の額	-	-	
	32	その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	-	-	
		特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	-	-	
34-35	その他Tier1資本に係る調整後非支配株主持分等の額	-	-		
33+35	適格旧Tier1資本調達手段の額のうちその他Tier1資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-		
33	うち、銀行及び銀行の特別目的会社等の発行する資本調達手段の額	-	-		
35	うち、銀行の連結子法人等（銀行の特別目的会社等を除く。）の発行する資本調達手段の額	-	-		
36	その他Tier1資本に係る基礎項目の額 (ニ)	-	-		

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

自己資本の構成に関する開示事項

(前ページより続く)

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行連結）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2023年3月末	2022年3月末	別紙様式 第十四号 (CC2) の参照項目
<b>その他Tier1資本に係る調整項目</b>				
37	自己保有その他Tier1資本調達手段の額	-	-	
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-	
39	少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-	
40	その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-	
42	Tier2資本不足額	-	-	
43	その他Tier1資本に係る調整項目の額 (ホ)	-	-	
<b>その他Tier1資本</b>				
44	その他Tier1資本の額 ((二) - (ホ)) (ハ)	-	-	
<b>Tier1資本</b>				
45	Tier1資本の額 ((ハ) + (ハ)) (ト)	1,003,940	1,009,805	
<b>Tier2資本に係る基礎項目 (4)</b>				
46	Tier2資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-	
	Tier2資本調達手段に係る新株予約権の額	-	-	
	Tier2資本調達手段に係る負債の額	8,489	14,482	
48-49	特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	-	-	
48-49	Tier2資本に係る調整後非支配株主持分等の額	-	-	
47+49	適格旧Tier2資本調達手段の額のうちTier2資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-	
47	うち、銀行及び銀行の特別目的会社等の発行する資本調達手段の額	-	-	
49	うち、銀行の連結子法人等（銀行の特別目的会社等を除く。）の発行する資本調達手段の額	-	-	
50	一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額	80	110	
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2算入額	80	110	
50b	うち、適格引当金Tier2算入額	-	-	
51	Tier2資本に係る基礎項目の額 (チ)	8,570	14,593	
<b>Tier2資本に係る調整項目 (5)</b>				
52	自己保有Tier2資本調達手段の額	-	-	
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-	
54	少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-	
55	その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-	
57	Tier2資本に係る調整項目の額 (リ)	-	-	
<b>Tier2資本</b>				
58	Tier2資本の額 ((チ) - (リ)) (ヌ)	8,570	14,593	
<b>総自己資本</b>				
59	総自己資本の額 ((ト) + (ヌ)) (ル)	1,012,510	1,024,399	

## CC1：自己資本の構成（銀行連結）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2023年3月末	2022年3月末	別紙様式 第十四号 (CC2) の参照項目
<b>リスク・アセット (6)</b>				
60	リスク・アセットの額 (ヲ)	8,698,680	8,455,907	
<b>連結自己資本比率及び資本バッファー (7)</b>				
61	連結普通株式等Tier1比率 ((ハ) / (ヲ))	11.54	11.94	
62	連結Tier1比率 ((ト) / (ヲ))	11.54	11.94	
63	連結総自己資本比率 ((ル) / (ヲ))	11.63	12.11	
64	最低連結資本バッファー比率	2.52	2.50	
65	うち、資本保全バッファー比率	2.50	2.50	
66	うち、カウンター・シクリカル・バッファー比率	0.02	0.00	
67	うち、G-SIB/D-SIB バッファー比率	-	-	
68	連結資本バッファー比率	3.63	4.11	
<b>調整項目に係る参考事項 (8)</b>				
72	少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額	82,847	90,013	
73	その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	15,268	13,229	
74	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	-	-	
75	繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	-	-	
<b>Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項 (9)</b>				
76	一般貸倒引当金の額	80	110	
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額	885	828	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）	-	-	
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額	41,458	40,399	
<b>資本調達手段に係る経過措置に関する事項 (10)</b>				
82	適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額	-	-	
83	適格旧Tier1資本調達手段の額から適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）	-	-	
84	適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額	-	-	
85	適格旧Tier2資本調達手段の額から適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）	-	-	

## 【自己資本の充実の状況】

## 【銀行 連結】

### 定性的な開示事項

#### 連結の範囲に関する事項

自己資本比率告示第三条の規定により連結自己資本比率を算出する対象となる会社の集団（以下、「連結グループ」という。）に属する会社と連結財務諸表規則第五条に規定する連結の範囲（特例企業会計基準等適用法人等（規則第十四条の七第三項に規定する特例企業会計基準等適用法人等をいう。）にあっては、その採用する企業会計の基準における連結の範囲。以下「会計連結範囲」という。）に含まれる会社との相違点及び当該相違点の生じた原因

該当事項はありません。

#### 連結グループのうち、連結子会社の数並びに主要な連結子会社の名称及び主要な業務の内容

連結子会社の数： 9社

主要な連結子会社の名称	主要な業務の内容
ちばぎん保証株式会社	信用保証業務、集金代行業務
ちばぎんジェーシーピーカード株式会社	クレジットカード、信用保証業務
ちばぎんディーシーカード株式会社	クレジットカード、信用保証業務
ちばぎんリース株式会社	リース業務
ちばぎん証券株式会社	証券業務

#### 自己資本比率告示第九条の規定が適用される金融業務を営む関連法人等の数、名称、貸借対照表の総資産の額及び純資産の額並びに主要な業務の内容

該当事項はありません。

#### 連結グループに属する会社であって会計連結範囲に含まれないもの及び連結グループに属しない会社であって会計連結範囲に含まれるものの名称、貸借対照表の総資産の額及び純資産の額並びに主要な業務の内容

該当事項はありません。

#### 連結グループ内の資金及び自己資本の移動に係る制限等の概要

該当事項はありません。

## 自己資本の充実度に関する評価方法の概要

当行は、「コンプライアンス・リスク統括部リスク統括グループ」がすべてのリスクを統合的に管理するとともに、計量化した統合リスク量と当行の経営体力である自己資本（Tier1）との比較を行うことで、リスクに対する自己資本の充実度を検証・評価しています。加えて、自己資本の充実度の評価を補完する手段として、一定のストレスシナリオを想定し、当該シナリオに基づくリスク量の増加を予想したうえで、ストレス時の自己資本の充実状況を検証するストレス・テストを実施し、収益への影響などを取

締役会に報告し、対応策を協議しています。

「自己資本比率」とは、銀行が抱える予想外の損失発生リスクに対して、損失吸収バッファである自己資本の備えをどの程度持っているかという自己資本の充実度をあらわす指標です。当行では、一定のストレス時においても、国際統一基準において求められる規制水準以上の自己資本比率を維持し、銀行財務の健全性を維持できるよう、自己資本比率のストレス・テストを四半期毎に実施し、自己資本比率の充実状況についてもあわせて検証しています。

## 連結グループ全体のリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

銀行のビジネスモデルとリスクプロファイルとの整合性がどのように確保されているかの説明

### ● ビジネスモデルに係る主要なリスク

当行は、千葉県を主要基盤としつつ首都圏でのリテール基盤の拡充に努めており、事業性評価の推進と地方創生への積極的な貢献、多様化するニーズに対応した個人向け総合金融サービスの提供、業務効率化の促進、運用力・収益

力の強化などの各種施策に取り組んでいます。

預貸金業務による利ざやの増加、有価証券投資業務による収益の増加、金融サービスの提供による手数料収益の増加等、収益力の向上のため、各種施策を実施していますが、これらの施策の実施に伴い、当行及び当行グループ各社は主に次のようなリスクを抱えることとなります。

<b>統合リスク</b> 信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクについて、共通の尺度を用いて計量化したリスク量の総額	<b>信用リスク</b> 信用供与先の財務状況の悪化などにより、資産の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスク	<b>市場リスク</b> 金利、有価証券などの価格、為替などの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスク
<b>オペレーショナル・リスク</b> 業務の過程、従業員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的事象により損失が発生するリスク	<b>流動性リスク</b> 資金繰りが困難になること、あるいは市場の混乱などにより、不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスク	<b>その他のリスク</b> ■ 業務委託先に係るリスク ■ 戦略リスク など

### ● リスク・カテゴリー別の主要なリスクに係る管理及び開示状況

当行では、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク及びそれらを合算した統合リスクを管理する枠組みとして、リスク資本配賦制度を導入しています。この制度は、自己資本の範囲内で国内営業部門・市場部門といった部門別にリスク資本（リスク許容量）をあらかじめ配賦し、健全性の確保を図ったうえで、各部門が収益性の向上や効率的な資本の活用などリスク・リターンを意識した業務運営を行う仕組みです。資本配賦は「ALM委員会」、及び経営会議での協議を経て、取締役会の承認を受け、半期ごとに実施しています。遵守状況についても、月次でモニタリングを行い、定期的に経営会議及び取締役

会に報告しています。

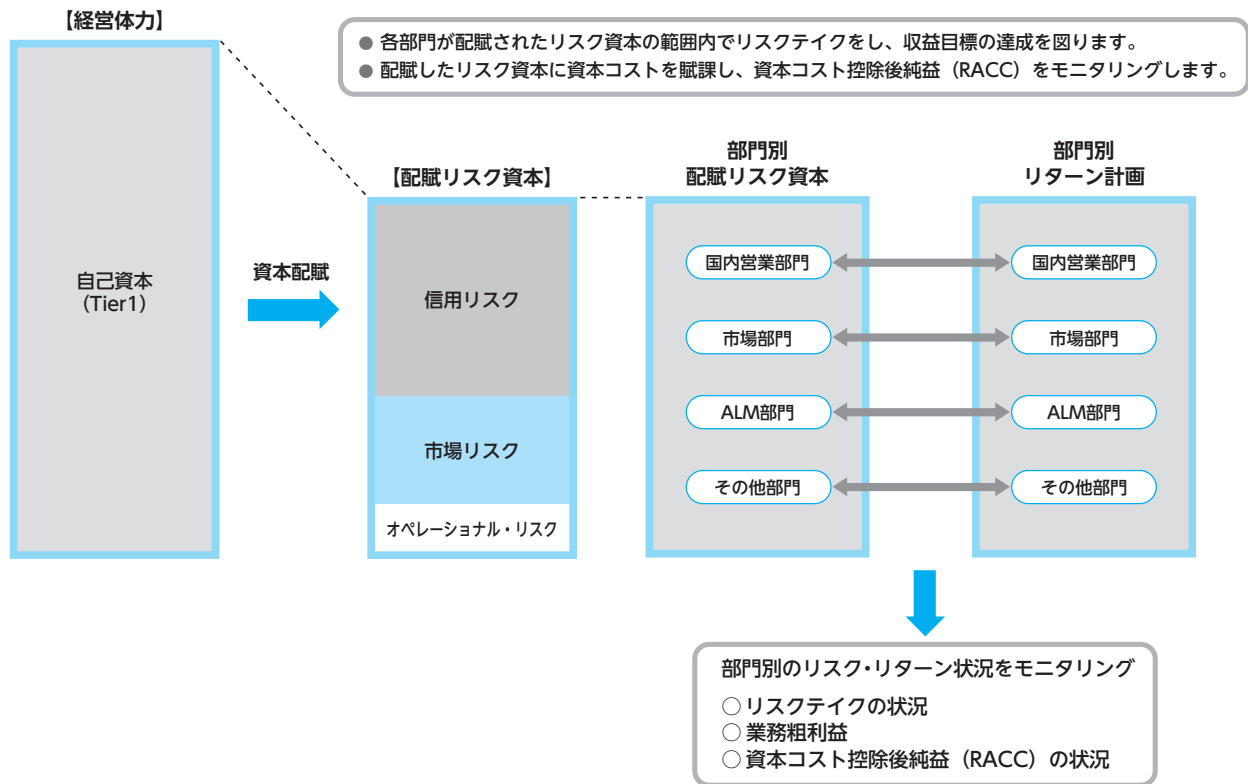
そのほか、当行では、ALM管理体制のもと、流動性リスク管理を行っています。具体的には、短期に資金化可能な資産の最低保有額や市場調達に限度枠を設定することで、資金繰りを当行の規模・状況に見合った範囲にコントロールしています。また、市場取引における各ポジションに限度枠を設定し、市場流動性に係る損失の抑制を図っています。

また、外部委託先に係るリスクは、委託先の選定時チェックと定期的な管理により、過大なリスクを抱えることのないよう管理しています。

各主要なリスクに係る管理状況については、本誌及び有価証券報告書等で都度開示しています。

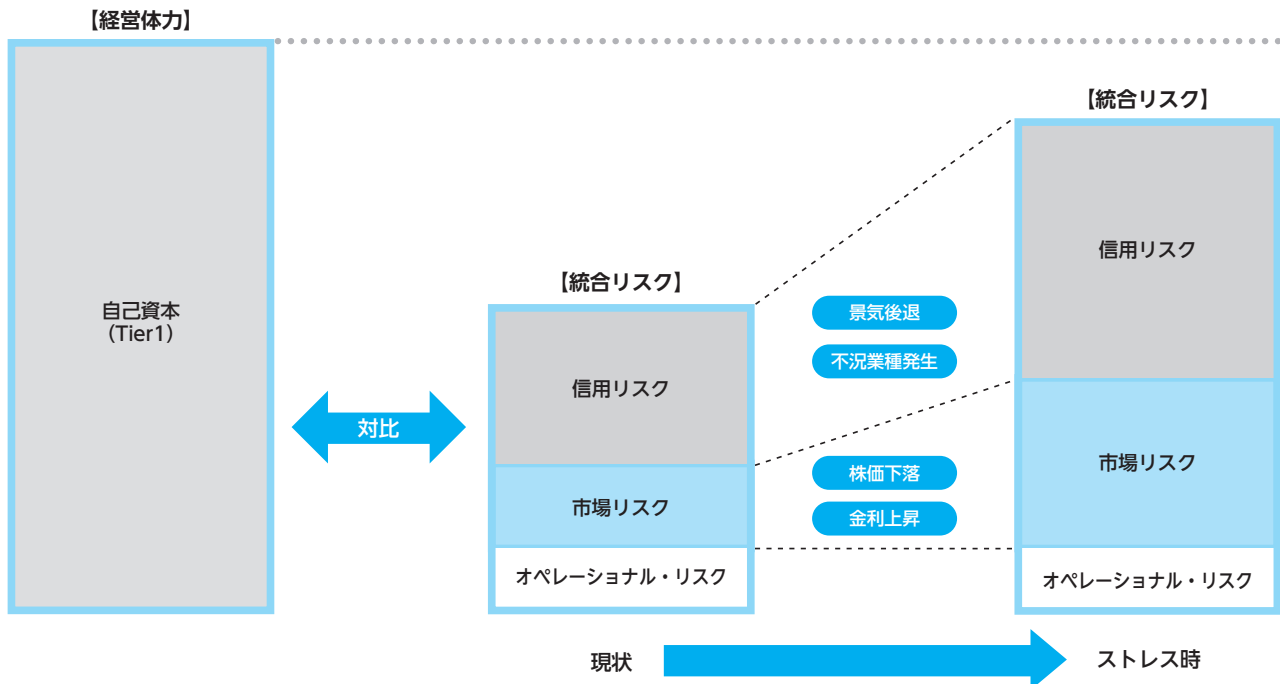
【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定性的な開示事項

リスク資本配賦制度の概要



● リスクプロファイルとリスク許容量との関連

統合リスク管理の概要



## リスク・ガバナンス体制

### ● 銀行内の機関、部署ごとの権限並びにリスク・カテゴリー別及び事業部門別の責任の分担等

当行では、リスク管理に関する最高意思決定機関は取締役会であり、リスク管理体制を構築する責任を負い、適切で有効なリスク管理体制を構築・維持するための諸施策の実施について、必要な決定を行っています。取締役会で承認された管理体制の統括及び取締役会への報告については、グループCRO（最高リスク管理責任者）が責任を負い、リスク管理体制に係る運営の統括については、コンプライアンス・リスク統括部長が責任を負うこととなっています。

こうした体制のもと、「コンプライアンス・リスク統括部」は、統合的リスク管理部署として全てのリスクを統合して管理しているほか、信用リスク、市場リスク、流動性リスクの管理部署、オペレーショナル・リスクの統括部署及び風評リスクの所管部署として統括管理を行っています。また、オペレーショナル・リスクに関連するリスクとして、事務リスクは「事務企画部」、システムリスク・サイバーリスクは「システム部」、人的リスクは「人材育成部」、有形資産リスクは「経営管理部」が所管部となり、「コンプライアンス・リスク統括部」が一元的に把握し、

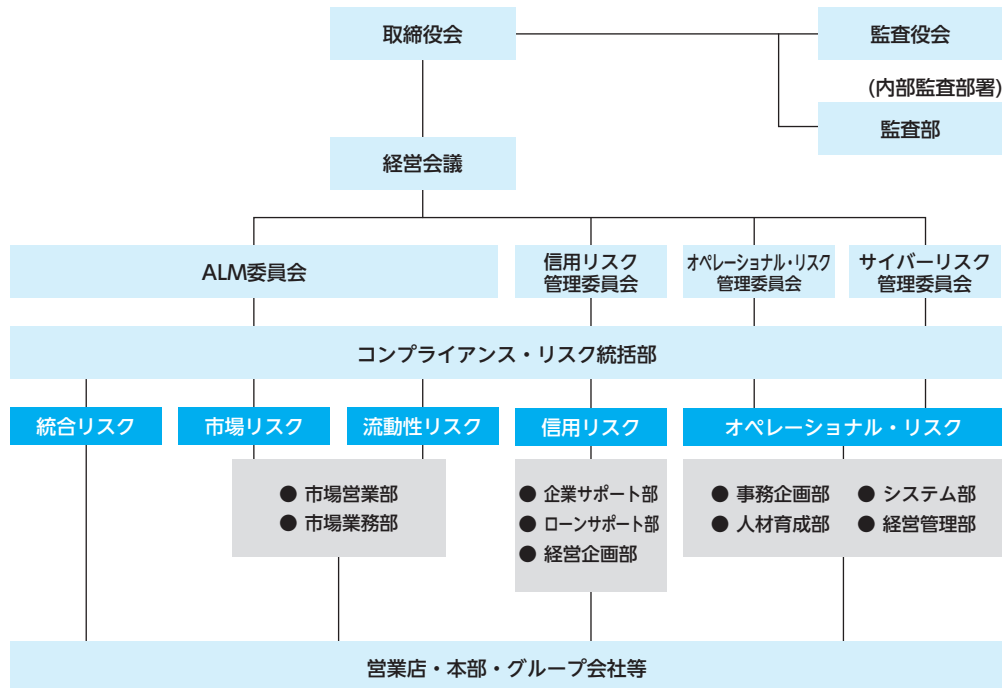
管理を行っています。

これらのリスクについては、各委員会で協議が行われます。「信用リスク管理委員会」は、信用リスクにかかる各種報告を受け、当行及び当行グループの与信ポートフォリオの運営方針等の策定に係る協議を行っています。「ALM委員会」は、市場リスク、流動性リスク、統合的リスク管理及び自己資本管理に係る各種報告を受け、当行グループの資産・負債の総合管理を通じ、当行及び当行グループ各社の市場リスク、流動性リスク、統合的リスク管理及び自己資本管理についての運営方針等の策定に係る協議を行うほか、トレーディング取引のマーケット・リスク管理方針の策定に係る協議を行います。「オペレーショナル・リスク管理委員会」は、オペレーショナル・リスクにかかる各種報告を受け、損失事象等に対する具体的な対応策の検討、実施などオペレーショナル・リスク管理の運営方針等の策定に係る協議を行います。

各委員会において管理、検討されたリスク状況については取締役会に報告され、更なる対応策を検討・実施していく統合的なリスク管理体制を構築しています。また、実効性のあるリスク管理体制を実現するため、リスク管理体制が適切に運営されているかを「監査部」が定期的に監査し、取締役会に報告を行っています。

### ● リスク管理プロセスに関する組織、部門間の関係

リスク管理体制図





## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 連結】

#### 定性的な開示事項

#### 銀行内でリスク文化を醸成するための方法

##### ● 行動規範、リミットの管理方法や抵触した場合の手続

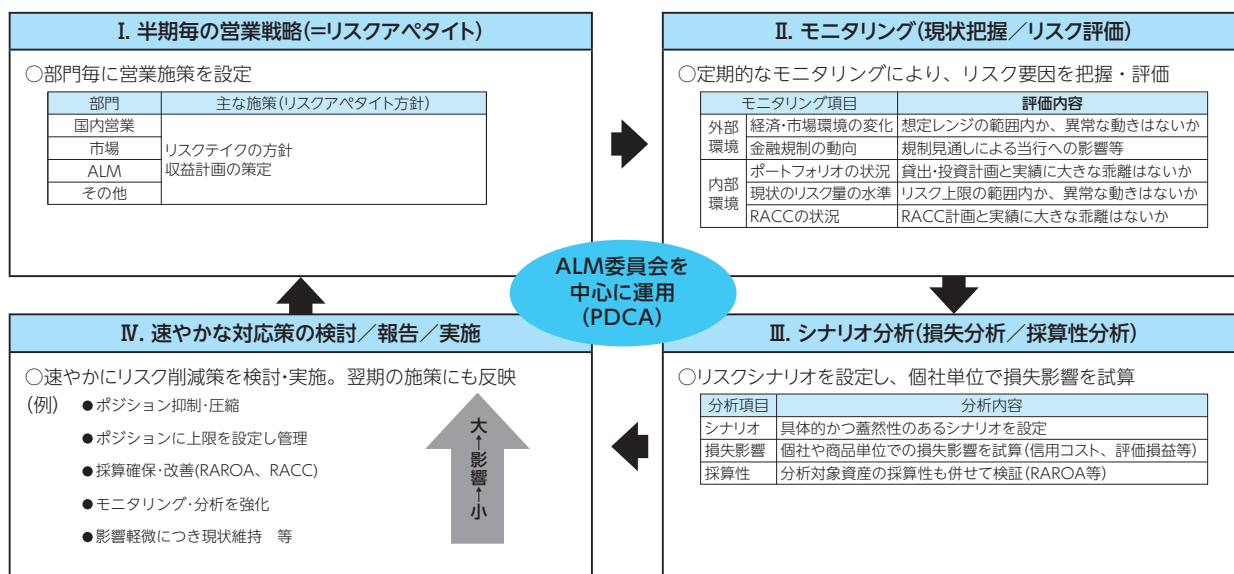
当行では、事業計画達成のためにとるべきリスクを「リスクアペタイト」と定義しています。このリスクアペタイトに対して、リスク・リターンの適切性やストレス発生時の損失影響を検証する仕組みとして「リスクアペタイト・フレームワーク (RAF)」を活用しています。

RAFでは、実際に使用しているリスク量に対するリターンの管理として「資本コスト控除後純益 (RACC : Return After Capital Cost)」のモニタリングを実施していま

す。各部門が使用しているリスク量に見合った収益を計上できているか、あるいは景気変動による損失に耐えられるかを検証し、必要に応じて対策を講じています。また、アラームポイントを設定し、日次・月次で予兆管理を行っており、リミットに近接した場合は各委員会、経営会議、取締役会で対応策を検討、協議しています。

こうしたRAFや、「リスク・カテゴリ別の主要なリスクに係る管理及び開示状況」に記載していますリスク資本配賦制度の運用を通じて、経営陣とのリスクコミュニケーションを深めています。

#### リスクアペタイト・フレームワークの概要



※ RAROA (Risk Adjusted Return on Asset) : 信用リスク控除後収益

##### ● 業務担当者とリスク管理部署との間でリスクに係る課題を提起、共有するための手続等

上記「行動規範、リミットの管理方法や抵触した場合の手続」に記載しています。

#### リスク計測システムの対象範囲と主な特徴

	内部管理		規制資本	
	対象範囲	主な計測手法	対象範囲	計測手法
信用リスク	貸出金・有価証券・対顧デリバティブ・インターバンク取引等	計測方法：モンテカルロシミュレーション 保有期間：1年 信頼水準：片側99.9%	内部管理に同じ	基礎的内部格付手法
市場リスク	預貸金・有価証券・対顧デリバティブ・インターバンク取引等	計測方法：分散共分散法 保有期間：1年(資金デール・特金・トレーディングのみ10日) 信頼水準：片側99.9% 相関：金利とインデックスの相関を考慮	トレーディング取引等	標準的方式
オペレーショナル・リスク	事務・システム・サイバー・人的・有形固定資産・風評等	規制資本における粗利益配分手法によるオペレーショナル・リスク相当額	内部管理に同じ	粗利益配分手法
流動性リスク	資金繰りリスク・市場流動性リスクに係るすべての取引	市場調達限度額、通貨別・期間別資金ギャップ額	内部管理に同じ	流動性カバレッジ比率 安定調達比率



## 取締役及び取締役会等へのリスク情報の報告手続

### ● エクスポージャーに関する報告の範囲と主な内容

リスク等	報告内容
自己資本の充実度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己資本充実度の検証結果</li> <li>統合リスクのストレス・テストの実施結果</li> </ul>
統合的リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合リスク量の算定結果</li> <li>配賦リスク資本の遵守状況並びに使用状況</li> <li>リスク・リターンの状況</li> <li>リスクテイクの状況</li> <li>オペレーショナル・リスクの発生状況</li> <li>新商品等のリスク評価の状況</li> </ul>
信用リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ別与信上限等の遵守状況</li> <li>信用リスクテイクの状況（配賦上限、想定との対比）</li> <li>与信ポートフォリオの状況（国別、業種別、格付別等）</li> </ul>
市場リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>運用残高上限等の遵守状況</li> <li>有価証券運用に関するリスク・リターン分析</li> <li>金利リスクの状況</li> </ul>
オペレーショナル・リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>当行及び当行グループ会社（外部委託先含む）のリスクカテゴリー別オペレーショナル・リスク発生状況</li> </ul>
流動性リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場調達限度額、資金ギャップ限度額等の遵守状況</li> <li>流動性カバレッジ比率及び安定調達比率の状況</li> </ul>

### ストレス・テストに関する定性的情報

当行では、自己資本の充実度の評価を補完する手段として、統合リスクのストレス・テストを実施しています。ストレス・テストとは、景気後退期の企業環境悪化や土地価格の下落、経済状況の悪化や市場環境の悪化など、一定のストレスシナリオを想定し、当該シナリオに基づくリスク量の増加を予想したうえで、ストレス時の自己資本の充実状況を検証するもので、信用リスク、市場リスクのストレス・テスト結果をもとに、「コンプライアンス・リスク統括部リスク統括グループ」が実施しています。

### ● ストレス・テストの対象となるポートフォリオ

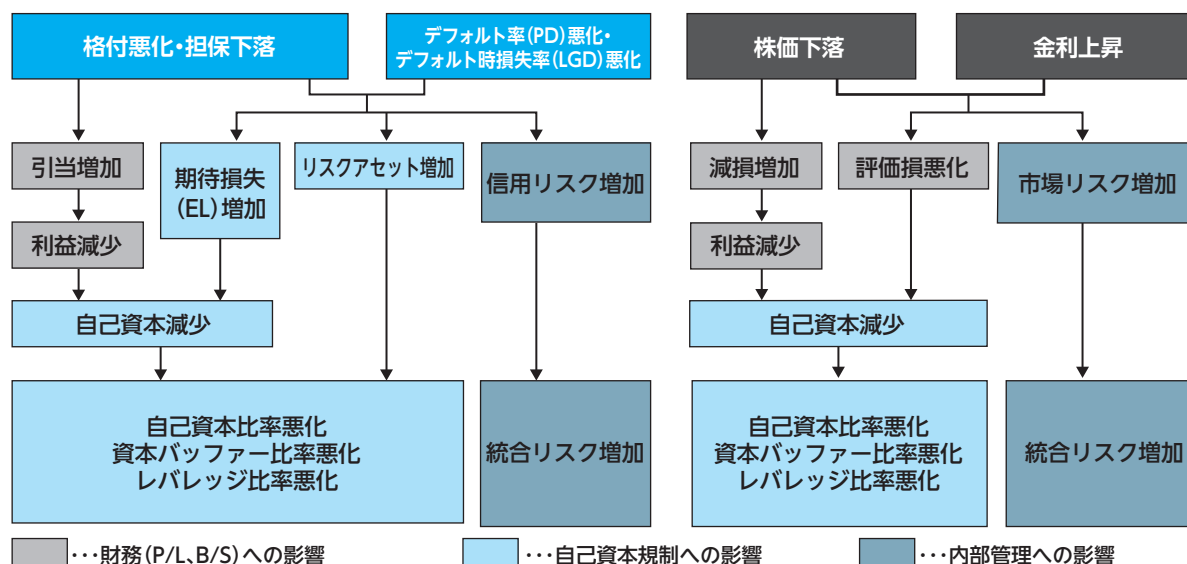
採用されるストレスシナリオに応じ、貸出金、有価証

券、特定業種など、ストレスをかけるポートフォリオを選定しています。

### ● 採用したシナリオと使用した手法

ストレスシナリオについては、原則として「ストレスシナリオ検討会議」での検討を踏まえて四半期に一度見直しをしています。「ストレスシナリオ検討会議」は、グループCRO、市場営業部、企業サポート部、営業統括部、経営企画部、コンプライアンス・リスク統括部が参加して行われ、世界の政治経済環境等から、今後のストレス事象となりうる事象を洗い出し、営業地域内の経済動向、マーケット動向、当行のお客さま、投資家の動向など参加各部からの意見を踏まえ、ストレスシナリオを決定しています。

### ストレス事象から経営指標への伝播構造



## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 連結】

#### 定性的な開示事項

また、流動性リスクについては、当行自身の信用リスクの顕在化と、マーケットの混乱等が同時に発生する状況などを想定し、資金繰りや収益への影響を把握・検証するストレステストを四半期毎に実施しています。

なお、流動性リスクにかかるストレステストについては、バーゼル銀行監督委員会「健全な流動性リスク管理及びその監督のための諸原則」などを参考に設定していません。

#### ● リスク管理におけるストレステストの利用等

このような検証の結果、規制上の自己資本比率が最低水準を下回った場合等には、その程度や蓋然性を的確に把握したうえで、リスク量のモニタリングを強化するとともに、リスク削減策の実施などについて経営会議及び「ALM委員会」で協議することとしています。

#### 銀行のビジネスモデルから生じるリスクを管理、ヘッジ、削減するための戦略と手順並びにヘッジと削減策の継続的な有効性をモニタリングするための手順

取締役会は、各リスク量を適正な水準に維持するため、各種限度額の設定等の管理方針を決定しています。また「コンプライアンス・リスク統括部」は当該管理方針に基づきモニタリングを実施し、必要に応じてヘッジ、削減策等を検討・実施しています。なお、各リスクの管理方針等は以下のとおりです。

#### 【統合的リスク】

「コンプライアンス・リスク統括部」は、統合リスク量を経営体力であるTier1の範囲内に収めていくためにリスクカテゴリー別・部門別にリスク資本配賦を実施するとともに、「ALM委員会」における協議を通じて資産・負債のコントロールを実施しています。なお、新規商品等についても、内在するリスクに関する質的な評価を行い、統合的リスク管理を実践しています。

#### 【信用リスク】

「コンプライアンス・リスク統括部」は、与信ポートフォリオの状況を国別、業種別、格付別等の様々な角度からモニタリングするとともに、VaR（想定最大損失額）等の統一的尺度で計量することによって、与信ポートフォリオに係る信用リスクを評価しています。また、「信用リスク管理委員会」における協議を通じて、信用リスクのコントロール及び削減を実施しています。なお、「企業サポート

部」等のリスク管理関連部署は、事前の審査及び事後の管理を通じて、個別信用リスクの管理を行っています。

#### 【市場リスク】

「コンプライアンス・リスク統括部」は、市場リスクについて、評価損益、VaR等の統一的尺度で計測したリスク量や、商品別のリスク・リターン等のモニタリングを実施し、「ALM委員会」における協議を通じて、市場リスクのコントロール及び削減を実施しています。

なお、一部の取引については、スワップ取引等の活用により、金利上昇リスク等の軽減を実施しています。

#### 【オペレーショナル・リスク】

取締役会は、適切なオペレーショナル・リスク管理体制の整備・確立を図るためオペレーショナル・リスク統括部署を設置し、オペレーショナル・リスク管理体制の構築・企画・運営に必要な権限を付与しています。

「コンプライアンス・リスク統括部」は、オペレーショナル・リスクの統括部署として、当行及び当行グループ各社のほか外部委託先におけるオペレーショナル・リスク損失事象の発生状況をモニタリングしています。また、顕在化したリスク及び潜在的なリスクに関する評価を行い、「オペレーショナル・リスク管理委員会」での協議を通じて、オペレーショナル・リスクのコントロール及び削減を実施しています。

なお、オペレーショナル・リスクに含まれる事務リスク・システムリスク等については、それぞれの管理部署である「事務企画部」「システム部」等が、「オペレーショナル・リスク管理委員会」での協議を通じて、各リスクのコントロール及び削減を実施しています。

#### 【流動性リスク】

「コンプライアンス・リスク統括部」は、調達限度枠等の流動性リスク管理項目及び流動性カバレッジ比率や安定調達比率等のモニタリングを実施し、「ALM委員会」における協議を通じて流動性リスクのコントロール及び削減を実施しています。

資金繰り管理部署は、資金繰りに影響を与える諸要因を把握し、資金繰りが逼迫した場合には、あらかじめ区分した逼迫度に応じ、適切な資金繰りの運営・管理を行っています。また、危機時における業務フローを定めた上で、危機時に備えた調達手段の確保に努めています。

## 信用リスクに関する事項

### リスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

#### ● ビジネスモデルに基づいた信用リスクプロファイルの説明

当行は、人口・世帯数の増加が続く首都圏に位置するため、不動産賃貸業向け貸出及び住宅ローンがポートフォリオに占める割合が高く、また、地域金融機関であるため、千葉県を含む首都圏の産業構造や経済動向の影響を受けます。

こうしたリスク特性を踏まえたうえで、ビジネスモデルの中長期的な持続可能性の確保及びストレス事象発生時の損失影響を軽減するため、ストレス・テストに加え、内外環境の変化を踏まえた具体的かつ蓋然性の高いシナリオ分

析を実施し、リスクアペタイトへの影響の評価を通じて、必要な対応を行っています。

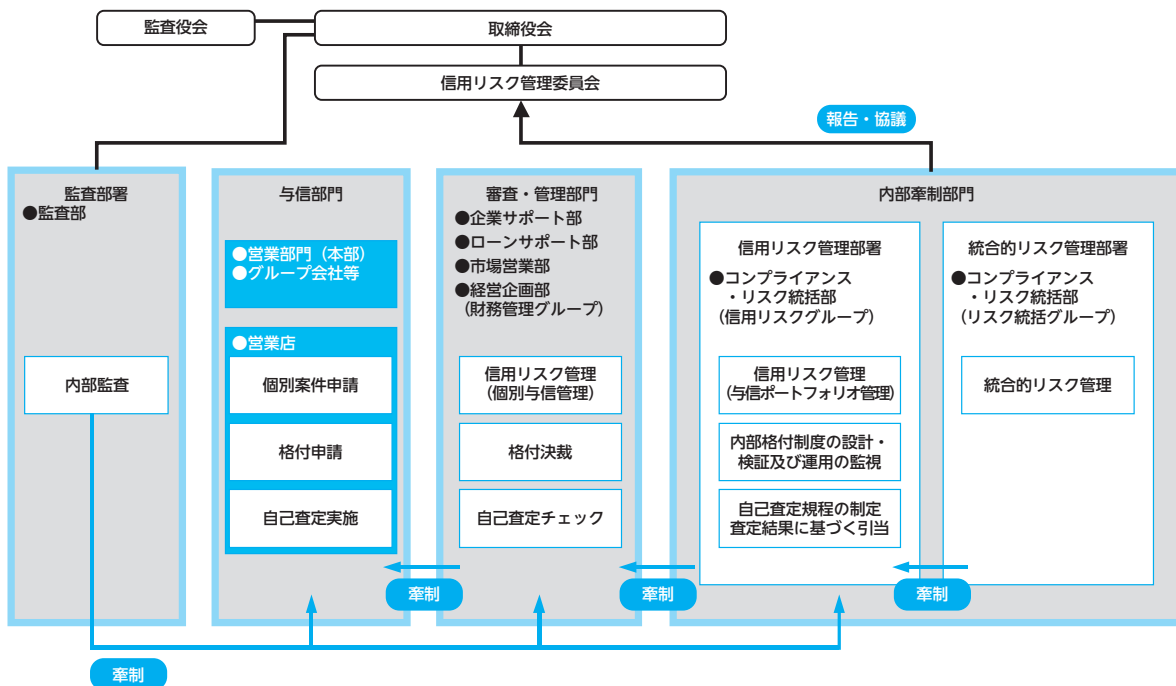
#### ● 信用リスク管理方針を決定し、信用リスク限度額を設定する基準と方法

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化などにより、資産価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいい、銀行業務におけるリスクの多くを占めています。

当行では、経営の健全性の維持を目的として、「内部格付制度」を中心に厳正な信用リスク管理体制を構築し、個別与信管理及び与信ポートフォリオ管理、資産の自己査定を行っています。

#### ● 信用リスク管理・コントロールに関する体制と組織

##### 信用リスク管理体制図



#### ● 信用リスク管理部門、与信管理部門、コンプライアンス部門、内部監査部門の関係

##### 信用リスクにかかる各部門・部署の役割

部門・部署	所管部	役割
与信部門	営業店 営業部門	個別案件・格付の申請 自己査定の実施
審査・管理部門	企業サポート部など	個別案件の信用リスクを管理
信用リスク管理部署	コンプライアンス・リスク統括部 信用リスクグループ	信用リスク管理全体の統括 与信ポートフォリオ管理
統合的リスク管理部署	コンプライアンス・リスク統括部 リスク統括グループ	信用リスクを含めたすべてのリスクを統合的に管理
監査部署	監査部	信用リスク管理に係る各部門・部署の業務を監査

## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 連結】

#### 定性的な開示事項

#### ● 信用リスクエクスポージャーと信用リスクの管理機能に係る報告の範囲と主な内容

##### 【信用リスク管理体制】

当行では、信用リスクにかかる各部門・部署が独立性を確保しています。具体的な各部門・部署の役割は「信用リスクにかかる各部門・部署の役割」のとおりです。

また、「信用リスク管理委員会」を定期的に開催し、信用リスク管理方針の検討、内部格付制度の運用状況及び与信ポートフォリオのモニタリングなどを行い、貸出資産の健全性確保に努めています。

##### 【個別与信管理】

個別案件の審査は、与信の基本原則（安全性・収益性・流動性・成長性・公共性）のもと、「営業店」及び「企業サポート部」を中心に、審査基準に従って厳正に行っています。また、「企業サポート部」では経営改善が必要なお客さまの支援を行うほか、破綻先などの整理回収活動を行っています。こうした事前の審査及び事後の管理を通じて優良な貸出資産の積上げと損失の極小化を図っています。

##### 【与信ポートフォリオ管理】

与信ポートフォリオ管理とは、個別与信が特定の国や業

種に集中することなどにより、一時に大きな損失を被るリスクを管理していくものです。「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」は、国別、業種別、格付別等のさまざまな角度からVaR等の統一的尺度での計量を行い、ストレス・テストやリスク調整後収益管理などにより信用リスクの状況を把握し、与信上限額の設定など必要な対策を講じて、信用リスクのコントロール及び削減を行っています。

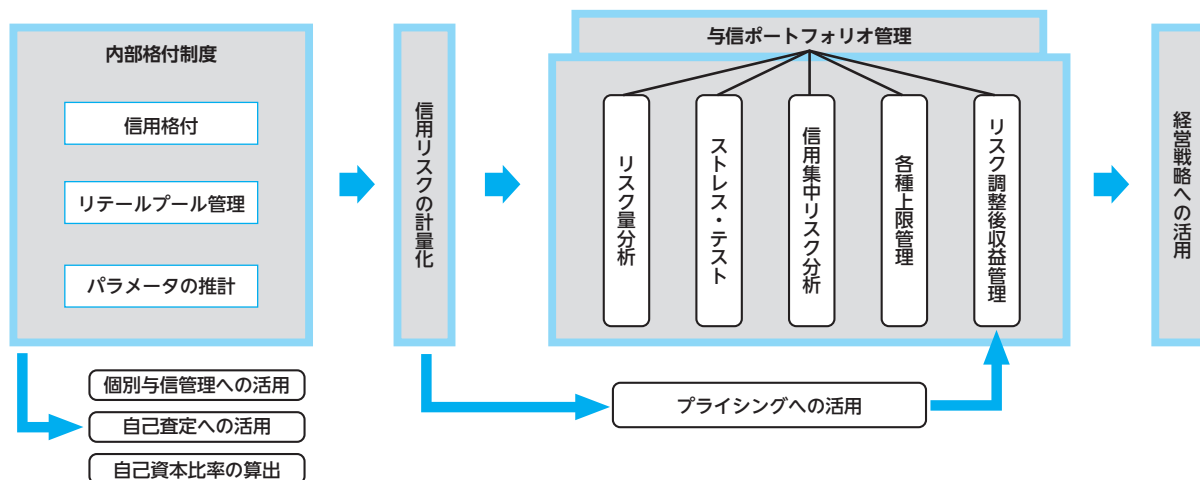
##### 【資産の自己査定】

自己査定とは、金融機関が自らの資産について個々に検討・分析し、資産価値の毀損や回収の危険性の程度に従って分類・区分する業務を指します。

当行では、「資産自己査定規程」に基づいて「与信部門」が資産の自己査定を実施し、その内容を「審査・管理部門」がチェックしたうえで、「監査部」が結果やプロセスの正確性を監査します。

また、自己査定の結果に基づき、「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」が引当額を算定、「企業サポート部」が償却を実施し、その後「監査部」が監査を実施しています。このようなプロセスを通じて当行の資産の健全性を堅持しています。

#### 与信ポートフォリオ管理の概要



## 会計上の引当及び償却に関する基準の概要

### ● 引当・償却の方針及び方法

当行の貸倒償却及び貸倒引当金は、「償却・引当実施規程」等に基づき計上しています。

#### 【引当償却の額の算定方法】

「破綻先」及び「実質破綻先」に係る債権は、担保及び保証による回収見込額を控除し、その残額全てを貸倒償却として直接減額、あるいは貸倒引当金として計上しています。

「破綻懸念先」に係る債権は、債権額から担保及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額に過去の貸倒実績率等を乗じた額を貸倒引当金として計上しています。

ただし、「破綻懸念先」及び貸出条件緩和債権等を有する債務者で、与信額が一定額以上の債務者のうち、元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローを合理的に見積もることができる債権については、DCF法\*により計上しています。

上記以外の債権については、過去の貸倒実績率等に基づき計上しています。

\*「DCF法」とは、元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローを当初の約定利率で割引いた金額と債権の帳簿価格との差額を貸倒引当金とする方法です。

### 【信用格付付与、債務者区分、債権区分、資産分類の概要】

信用格付、債務者区分、債権区分の定義及び区分方法等

信用格付	債務者区分	金融再生法債権区分	定義及び区分方法等
S, A1~A2, B1~B3, C1 M1 ,N1 ,R1	正常先	正常債権	業況良好であり、財務内容にも特段問題ないと認められる債務者です。
C2~C5 M2 ,N2 ,R2	要注意先	正常債権	今後の管理に注意を要する債務者で、要管理先以外の債務者です。
C6	要管理先	要管理債権*	今後の管理に注意を要する債務者で、3カ月以上の延滞が発生している債務者及び貸出条件緩和債権を有する債務者です。
D	破綻懸念先	危険債権	現状、経営破綻の状況にはないが経営難の状態にあり、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者です。
E	実質破綻先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	法的・形式的な経営破綻の事実が発生していないものの、実質的に経営破綻に陥っている債務者です。
F	破綻先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	法的・形式的な経営破綻の事実が発生している債務者です。

#### 資産分類の概要

資産分類区分	対象資産の範囲に関する説明等
I 分類 (非分類)	下記Ⅱ分類・Ⅲ分類及びⅣ分類としない資産であり、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産です。
Ⅱ 分類	債権確保上の諸条件が満足に充たされないため、あるいは信用上疑義が存在する等の理由により、その回収について通常の度合いを超える危険を含むと認められる債権等の資産です。
Ⅲ 分類	最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、損失の発生の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産です。
Ⅳ 分類	回収不可能又は無価値と判定される資産です。

\*一部、正常債権を含む。



## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 連結】

#### 定性的な開示事項

#### ● 債権を危険債権以下に区分しないことを許容する三月以上延滞債権の延滞日数の程度、及びその理由

3カ月以上6カ月未満の延滞となっている債権については、原則、危険債権（破綻懸念先債権）に区分することにしては、ただし、債務者の実態的な財務内容、資金繰り、収益力等のほか、貸出条件及びその履行状況を確認の上、業種等の特性を踏まえた事業の継続性や収益性を見通し、債務償還能力、経営改善計画等の妥当性、金融機関等の支援等を総合的に勘案し、延滞状況が改善方向にある債権や延滞解消が見込まれる債権については、危険債権とせず要管理債権としています。

#### ● 貸出条件緩和実施債権の定義

##### 【三月以上延滞債権及び危険債権以下に区分しない条件】

「経営再建又は支援を図ることを目的とした」条件変更を実施した債権のうち、3カ月以上延滞債権及び危険債権以下に該当しない債権について、貸出条件緩和債権\*としています。

\*同等な信用リスクを有する債務者に対する実行金利以上の債権等は除きます。

##### 【貸出条件の緩和を実施したことに伴い引当金の額を増加させる条件】

貸出条件の緩和等を実施し、正常先や要注意先から要管理先（要管理債権を有する債務者）となった場合、引当金が増加します。

#### 標準的手法採用行にあっては、エクスポージャーの種類ごとのリスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関等の名称

標準的手法を適用する一部の資産・連結子会社においては、リスク・ウェイトの判定にあたり、次の4社の格付機関が付与した格付を使用しています。

- ・株式会社格付投資情報センター（R&I）
- ・株式会社日本格付研究所（JCR）
- ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス（Moody's）
- ・S&Pグローバル・レーティング（S&P）

#### ● 引当金及び自己資本比率それぞれの算定に利用する信用リスクのパラメーターの主要な差異

貸倒引当金の算定に使用する貸倒実績率は、ある期間の期首の債務者区分の残高を分母とし、その分母の額のうち期間内に毀損した額を分子として計算しています。分母となる残高は、自己査定における残高とし、毀損額には、貸倒償却額、債権放棄額、債権売却損失額、破綻懸念先以下に対する個別貸倒引当額等としています。

それに対し、自己資本比率の算定に使用する主なパラメータである「デフォルト率（以下、PD：Probability of Default）」\*1の推計におけるデフォルトにおいては、要管理先への遷移を含み、「デフォルト時損失率（以下、LGD：Loss Given Default）」\*2は、要管理先に対する一般貸倒引当金のほか、回収のための重要な直接的及び間接的な費用を含めて推計しています。

また「デフォルト時与信残高（以下、EAD：Exposure At Default）」\*3は、与信枠が設定されている場合の、枠空きに対して追加引出が行われる可能性も考慮しています。

\*1 「デフォルト率（PD：Probability of Default）」とは、信用供与先などが1年間にデフォルトする確率です。また、「デフォルト」とは、信用供与先などの債務者格付が要管理先以下に下方遷移することです。

\*2 「デフォルト時損失率（LGD：Loss Given Default）」とは、デフォルトが発生した場合に想定される当該債権が被る損失の比率です。

\*3 「デフォルト時与信残高（EAD：Exposure At Default）」とは、デフォルトが発生した場合に想定される与信残高です。



## 内部格付手法に関する事項

### ● 信用リスク・アセットの額を算出する手法の種類ごとの資産区分別のEADがEADの総額に占める割合

(単位：%)

	2022年3月末	2023年3月末
基礎的内部格付手法が適用されるポートフォリオ	99.6	99.6
事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けを含む）	35.4	36.6
ソブリン向けエクスポージャー	32.0	30.4
金融機関等向けエクスポージャー	1.8	2.3
特定貸付債権	0.9	1.3
居住用不動産向けエクスポージャー	19.3	19.2
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	1.0	1.0
その他リテール向け（消費性）エクスポージャー	5.0	4.7
その他リテール向け（事業性）エクスポージャー	1.6	1.6
購入債権	0.1	0.1
PD/LGD方式が適用される株式等エクスポージャー	1.3	1.3
その他資産	1.0	1.0
標準的手法が適用されるポートフォリオ	0.4	0.4
合計	100.0	100.0

## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 連結】

#### 定性的な開示事項

#### ● 内部格付手法の適用範囲の決定に係る経緯

当行は自己資本比率算出上の信用リスクの算出にあたり、2007年3月31日に基礎的内部格付手法を適用しました。適用範囲の決定は、金融庁告示に定める定量基準と定性基準に基づき決定しており、貸出関連及び有価証券に係るものを除く仮払金や敷金・保証金など一部の資産や、ち

ばぎん保証株式会社・ちばぎんリース株式会社を除く連結子会社については、標準的手法を適用しています。なお、株式等エクスポージャー及び信用リスク・アセットのみなし計算を適用するエクスポージャーについては、連結子会社においても、2007年3月末から基礎的内部格付手法を適用しています。

#### 内部格付手法の適用状況

連結グループ	2007年3月末	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末
当行				基礎的内部格付手法
クレジットカード業務に係る資産		標準的手法		基礎的内部格付手法
一部の資産			標準的手法	
ちばぎん保証株式会社	標準的手法			基礎的内部格付手法
ちばぎんリース株式会社		標準的手法		基礎的内部格付手法
その他の連結子会社				標準的手法

#### ● 内部格付制度の概要

当行の内部格付制度は、「信用格付」、「リテールプール管理」及び「パラメータ推計」から成り立っています。

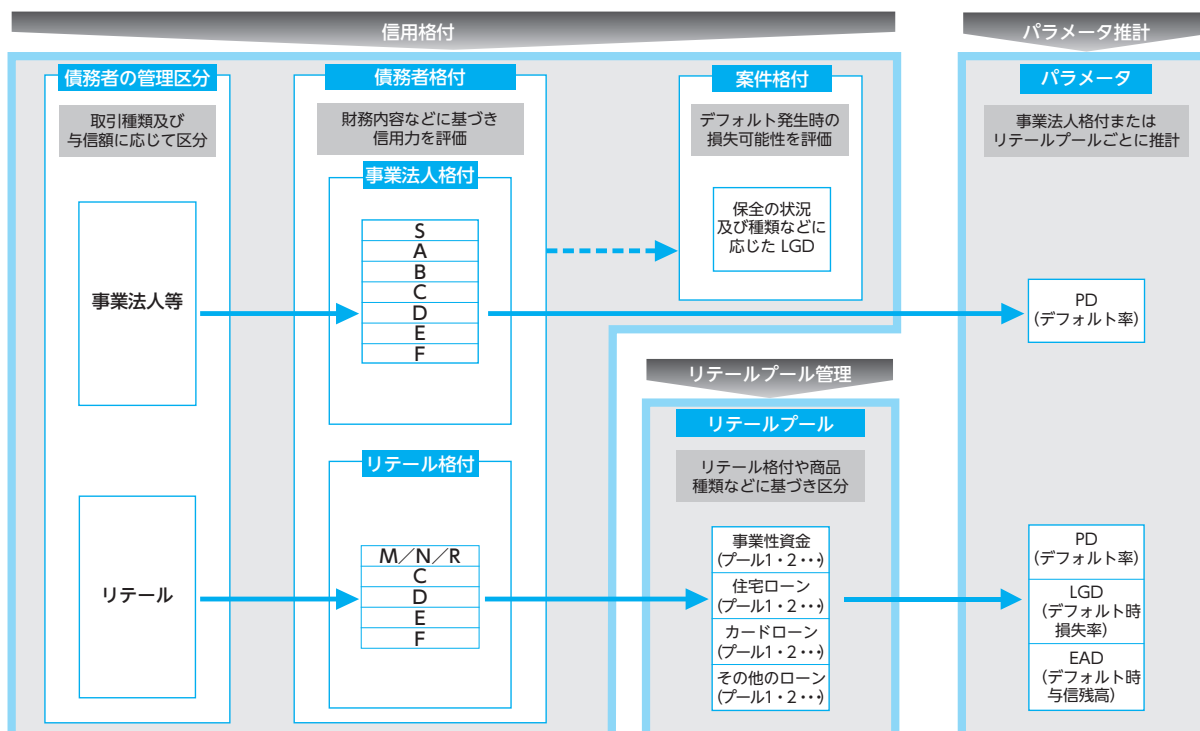
「信用格付」は、信用供与先に係る信用力を評価する「債務者格付」と、与信取引に係るデフォルト発生時の損失可能性を評価する「案件格付」から成り立っています。「債務者格付」は、当行の与信に係るすべての取引先を対象とし、取引の種類及び与信額に応じて「事業法人等」または「リテール」のいずれかに区分し、それぞれについて「事業法人格付」または「リテール格付」を付与しており、自己査定における債務者区分と整合するものとなっていま

す。「案件格付」は、消費者ローンを除く貸出金を対象とし、保全の状況及び種類などに応じて与信取引単位でLGDを算出しています。

「リテールプール管理」は、「リテール」に区分される先の全債権及び「事業法人等」に区分される先の消費者ローンについて、リスク特性が均質な塊である「リテールプール」ごとに管理することです。「リテールプール」は、債権の種類により、事業性資金、住宅ローン、カードローン、その他のローンの4つに大きく分かります。

「パラメータ推計」は、PD、LGD、及びEADの推計を行うことです。

#### 内部格付制度の概要



※案件格付は、リテールに区分される事業性の貸出金も対象となります。  
 ※事業法人等におけるLGD・EADは、当局設定値に基づき算出しています。

## 【資産区分ごとの格付付与手続】

### ◆ 各ポートフォリオにおいて用いられる主なモデルの数、同一のポートフォリオに含まれるモデル間の主な差異に関する説明

当行では、個々の与信を与信先や取引の属性に応じて、以下のポートフォリオに区分したうえで「債務者格付（事業法人格付・リテール格付）」の付与、及び「リテールプール」への割当てを行っています。

### ■ 事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャーを含む）

当該債務者に対しては、担当部店が格付判定基準に基づき起案し、所管部署の決裁により「事業法人格付」を付与しています。格付の判定では、法人については財務スコアと定性スコアからなるスコアリング評価、個人事業主については債務償還年数による評価に加え、格付区分別の判定事象（実態面や延滞などの事象）、外部格付情報を総合的に勘案しています。外部格付の勘案においては、「事業法

人格付」の区分毎のPDと、格付機関が公表する格付区分毎のPDの整合性や格付機関毎の対応関係について、基準を設定しています。

なお、財務スコア算出に用いる財務スコアリングモデルは、業種別に6つのモデルを用いており、それぞれ異なる財務指標値を使用しています。

### ■ ソブリン向けエクスポージャー

格付の判定では、スコアリング評価の代わりに財務指標による評価を勘案しています。

### ■ 金融機関等向けエクスポージャー

格付の判定では、スコアリング評価の代わりに財務状況による評価を勘案しています。

### ■ PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー

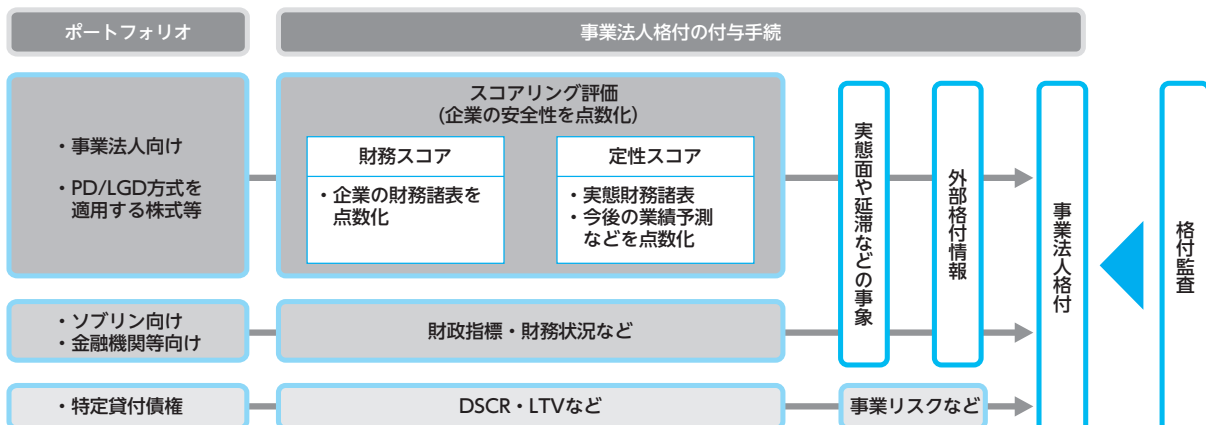
格付付与手続は、事業法人向けエクスポージャーと同様です。

## ポートフォリオの区分と内部格付制度の対応関係

ポートフォリオ	与信先・取引の属性	内部格付制度
ア. 事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャーを含む）	与信残高が50百万円以上の事業者（個人事業主を含む）に対する貸出金や債券など	事業法人格付制度
イ. ソブリン向けエクスポージャー	中央政府、中央銀行、地方公共団体などに対する貸出金や債券など	
ウ. 金融機関等向けエクスポージャー	金融機関などに対する貸出金、コールローン、預け金、債券など	
エ. PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー	帳簿価額が50百万円以上の株式	
オ. 特定貸付債権	非遡及形態の与信（償還財源が一定の責任財産に限定される与信）のうち、PFIなどで利用されるSPC（特別目的会社）に対する貸出金など	
カ. 居住用不動産向けエクスポージャー	住宅ローンなど	リテールプール管理制度
キ. 適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	一定金額未満の無担保カードローンなど	
ク. その他リテール向けエクスポージャー（消費性）	上記のカ及びキを除く消費者ローンなど	
ケ. その他リテール向けエクスポージャー（事業性）	与信残高が50百万円未満の事業者に対する貸出金など	

※内部格付制度のうち、「案件格付制度（与信取引単位でのLGDの算定）」については、消費者ローンを除く貸出金を対象として、システムにより日次で自動的に算定しています。

## 事業法人格付の付与手続の概要



## 【自己資本の充実の状況】

## 【銀行 連結】

## 定性的な開示事項

### ■ 特定貸付債権

格付の判定では、延滞・条件変更の状況やコベナンツ<sup>※1</sup>の抵触の有無、「DSCR (Debt Service Coverage Ratio)」<sup>※2</sup>、「LTV (Loan to Value)」<sup>※3</sup>、事業リスクやファイナンススキームの評価などを勘案しています。

※1 コベナンツとは、契約期間中、借入人が遵守すると確約した条項です。

※2 「DSCR (Debt Service Coverage Ratio)」とは、年間キャッシュ・フローが年間元利支払額の何倍かを示す指標です。

※3 「LTV (Loan to Value)」とは、対象資産の価格に対する借入残高の割合を示す指標です。

### ■ 居住用不動産向けエクスポージャー

当該債務者に対しては、システムの自動判定により「リテール格付」を付与した後、「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」が「リテールプール」への割当てを行います。「リテールプール」への割当てでは、「リテール格付」のほか、延滞の有無、借入日からの経過年数、LTVなどを勘案しています。なお、プール割当てに用いるモデルは1つです。

### ■ 適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー

「リテールプール」への割当てでは、「リテール格付」のほか、延滞の有無、使用率（極度額に対する貸出残高割合を示す指標）、商品種類などを勘案しています。なお、プール割当てに用いるモデルは1つです。

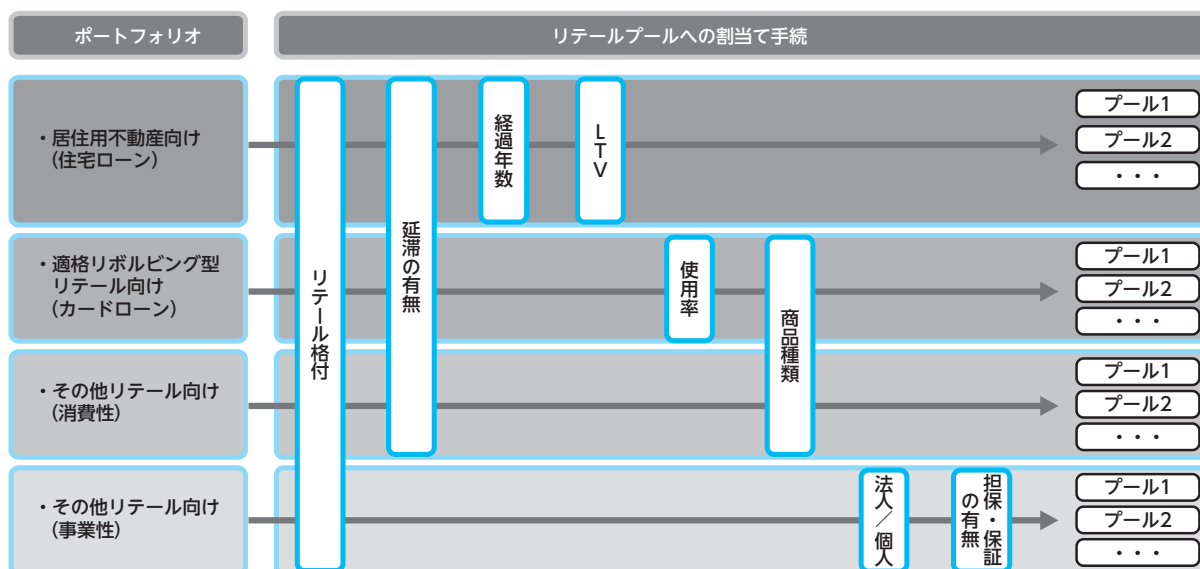
### ■ その他リテール向けエクスポージャー（消費性）

「リテールプール」への割当てでは、「リテール格付」のほか、延滞の有無、商品種類などを勘案しています。なお、プール割当てに用いるモデルは1つです。

### ■ その他リテール向けエクスポージャー（事業性）

「リテールプール」への割当てでは、「リテール格付」のほか、法人・個人の別、担保・保証の有無などを勘案しています。なお、プール割当てに用いるモデルは1つです。

## リテールプールへの割当て手続の概要



### 【パラメータ推計及びその検証体制】

当行では、パラメータ推計値を使用して自己資本比率算出上の信用リスクを算出しているほか、リスク資本配賦制度における内部管理上の信用リスクを算出しています。

また、内部データに基づくバックテスト（推計値と実績値との乖離度合い）などの検証を1年に1回以上行っています。

パラメータ 1 : PD	
推計と検証のための定義及び方法	<p>「事業法人格付」を付与するポートフォリオのうち、事業法人向けエクスポージャー、ソブリン向けエクスポージャー、金融機関等向けエクスポージャー及びPD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャーについては、「事業法人格付」の区分毎にPD推計を行っています。また、「リテールプール」への割当てを行うポートフォリオについては、「リテールプール」の区分毎にPD推計を行っています。</p> <p>PD推計に際しては、過去の内部デフォルト・データに基づく事業年度毎のPDの実績値をもとに過去平均PDを算出し、さらに保守性を勘案した数値を上乗せして推計値を算出しています。</p>
データに係る説明	
デフォルトの可能性が低いポートフォリオ（LDP：Low Default Portfolio）のPDの推計方法	LDPには「事業法人格付」のうち「格付S・A1・A2」が該当し、外部格付機関が公表する長期平均デフォルト実績を基に推計値を算出しています。
規制上のフロアの適用状況	LDPのうち、「格付S・A1」について、算出したPD推計値が0.03%を下回ることから、規制上のフロアを適用し、ソブリンを除く同格付の推計値を0.03%としています。
過去3期分のPDの推計値と実績デフォルト率の間の差異の主な要因等	直近3事業年度の実績デフォルト率は、各格付区分・プール区分とも概ね推計値を下回る水準で推移しています。 これは、景気拡大を背景としてデフォルトが減少していること、また推計値を保守的に算出していることが主な要因です。
パラメータ 2 : LGD	
景気後退期LGDの推計方法	<p>「リテールプール」への割当てを行うポートフォリオについては、「リテールプール」の区分毎にLGDの推計を行っています。</p> <p>LGDの推計に際しては、過去の内部デフォルト・回収データに基づき、回収期間に応じた割引率やコストを勘案のうえ平均LGDを算出し、さらに景気後退期の影響を考慮して推計値を算出しています。</p> <p>担保種類毎に「担保価値と回収率との関係性の分析」等を行い、過去の景気後退期と平常時のLGDの関係を分析のうえ、実績LGDに対する景気後退期におけるストレスを推計し、景気後退期LGDとしています。</p>
LDPのLGDの推計方法	LDPに該当するプール区分がないため、LDPのLGD推計は行っていません。
デフォルト時からエクスポージャーの清算（終結）までに要する期間に係る説明等	過去の内部デフォルト・回収データにおける回収期間は、デフォルトから損失確定、または非デフォルト格付へのランクアップまでの期間、未終結の場合は計測基準年度末までの期間としています。推計値の算出では、回収期間に応じた割引率やコストを勘案します。
パラメータ 3 : EAD	
EAD推計に当たって用いられた前提や仮定等	<p>「リテールプール」への割当てを行うポートフォリオについては、「リテールプール」の区分毎にEADの推計を行っています。</p> <p>EADの推計に際しては、当座貸越・コミットメントなど与信枠が設定される場合には、過去の内部デフォルト・データに基づく「与信枠空使用率（CCF：Credit Conversion Factor）」<sup>※1</sup>の過去平均に保守性を勘案した数値を上乗せしたCCF推計値を算出し、基準日時点の貸出残高に与信枠空とCCF推計値を掛けた値を加えて推計値としています。それ以外の場合には、基準日時点の貸出残高を推計値としています。なお、CCF推計に用いる期間基準は「Fixed horizon方式」<sup>※2</sup>を採用しています。</p> <p>※1 「与信枠空使用率（CCF：Credit Conversion Factor）」とは、デフォルトが発生した場合に想定される、与信枠空に対して追加引出しが行われる割合です。</p> <p>※2 「Fixed horizon方式」とは、デフォルトに至る1年前の未使用残高を特定し、そこからデフォルト時点までの増加率を用いる方式です。</p>

## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 連結】

#### 定性的な開示事項

#### 【内部格付制度並びに使用するモデルの開発及び管理等に 係る運営体制】

##### ◆ 使用するモデルの開発、承認、変更手続きを行う部門 の役割

「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」は、与信部門が行う「債務者格付」の実施及び運用状況を毎月監視し、「リテールプール管理」については、各対象先を該当する「リテールプール」へ割当てを行っていません。運用監視結果は半期毎、リテールプール割当て結果は四半期毎に「信用リスク管理委員会」に報告しています。「パラメータ推計」については、「信用リスク管理委員会」での協議を経て、1年毎に推計値の見直しを行ってまいります。また、「コンプライアンス・リスク統括部信用リスク

グループ」は、「信用格付」、「リテールプール管理」及び「パラメータ推計」で使用するモデルの開発、管理、及び継続的な変更を所管し、モデルの妥当性・判別力等の検証を1年に1回以上行っています。

##### ◆ リスク管理部門と内部監査部門との関係、モデルの検証機能がモデル開発から独立していることを確保する 手続

上記検証結果は監査部が監査を行うことで、モデルの検証機能がモデル開発から独立していることを確保しています。

##### ◆ モデルに係る報告の範囲と主な内容

モデルの開発や変更等は、信用リスク管理委員会で協議のうえ、頭取の承認により行う体制としています。

#### 債務者格付と債務者区分、デフォルトの対応関係

債務者格付（事業法人格付）			債務者区分 (自己査定)	デフォルト 区分	
格付区分	信用度	定義			
S	1 (高)	債務履行の確実性が最も高く、安定している先	正常先	非デフォルト	
A1	2	債務履行の確実性が極めて高く、安定している先			
A2	3	債務履行の確実性が高く、安定している先			
B1	4	債務履行の確実性は十分だが、大きな環境変化により低下する可能性を含んでいる先			
B2	5	債務履行の確実性は十分だが、大きな環境変化により低下する可能性がある先			
B3	6	債務履行の確実性は十分だが、環境変化により低下する可能性が高い先			
C1	7	債務履行の確実性は現状問題ないが、近い将来低下する懸念がある先			
C2	8	業況、財務内容に問題があり、今後の管理に注意を要する先	要注意先	非デフォルト	
C3	9				延滞がない、もしくは延滞1ヵ月未満の実質債務超過でない先
C4	10				延滞がない、もしくは延滞1ヵ月未満の実質債務超過先
C5	11				次のいずれかに該当し、かつ実質債務超過でない先 ・1ヵ月以上3ヵ月未満の延滞が発生している先 ・経営再建または支援目的の条件変更を行っているが、当該条件変更債権が「貸出条件緩和債権」に該当しない先
C6	12				次のいずれかに該当する先 ・1ヵ月以上3ヵ月未満の延滞が発生している先 ・経営再建または支援目的の条件変更を行っているが、当該条件変更債権が「貸出条件緩和債権」に該当しない先
C6	12	次のいずれかに該当する先 ・3ヵ月以上の延滞が発生している先 ・「貸出条件緩和債権」に該当する条件変更を行っている先	要管理先	デフォルト	
D	13	現状、経営破綻の状況にはないが経営難の状態にあり、経営改善計画等の進捗状況が芳しくなく、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる先	破綻懸念先		
E	14	法的・形式的な経営破綻の事実は発生していないものの、深刻な経営難の状態にあり再建の見通しが不明瞭な状況にあると認められるなど、実質的に経営破綻に陥っている先	実質破綻先		
F	15 (低)	法的・形式的な経営破綻の事実が発生している先	破綻先		

※債務者格付のうちリテール格付については、与信額や法人・個人の別などにより、「M」、「N」、「R」を付与しています。

##### ● 使用する内部格付手法の種類及び適用範囲

「内部格付手法の適用範囲の決定に係る経緯」に記載しています。



## 信用リスク削減手法に関するリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

### ネットィングを利用する方針及びプロセスの基本的な特徴並びにネットィングの利用状況に係る説明

信用リスク削減手法とは、当行が抱える信用リスクを軽減するための措置で、担保や保証などをいいます。当行では物的担保を担保、人的担保を保証とし、万一の場合における債権の安全確保を図りつつも、必要以上に担保・保証に依存しないように留意したうえで、貸出を行っています。なお、自己資本比率算出上の信用リスクの算出に際しては、これらの信用リスク削減手法を適正に勘案しています。

貸出の預金相殺が可能な契約下にある自行預金については、債権保全（回収）の一手段としています。信用リスクの算出に際しては、対象となる預金を定期預金、積立定期預金、外貨定期預金としたうえで、事業法人向けエクスポージャー、居住用不動産向けエクスポージャーなどについて信用リスクの削減手法の効果を勘案しています。

### 担保評価・担保管理の方針・プロセスの基本的な特徴

担保取得に際しては、担保物件に応じ登記、確定日付の付与を受けるなどの手続を行ったうえで、行内で定められた時期・方法により実査あるいは点検を実施し、債権保全

に支障のないよう管理しています。また、担保の評価は画一的にならないように、担保物件の種類・状態、貸出先の信用状況などに応じて慎重かつ適切に行っています。

主要な担保は、現金・自行預金、上場株式等、商業手形、不動産です。これらの担保は、信用リスクの算出においても、適格金融資産担保（現金・自行預金・上場株式等）、適格資産担保（商業手形、不動産）として、信用リスクの削減手法の効果を勘案しています。なお、自己資本比率告示で定める適格資産担保のうち、適格その他資産担保（船舶、航空機、ゴルフ会員権担保など）については、信用リスクの削減手法の効果を勘案していません。

### 使用する信用リスク削減手法におけるマーケット・リスク又は信用リスクの集中状況に関する説明

#### ● 特定区分のエクスポージャーの集中状況

当行において信用リスクの削減手法の効果が大きいのは、保証と適格資産担保によるものです。このうち、適格資産担保においては、不動産による担保が大半を占めています。このため、地価下落等による担保価値変動リスクをストレス・テストのシナリオに織り込み、自己資本の充実度の状況を検証しています。

## 派生商品取引及びレポ形式の取引等の相手方に対する信用リスク（カウンターパーティ信用リスク）に関するリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

### カウンターパーティ及び中央清算機関に対するエクスポージャーに関するリスク資本及び与信限度枠の割当方法に関する方針

カウンターパーティの信用力と商品ニーズなどを勘案のうえ、取引先毎に与信限度額を設定しています。また、特定の取引先に与信が集中して一時に多額の損失を被るリスクを抑制するために「グループ別与信上限管理制度」に基づき、貸出金など他の与信取引と合算して総与信額を把握し、格付別の与信上限額に収まるように管理しています。

中央清算機関に対するエクスポージャーについては、信用リスク量をリスク資本配賦制度の対象とすることで管理しています。

### 担保、保証、ネットィングその他の信用リスク削減手法に関する評価並びに担保等の管理の方針及び処分手続の概要

レポ形式の取引については、適格金融資産担保（現金、上場株式等）について、信用リスクの削減手法の効果を勘案しています。

また、対金融機関向けの派生商品取引については、円金利スワップの清算集中を行っているほか、清算集中以外の取引についても、CSA契約（クレジット・サポート・アネックス契約）を締結し、相手金融機関の信用リスクの削

減に努めています。

さらに、対顧客向け派生商品取引では、貸出金と同様に取引先の状況などを個別に勘案のうえ、必要に応じて担保、保証により保全を図る体制となっています。

なお、派生商品取引の信用リスクの算出については、2018年3月にSA-CCR<sup>※</sup>を適用し、証拠金の信用リスクの削減効果を与信額に反映しています。

※SA-CCRとは、国内では2018年3月より導入開始となったデリバティブの与信額算出方法の国際統一基準です。

### 誤方向リスクの特定、モニタリング及び管理のための方針

取引先の信用力悪化と当該取引先に対する与信額に高い相関がある場合に発生する、いわゆる「誤方向リスク」については、与信上限額の設定及び、CSA証拠金等の担保による与信額の削減に努めており、影響は限定的です。

### 自行の信用力悪化により担保を追加的に提供することが必要となる場合の影響度に関する説明

当行の信用力が悪化した場合に、CSA契約により、当行が担保を追加する義務が発生しますが、影響度は限定的です。

## 証券化取引に係るリスクに関する事項

### リスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

当行は、再証券化取引及び特定取引勘定での証券化取引を行っておらず、本項目では、銀行勘定における証券化取引に関する事項を記載しています。

### 【オリジネーター（自行債権の証券化）】

当行では、証券化取引に係る目的と効果を明確にしたうえで、自行債権の証券化を実施しています。住宅ローン債権の証券化では、金利リスクをコントロールしつつ、お客さまの長期固定金利による住宅ローン借入に対するニーズに対応していくことを目的としています。

自行債権の証券化を計画する部署は、関連部署と事前に協議を行い、対象となるリスクを特定・認識し、リスク移転の程度などを検討したうえで、取締役会に付議し、証券化を実施しています。

住宅ローン債権の証券化では、当行は以下の役割を担っています。

- ・証券化対象となる貸出債権の組成・譲渡を行うオリジネーター
- ・原債務者から元利金の回収及び譲渡先である信託銀行への引き渡しを行うサービス
- ・流動性の提供者

また、住宅ローン債権の証券化に係る劣後受益権を保有した場合、「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」は、同証券化取引に係る信用リスクの算出・管理を行っています。

なお、当行は、住宅ローン債権の証券化以外に、中小企業向け貸出債権の証券化（千葉県版CLO）を過去に実施しています。

### 【投資家（証券化エクスポージャー等への投資）】

当行では、証券化エクスポージャーを含む証券化商品への投資にあたり、その対象を原則として投資適格以上に限定し、裏付資産及び商品のストラクチャーに関するリスクのほか、価格変動リスク、流動性リスクなどを勘案のうえで、リスク・リターン観点から合理性があると判断した場合に投資を行うこととしています。

主な投資対象となる証券化エクスポージャーは、他の金融機関等が組成した住宅ローン債権を原資産とする証券化商品であり、信用リスクのほか、価格下落リスク、市場流動性リスクなどが内在しています。当行では、当該取引のリスクを踏まえ、証券化エクスポージャーを含む証券化商品への投資に係る限度額を設定しているほか、ストレス・テストを含めたモニタリング体制を整備するなど、リスクの抑制に努めています。

また、「コンプライアンス・リスク統括部市場リスクグループ」は、同商品に係る市場リスクの状況を「ALM委員会」に報告しています。

### 証券化取引に関する体制の整備及びその運用状況の概要

当行では自己資本比率告示第8章第2節第2款に規定する証券化エクスポージャーの信用リスク・アセットの計測手法を適用するにあたり、自己資本比率告示第248条第1項第1号から第4号までに規定される要件に基づき、ストレス・テスト及び裏付資産などの状況に係るモニタリング報告を実施する体制を整備しています。

ストレス・テストについては、新規取組時及び取組時以降、原則として年1回実施しています。また、モニタリング報告については、新規取組時以降、原則として3ヶ月に1回実施しています。

### 証券化目的導管体を用いて第三者の資産に係る証券化取引を行った場合に関する事項

該当事項はありません。

### 契約外の信用補完等を提供している証券化目的導管体の名称及び当該証券化目的導管体ごとの当該契約外の信用補完等による自己資本への影響

該当事項はありません。

### 証券化取引に関する会計方針

#### ● 会計上の認識方針

金融資産の契約上の権利に関する支配が他に移転したことにより金融資産の消滅を認識する売却処理を採用しています。

#### ● 資産売却の認識時点

証券化取引は、信託受益権の売却時に資産の売却として処理しています。

#### ● 留保分評価の前提等

留保分の評価は、対象資産の簿価を譲渡部分及び残存部分それぞれの時価により按分し、残存部分に配分された金額を帳簿価額としています。

#### ● 証券化取引を目的として保有している資産の評価方法及び銀行勘定または特定取引勘定のいずれに計上しているかの別

証券化取引を目的として保有している資産はありません。

#### ● 証券化エクスポージャーに提供している流動性補完、信用補完、その他の事前の資金の払込みを行わない信用供与について、貸借対照表において負債として認識するための方針

該当する流動性補完等はありません。

## 証券化エクスポージャーの種類ごとのリスク・ウェイトの 判定に使用する適格格付機関の名称

外部格付に基づくリスク・ウェイトの判定には、次の4社の格付機関が付与した格付を使用しています。

- ・株式会社格付投資情報センター (R&I)
- ・株式会社日本格付研究所 (JCR)
- ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス  
(Moody's)
- ・S&Pグローバル・レーティング (S&P)

## マーケット・リスクに関する事項

### リスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

マーケット・リスクとは、金利、有価証券などの価格、為替などの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスク（以下、「市場リスク」）のうち、自己資本比率の算出にかかるトレーディング取引や為替取引（以下、「トレーディング取引等」）に係るものをいいます。

当行では、マーケット・リスクの計測について「標準的方式」を採用し、自己資本比率告示に基づき、「コンプライアンス・リスク統括部」が適切に算定しています。

#### ● 銀行のトレーディング活動の戦略目標及びマーケット・リスク管理のプロセス

トレーディング取引等については、金利、通貨の価格、有価証券市場における相場その他の指標に係る短期的な変動、市場間の格差等を利用して利益を得ることを目的に行っています。また、内部環境（資産・負債等）や外部環境（経済・市場等）の状況を踏まえて、トレーディング取引等にかかる戦略目標や運用方針を半期毎に策定し、四半期

毎に見直しを行っています。加えて、VaRによるリスク資本配賦を実施しているほか、取引限度額の設定やロスカットルールの厳正な運用により、リスクを限定し、大きな損失の発生を未然に防いでいます。

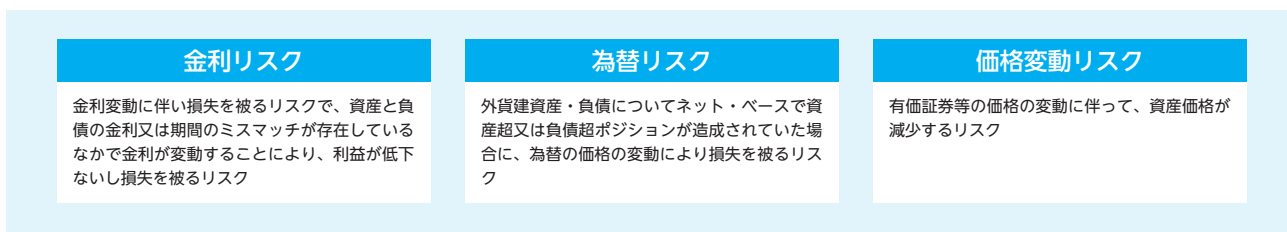
#### ● マーケット・リスク管理部署の体制及び役割

また、取引執行所管部署（フロントオフィス：「市場営業部」、海外店）と事務管理所管部署（バックオフィス：「市場業務部」）を分離したうえで、リスク管理部署（ミドルオフィス：「コンプライアンス・リスク統括部市場リスクグループ」）を設置することで、相互牽制が可能な体制をとっています。

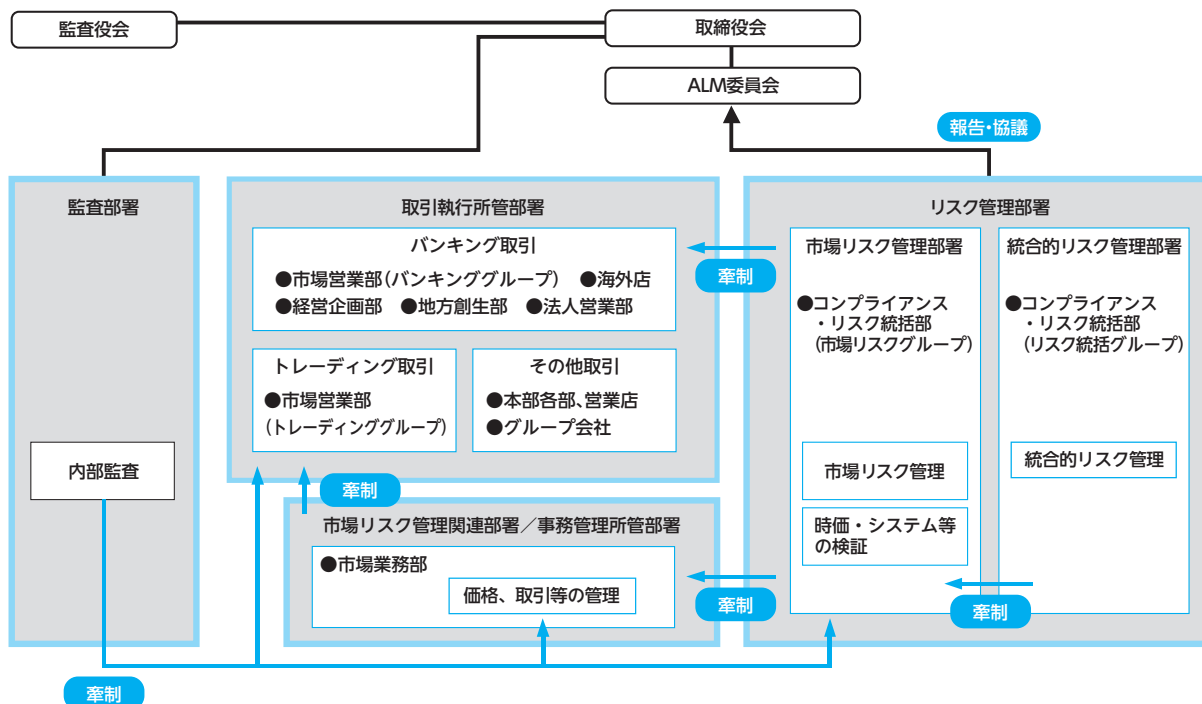
#### ● リスク量に関する報告及び計測システムの範囲と主な内容

「コンプライアンス・リスク統括部」は、マーケット・リスクの計測対象となるトレーディング取引等にかかる評価損益やVaRなどのリスク量のモニタリングを行い、リスク量の状況等を日次で経営に報告しています。

### 管理の対象となる市場リスク



### 市場リスク管理体制図



### 内部モデル方式を使用する場合におけるモデルの概要及び適用範囲

該当事項はありません。

## オペレーショナル・リスクに関する事項

### リスク管理の方針及び手順の概要

#### ● リスクを確実に認識し、評価・計測し、報告するための体制

オペレーショナル・リスクとは、業務の過程、役職員の活動若しくはシステムが不適切であること、または外生的事象により損失が発生するリスクのことをいいます。当行は、経営の健全性の維持に資することを目的として、オペレーショナル・リスクに関する厳正な管理体制を構築しています。

当行では、オペレーショナル・リスクを、事務リスク、システムリスク、サイバーリスク、人的リスク、有形資産リスク、風評リスクに分類のうえ、各リスク所管部署（事務リスク：「事務企画部」、システムリスク・サイバーリスク：「システム部」、人的リスク：「人材育成部」、有形資産リスク：「経営管理部」）を定めるとともに、リスク統括部署である「コンプライアンス・リスク統括部リスク統括グループ」の統括管理のもとに連携してリスク管理を行っています。

なお、風評リスクについては、「コンプライアンス・リスク統括部リスク統括グループ」が直接管理し、また、各リスクに含まれる法務リスク及びコンプライアンスに係るリスクについては、各リスク所管部署と「コンプライア

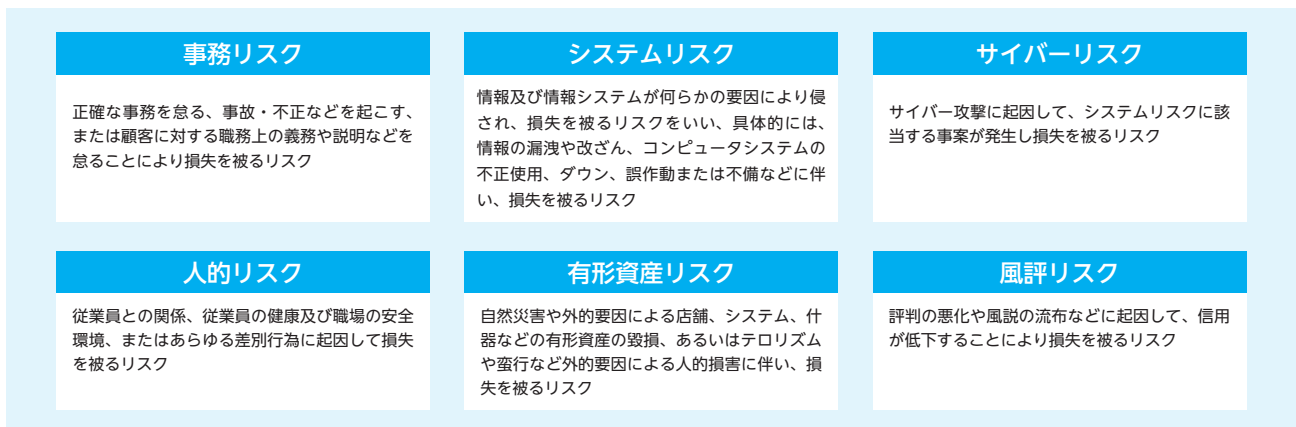
ス・リスク統括部コンプライアンス統括グループ」が連携して管理します。

また、「オペレーショナル・リスク管理委員会」を設置し、経営の直接関与のもと、オペレーショナル・リスク損失事象などに関する報告を受け管理を策定し（Plan）、管理規程類に則った実施（Do）、また評価・改善（Check&Action）していくという、「PDCAサイクル」により、問題点の改善、是正を行う管理体制を構築しています。この一連の「PDCAサイクル」による管理の実効性確保のため、当行では、リスクの内容を特定・評価・把握・管理し、かつ削減するための方策を策定して実施するというCSA（Control Self Assessment）を導入しています。CSAによる管理とは、当行で生じたオペレーショナル・リスク損失事象に対応するとともに、他行や他業態で発生した損失事象を踏まえて、当行の管理体制で十分かどうかを評価し、必要に応じて対策を打つことで、未然にリスク顕在化を防止するというものです。

#### オペレーショナル・リスク相当額の算出に使用する手法の名称

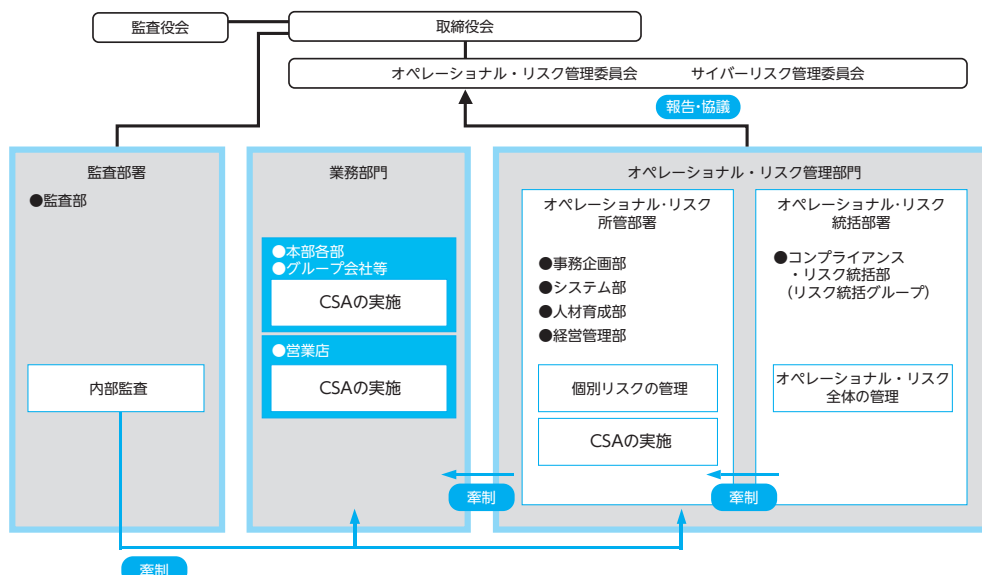
自己資本比率算出上のオペレーショナル・リスク相当額の算出には、「粗利益配分手法」を使用しています。

#### 管理の対象となるオペレーショナル・リスク



※法務リスク及びコンプライアンスに係るリスクについては各リスクにそれぞれ含まれ、各リスク所管部署と「コンプライアンス・リスク統括部コンプライアンス統括グループ」が連携して管理します。

#### オペレーショナル・リスク管理体制図



先進的計測手法を使用する場合は、当該事項はありません。



## 出資等又は株式等エクスポージャーに関するリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

当行では、銀行勘定における株式等エクスポージャーについて、他の市場性取引と合算して管理しており、信用リスク及び市場リスクの管理の対象としています。また、投資目的に応じて、政策投資と純投資に区分し、審査・管理体制を構築しています。

### リスクを確実に認識し、評価・計測し、報告するための体制

株式等への投資の際には、政策投資と純投資の区分毎に、所管部署が審査を行っています。全ての株式等について自己査定を行うとともに、帳簿価格50百万円以上の株式については、貸出金と同様に「事業法人格付」を付与しています。また、特定の取引先に与信が集中して一時に多額の損失を被るリスクを抑制するために、「グループ別与信上限管理制度」に基づき、貸出金など他の与信取引と合算して総与信額を把握し、格付別の与信上限額に収まるよう管理しています。

「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」は、信用リスクの統括管理を行うとともに、株式等を含めた信用リスクの状況を四半期毎に「信用リスク管理委員会」に報告しています。また、「コンプライアンス・リスク統括部市場リスクグループ」は、VaR（想定最大損失額：保有期間1年、観測期間1年、信頼水準99.9%）に基づくリスク量の算出やモニタリングを通じて市場リスクの統括管理を行うとともに、株式等を含めた市場リスクの状況を月次で「ALM委員会」に報告しています。

### その他有価証券、子会社株式及び関連会社株式の区分ごとのリスク管理の方針

取得原価にて貸借対照表価額とする子会社株式及び関連会社株式については、時価を把握することが極めて困難なその他有価証券と同様に信用リスクの管理の対象としています。なお、自己査定に際しては、子会社の実質価額が下落している場合、当行の再建意思などを総合的に勘案して分類することとしています。

### 株式等エクスポージャーの評価等重要な会計方針

有価証券の評価は、子会社株式及び関連会社株式については移動平均法による原価法、その他有価証券については時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、ただし市場価格のない株式等については移動平均法による原価法により行っています。なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しています。

金銭の信託において信託財産を構成している有価証券の評価は、決算日の市場価格等に基づく時価法により行っています。



## 金利リスクに関する事項

### リスク管理の方針及び手順の概要

#### ● リスク管理及び計測の対象とする金利リスクの考え方及び範囲に関する説明

当行では、トレーディング取引等を含む金利リスクについて、市場リスクの一つとして管理しています。また、金利リスクのうち、銀行勘定の金利リスク（以下、IRRBB：Interest Rate Risk in the Banking Book<sup>※</sup>）については、個別の管理指標の設定やモニタリング体制の整備などにより、厳正な管理に努めています。

また、金利リスクについては、原則として連結で管理・計測していますが、IRRBBについては、重要性の観点より、連結のIRRBBと銀行単体のIRRBBを等しいものと見なしています。

※IRRBBとは、市場リスクのうち、トレーディング取引等を除くすべての金利感応資産・負債、オフバランス取引に係る金利リスクをいいます。

#### ● リスク管理及びリスク削減の方針に関する説明

当行では、ALM管理体制のもと、自己資本に対するIRRBBの比率にアラームポイントを設定し管理することで、健全性の確保に努めています。

#### ● 金利リスク計測の頻度

毎月末を基準日として、月次でIRRBBを計測しています。

#### ● ヘッジ等金利リスクの削減手法（ヘッジ手段の会計上の取扱いを含む）に関する説明

当行では、金利上昇リスクの軽減に主眼を置いた、スワップ取引等による「ALMヘッジ」と、金利上昇・価格下落、為替変動等のリスクの軽減に主眼を置いた、先物・オプション・スワップ取引等による「個別・包括ヘッジ」を主なヘッジ手段としています。

当行の金融資産・負債から生じる金利リスクに対するヘッジの会計上の取扱いは、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別委員会実務指針第24号 2022年3月17日）に規定する繰延ヘッジによる方法となります。また、当行では、上記以外のヘッジ会計上の取扱いとして、一部の資産・負債については、繰延ヘッジあるいは金利スワップの特例処理を行っています。

ヘッジ有効性評価は、相場変動を相殺するヘッジについて、ヘッジ対象となる預金・貸出金等とヘッジ手段である金利スワップ取引等を一定の残存期間ごとにグルーピングのうえ特定し評価しています。

### 金利リスクの算定手法の概要

#### △EVE<sup>(注1)</sup> 及び△NII<sup>(注2)</sup> 並びに銀行がこれらに追加して自ら開示を行う金利リスクに関する事項

(注1) IRRBBのうち、金利ショックに対する経済的価値の減少額として計測されるものであって、開示告示に定められた金利ショックにより計算されるものをいいます。

(注2) IRRBBのうち、金利ショックに対する算出基準日から12ヶ月を経過する日までの間の金利収益の減少額として計測されるものであって、開示告示に定められた金利ショックにより計算されるものをいいます。

#### ・流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期

流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期は1.25年です。

#### ・流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期

流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期は5年です。

#### ・流動性預金への満期の割当て方法（コア預金モデル等）及びその前提

流動性預金への満期の割当て方法については、金融庁が定める保守的な前提を採用しています。

#### ・固定金利貸出の期限前償還や定期預金の早期解約に関する前提

固定金利貸出の期限前償還及び定期預金の早期解約については、金融庁が定める保守的な前提を採用しています。

#### ・複数の通貨の集計方法及びその前提

当行ではIRRBBの算出にあたり、通貨別に算出した金利リスクの正値を合算しています。なお、金利リスクの合算において、通貨間の相関等は考慮していません。

また、重要性の観点より、一部の通貨については金利改定満期に基づくキャッシュ・フローを他の通貨に集約して、金利リスクを算出しています。

#### ・スプレッドに関する前提（計算にあたって割引金利やキャッシュ・フローに含めるか否か等）

当行ではIRRBBの算出にあたり、割引金利にスプレッドを含めず、キャッシュ・フローにスプレッドを含めて算出しています。

#### ・内部モデルの使用等、△EVEと△NIIに重大な影響を及ぼすその他の前提

内部モデルは、使用していません。

#### ・前連結会計年度末の開示からの変動に関する説明

2023年3月末の△EVEは、保有する債券のデュレーション短期化を主因に、前期末比239億円減少し578億円となりました。△NIIは、市場性資金運用の増加を主因に、前期末比45億円増加し395億円となりました。

#### ・計測値の解釈や重要性に関するその他の説明

当期の重要性テスト結果は、監督上の基準値である15%に対し、問題のない水準となっています。

なお、当行では重要性の観点より、ストレス時に大きな影響を与えると考えられる資産・負債をIRRBBの計測対象としており、その選別にあたっては定量的な基準（銀行の資産・負債の5%程度）に加えて、定性的な影響等を考慮しています。

## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 連結】

#### 定性的な開示事項

銀行が、 $\Delta$ EVE及び $\Delta$ NII以外の金利リスクを計測している場合における、当該金利リスクに関する事項

##### ・金利ショックに関する説明

$\Delta$ EVE及び $\Delta$ NII以外の金利リスクを計測する場合の金利ショックについては、過去の事例や、景気シナリオに基づく金利変動としています。

##### ・金利リスク計測の前提及びその意味（特に、開示告示に基づく定量的開示の対象となる $\Delta$ EVE及び $\Delta$ NIIと大きく異なる点）

当行では、リスク資本配賦制度の一環として、金利リスクをVaRなどにより管理しており、預貸金や債券のVaRに基づくリスク量に上限ガイドラインを設定しています。

具体的には、部門毎に配賦されたリスク資本の範囲内

で、有価証券投資などの市場取引や預貸金といった商品毎のVaR（保有期間1年、観測期間1年、信頼水準99.9%）に基づく市場リスク量に対し、リスク限度額を設定し管理することで健全性の確保に努めています。また、市場取引については、VaRに基づく市場リスク量の管理に加え、残高による運用上限枠や評価損益アラームポイントなども設定しており、四半期毎に運用方針を見直すことでリスクのコントロールを行っています。

また、当行では、自己資本の充実度の評価やストレス・テストの実施にあたり、過去の事例や、景気シナリオに基づく金利変動による影響等を定期的に検証しています。

さらに、収益管理や経営上の判断その他の目的では、市場環境等を踏まえた金利の見通しなど実現性の高い金利変動等を想定し、金利リスクを計測しています。

# 連結貸借対照表の科目が別紙様式第五号に記載する項目のいずれに相当するかについての説明

2022年3月末

(単位：百万円)

CC2：連結貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係

項目	イ	ハ	ニ
	公表連結 貸借対照表	別紙様式第五号 を参照する番号 又は記号	付表 参照番号
<b>資産の部</b>			
現金預け金	4,201,429		
コールローン及び買入手形	152,070		
買現先勘定	14,999		
買入金銭債権	21,404		
特定取引資産	138,757		
金銭の信託	9,879		
有価証券	2,482,224		6-a
貸出金	11,646,721		6-b
外国為替	5,970		
その他資産	279,891		6-c
有形固定資産	125,937		
無形固定資産	14,450	(6)	2
退職給付に係る資産	16,576	(8)	3
繰延税金資産	3,924		4-a
支払承諾見返	25,771		
貸倒引当金	△ 35,246		
<b>資産の部合計</b>	<b>19,104,764</b>		
<b>負債の部</b>			
預金	14,771,202		
譲渡性預金	552,959		
コールマネー及び売渡手形	681,777		
売現先勘定	13,945		
債券貸借取引受入担保金	262,547		
特定取引負債	10,448		
借入金	1,336,732		
外国為替	576		
社債	103,331		7
信託勘定借	8,883		
その他負債	233,541		
退職給付に係る負債	732		
役員退職慰労引当金	152		
睡眠預金払戻損失引当金	1,296		
ポイント引当金	746		
特別法上の引当金	24		
繰延税金負債	30,595		4-b
再評価に係る繰延税金負債	10,407		4-c
支払承諾	25,771		
<b>負債の部合計</b>	<b>18,045,673</b>		
<b>純資産の部</b>			
資本金	145,069	(1)	1-a
資本剰余金	122,134	(2)	1-b
利益剰余金	714,455	(3)	1-c
自己株式	△ 53,108	(4)	1-d
<b>株主資本合計</b>	<b>928,550</b>		
その他有価証券評価差額金	114,391		
繰延ヘッジ損益	5,198	(7)	5
土地再評価差額金	9,791		
退職給付に係る調整累計額	1,159		
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>130,541</b>	<b>(5)</b>	
<b>純資産の部合計</b>	<b>1,059,091</b>		
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>19,104,764</b>		

※会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲が同一であるため、口欄（「規制上の連結範囲に基づく連結貸借対照表」）は記載を省略しています。

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定性的な開示事項

2023年3月末

(単位：百万円)

CC2：連結貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係

項目	イ	ハ	ニ
	公表連結 貸借対照表	別紙様式第五号 を参照する番号 又は記号	付表 参照番号
<b>資産の部</b>			
現金預け金	4,065,850		
コールローン及び買入手形	335,089		
買現先勘定	17,999		
債券貸借取引支払保証金	5,446		
買入金銭債権	22,612		
特定取引資産	162,444		
金銭の信託	9,279		
有価証券	2,576,106		6-a
貸出金	12,107,066		6-b
外国為替	5,375		
その他資産	320,687		6-c
有形固定資産	124,473		
無形固定資産	14,222	(6)	2
退職給付に係る資産	18,578	(8)	3
繰延税金資産	3,088		4-a
支払承諾見返	31,822		
貸倒引当金	△ 32,260		
<b>資産の部合計</b>	<b>19,787,882</b>		
<b>負債の部</b>			
預金	15,408,192		
譲渡性預金	495,748		
コールマネー及び売渡手形	810,859		
売現先勘定	17,160		
債券貸借取引受入担保金	337,074		
特定取引負債	18,618		
借入金	1,206,808		
外国為替	724		
社債	110,038		7
信託勘定借	13,439		
その他負債	237,725		
退職給付に係る負債	4,476		
役員退職慰労引当金	160		
睡眠預金払戻損失引当金	910		
ポイント引当金	838		
特別法上の引当金	24		
繰延税金負債	21,742		4-b
再評価に係る繰延税金負債	10,402		4-c
支払承諾	31,822		
<b>負債の部合計</b>	<b>18,726,767</b>		
<b>純資産の部</b>			
資本金	145,069	(1)	1-a
資本剰余金	122,146	(2)	1-b
利益剰余金	755,517	(3)	1-c
自己株式	△ 62,943	(4)	1-d
<b>株主資本合計</b>	<b>959,789</b>		
その他有価証券評価差額金	83,907		
繰延ヘッジ損益	10,408	(7)	5
土地再評価差額金	9,921		
退職給付に係る調整累計額	△ 2,911		
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>101,326</b>	(5)	
<b>純資産の部合計</b>	<b>1,061,115</b>		
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>19,787,882</b>		

※会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲が同一であるため、口欄（「規制上の連結範囲に基づく連結貸借対照表」）は記載を省略しています。

《付表》 連結

株主資本

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
資本金	145,069	145,069		1-a
資本剰余金	122,134	122,146		1-b
利益剰余金	714,455	755,517		1-c
自己株式	△ 53,108	△ 62,943		1-d
株主資本合計	928,550	959,789		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
普通株式等Tier1資本に係る額	928,550	959,789	普通株式に係る株主資本の額 (社外流出予定額調整前)	
うち、資本金及び資本剰余金の額	267,203	267,215		1a
うち、利益剰余金の額	714,455	755,517		2
うち、自己株式の額 (△)	53,108	62,943		1c
うち、上記以外に該当するものの額	-	-		

無形固定資産

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
無形固定資産	14,450	14,222		2
うち、のれん	-	-		
うち、モーゲージ・サービシング・ライツ	-	-		
うち、その他の無形固定資産	14,450	14,222	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外 (ソフトウェア等)	
上記に係る税効果	4,415	4,344	全額費用認識した場合の繰延税金資産相当額	

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
無形固定資産 のれんに係るもの (のれん相当差額を含む。) の額	-	-		8
無形固定資産 その他の無形固定資産に係るものの額	10,035	9,878	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外 (ソフトウェア等) 税効果控除後	9
無形固定資産 モーゲージ・サービシング・ライツに係るものの額	-	-		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		20
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		24
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。) に係る調整項目不算入額	-	-		74

## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 連結】

#### 定性的な開示事項

#### 退職給付に係る資産

##### (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
退職給付に係る資産	16,576	18,578		3
上記に係る繰延税金負債	4,041	5,639		

##### (2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
退職給付に係る資産の額	12,535	12,939	繰延税金負債控除後	15

#### 繰延税金資産

##### (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
繰延税金資産	3,924	3,088		4-a
繰延税金負債	30,595	21,742		4-b
再評価に係る繰延税金負債	10,407	10,402		4-c
その他の無形固定資産の税効果勘案分	4,415	4,344	全額費用認識した場合の繰延税金 資産相当額	
退職給付に係る資産の繰延税金負債	4,041	5,639		

##### (2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	資産負債相殺処理のため、連結貸借 対照表計上額とは一致せず	10
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）の額	-	-	資産負債相殺処理のため、連結貸借 対照表計上額とは一致せず	
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		21
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		25
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。） に係る調整項目不算入額	-	-		75

#### 繰延ヘッジ損益

##### (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
繰延ヘッジ損益	5,198	10,408		5

##### (2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
繰延ヘッジ損益の額	4	853	ヘッジ対象に係る時価評価差額が 「その他の包括利益累計額」として 計上されているものを除いたもの	11



## 金融機関向け出資等の対象科目

### (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
有価証券	2,482,224	2,576,106	うち、金融機関向け出資等 2022年3月末 83,672百万円 2023年3月末 82,060百万円	6-a
貸出金	11,646,721	12,107,066	劣後ローン等を含む うち、金融機関向け出資等 2022年3月末 19,661百万円 2023年3月末 16,161百万円	6-b
その他資産	279,891	320,687	出資金を含む うち、金融機関向け出資等 2022年3月末 2百万円 2023年3月末 2百万円	6-c

### (2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
自己保有資本調達手段の額	92	107		
自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	92	107		16
自己保有その他Tier1資本調達手段の額	-	-		37
自己保有Tier2資本調達手段の額	-	-		52
意図的に保有している他の金融機関等の資本等調達手段の額	-	-		
意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-		17
意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		38
意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		53
少数出資金融機関等の資本等調達手段の額	90,013	82,847		
少数出資金融機関等の普通株式の額	-	-		18
少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		39
少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		54
少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額	90,013	82,847		72
その他金融機関等の資本等調達手段の額	13,229	15,268		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		19
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		23
その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		40
その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		55
その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	13,229	15,268		73

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定性的な開示事項

その他資本調達

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
社債	103,331	110,038		7

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	-	-		32
Tier2資本調達手段に係る負債の額	14,482	8,489		46

自己資本調達手段に関する契約内容

バーゼルⅢによる自己資本比率規制に係る開示事項のうち「自己資本調達手段に関する契約内容の概要および詳細」につきましては、当行ウェブサイト (<https://www.chibabank.co.jp/company/ir/library/capital/>) に掲載しています。

## 自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異及びその要因に関する説明

定量的な開示事項 第二号第二面 LI1で複数のリスク区分にまたがる勘定科目やリスク区分との紐づけが困難な勘定科目についての定性的な説明

- ・「カウンターパーティ信用リスク」には、デリバティブ資産・負債、デリバティブに関する証拠金及び、レポ形式の取引における差入担保・調達金額等を計上しています。
- ・「マーケット・リスク」には、商品有価証券及び特定取引勘定のデリバティブ資産・負債等を計上しています。

自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異について、定量的な開示事項 第二号第三面 LI2で示される主要な差異項目の説明

- ・「オフ・バランスシートの額」には、コミットメント・ラインにおける空枠などを計上しています。
- ・「引当て及び償却を勘案することによる差異」には、基礎的内部格付手法適用資産における適格引当金を計上しています。
- ・「デリバティブ取引による差異」には、PFE\*など、SA-CCR方式のデリバティブ与信額とオン・バランス資産・負債との差額を計上しています。

\*PFEとはデリバティブの時価が将来的に変動する可能性を考慮したエクスポージャーです。

## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 連結】

#### 定量的な開示事項

その他金融機関等であって銀行の子法人等であるもののうち、自己資本比率規制上の所要自己資本を下回った会社の名称と所要自己資本を下回った額の総額

該当事項はありません。

#### 信用リスクに関する事項

エクスポージャーの区分ごとの期末残高及びそれらの主な種類別の内訳

##### 期末残高及びエクスポージャーの主な種類別の内訳

(単位：百万円、%)

	2022年3月末					構成比	2022年3月末 カウンター パーティ 信用リスク合計
	期末残高				計		
	貸出金等	債券	その他	計			
当行のエクスポージャー	12,976,299	1,599,759	4,932,030	19,508,090	99.24	358,653	
連結子会社のエクスポージャー	94,965	-	55,339	150,305	0.76	0	
合 計	13,071,265	1,599,759	4,987,370	19,658,395	100.00	358,653	

(単位：百万円、%)

	2023年3月末					構成比	2023年3月末 カウンター パーティ 信用リスク合計
	期末残高				計		
	貸出金等	債券	その他	計			
当行のエクスポージャー	13,427,411	1,703,499	4,959,949	20,090,861	99.23	449,131	
連結子会社のエクスポージャー	97,817	-	58,948	156,766	0.77	0	
合 計	13,525,229	1,703,499	5,018,898	20,247,627	100.00	449,131	

※1.エクスポージャーには、調整項目の額に算入される部分は含まれていません。

※2.「貸出金等」とは、貸出金及びオフ・バランスのエクスポージャーのうちコミットメントと保証取引（支払承諾）です。なお、連結子会社におけるリース資産及び買入金銭債権を含んでいます。

##### 期末残高のうち、次に掲げる区分ごとの額及びそれらのエクスポージャーの主な種類別の内訳

#### ● 地域別

(単位：百万円、%)

	2022年3月末					構成比	2022年3月末 カウンター パーティ 信用リスク合計
	期末残高				計		
	貸出金等	債券	その他	計			
当行のエクスポージャー	12,976,299	1,599,759	4,932,030	19,508,090	99.24	358,653	
国内	12,701,017	1,305,611	4,850,356	18,856,985	95.92	341,640	
海外	275,281	294,148	81,674	651,105	3.31	17,012	
連結子会社のエクスポージャー	94,965	-	55,339	150,305	0.76	0	
合 計	13,071,265	1,599,759	4,987,370	19,658,395	100.00	358,653	

(単位：百万円、%)

	2023年3月末					構成比	2023年3月末 カウンター パーティ 信用リスク合計
	期末残高				計		
	貸出金等	債券	その他	計			
当行のエクスポージャー	13,427,411	1,703,499	4,959,949	20,090,861	99.23	449,131	
国内	13,097,547	1,390,997	4,891,883	19,380,428	95.72	430,549	
海外	329,863	312,502	68,066	710,432	3.51	18,581	
連結子会社のエクスポージャー	97,817	-	58,948	156,766	0.77	0	
合 計	13,525,229	1,703,499	5,018,898	20,247,627	100.00	449,131	

※「国内」とは、当行の国内店です。「海外」とは、当行の海外店です。

● 業種別

(単位：百万円、%)

	2022年3月末					2022年3月末 カウンター パーティ 信用リスク合計
	期末残高				構成比	
	貸出金等	債券	その他	計		
当行のエクスポージャー	12,976,299	1,599,759	4,932,030	19,508,090	99.24	358,653
製造業	825,648	157,787	72,816	1,056,252	5.37	1,043
農業、林業	19,648	485	0	20,134	0.10	63
漁業	1,402	-	-	1,402	0.01	18
鉱業、採石業、砂利採取業	19,195	90	3,307	22,593	0.11	-
建設業	454,875	21,838	10,074	486,788	2.48	831
電気・ガス・熱供給・水道業	235,085	23,450	506	259,041	1.32	37,448
情報通信業	50,858	34,233	3,745	88,837	0.45	80
運輸業、郵便業	335,094	58,134	11,014	404,243	2.06	629
卸売業、小売業	898,620	29,867	46,126	974,614	4.96	1,371
金融業、保険業	620,129	191,460	4,466,051	5,277,641	26.85	308,525
不動産業、物品賃貸業	3,361,317	19,446	73,025	3,453,789	17.57	2,291
医療、福祉その他サービス業	829,504	26,932	22,252	878,689	4.47	2,084
国・地方公共団体	464,241	609,087	79	1,073,409	5.46	-
個人	4,044,801	-	-	4,044,801	20.58	4,265
その他	815,877	426,942	223,028	1,465,848	7.46	-
連結子会社のエクスポージャー	94,965	-	55,339	150,305	0.76	0
合計	13,071,265	1,599,759	4,987,370	19,658,395	100.00	358,653

(単位：百万円、%)

	2023年3月末					2023年3月末 カウンター パーティ 信用リスク合計
	期末残高				構成比	
	貸出金等	債券	その他	計		
当行のエクスポージャー	13,427,411	1,703,499	4,959,949	20,090,861	99.23	449,131
製造業	888,963	144,228	72,173	1,105,364	5.46	1,404
農業、林業	17,932	401	0	18,334	0.09	114
漁業	1,538	-	-	1,538	0.01	10
鉱業、採石業、砂利採取業	27,372	70	3,242	30,685	0.15	-
建設業	481,036	19,533	8,078	508,648	2.51	620
電気・ガス・熱供給・水道業	253,368	15,369	506	269,243	1.33	36,062
情報通信業	68,372	35,206	2,867	106,446	0.53	58
運輸業、郵便業	301,774	46,957	12,317	361,049	1.78	562
卸売業、小売業	933,013	36,073	59,883	1,028,970	5.08	2,529
金融業、保険業	690,675	220,722	4,475,441	5,386,839	26.60	397,053
不動産業、物品賃貸業	3,573,171	17,871	69,363	3,660,406	18.08	2,426
医療、福祉その他サービス業	850,050	29,897	21,521	901,469	4.45	1,399
国・地方公共団体	415,685	712,992	48	1,128,726	5.57	-
個人	4,138,182	-	-	4,138,182	20.44	6,888
その他	786,272	424,175	234,504	1,444,953	7.14	-
連結子会社のエクスポージャー	97,817	-	58,948	156,766	0.77	0
合計	13,525,229	1,703,499	5,018,898	20,247,627	100.00	449,131

※業種別の「その他」とは、総合口座貸越を含めた額です。

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定量的な開示事項

● 残存期間別

(単位：百万円、%)

	2022年3月末					構成比	2022年3月末 カウンター パーティ 信用リスク合計
	期末残高				計		
	貸出金等	債券	その他				
当行のエクスポージャー	12,976,299	1,599,759	4,932,030	19,508,090	99.24	358,653	
1年以下	2,226,763	140,060	4,312,297	6,679,121	33.98	300,752	
1年超3年以下	968,082	362,326	-	1,330,408	6.77	5,934	
3年超5年以下	1,013,905	280,298	63,761	1,357,966	6.91	3,738	
5年超7年以下	567,895	50,227	-	618,122	3.14	3,674	
7年超10年以下	870,457	266,449	-	1,136,906	5.78	8,057	
10年超	6,514,076	500,397	-	7,014,474	35.68	36,495	
期間の定めなし	815,118	-	555,972	1,371,091	6.97	-	
連結子会社のエクスポージャー	94,965	-	55,339	150,305	0.76	0	
合 計	13,071,265	1,599,759	4,987,370	19,658,395	100.00	358,653	

(単位：百万円、%)

	2023年3月末					構成比	2023年3月末 カウンター パーティ 信用リスク合計
	期末残高				計		
	貸出金等	債券	その他				
当行のエクスポージャー	13,427,411	1,703,499	4,959,949	20,090,861	99.23	449,131	
1年以下	2,309,010	165,993	4,338,064	6,813,067	33.65	388,441	
1年超3年以下	1,080,603	377,419	-	1,458,022	7.20	3,824	
3年超5年以下	1,076,487	244,493	49,286	1,370,267	6.77	4,204	
5年超7年以下	612,319	78,647	-	690,967	3.41	3,460	
7年超10年以下	866,155	140,009	-	1,006,164	4.97	7,568	
10年超	6,698,425	696,937	-	7,395,362	36.52	41,632	
期間の定めなし	784,409	-	572,599	1,357,008	6.70	-	
連結子会社のエクスポージャー	97,817	-	58,948	156,766	0.77	0	
合 計	13,525,229	1,703,499	5,018,898	20,247,627	100.00	449,131	



金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則（平成十年金融再生委員会規則第二号）第四条第二項、第三項又は第四項に規定する債権に係る債務者のエクスポージャーの期末残高、当該期末残高に対応して計上されている引当金の額及び当該エクスポージャーに係る償却額並びにこれらの次に掲げる区分ごとの内訳

金融再生法開示債権に係る債務者のエクスポージャー

期末残高

(単位：百万円、%)

	2022年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	17,107	54,927	48,149	120,184	97.48
連結子会社のエクスポージャー	2,233	630	235	3,100	2.51
合計	19,341	55,557	48,385	123,284	100.00

(単位：百万円、%)

	2023年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	18,280	52,795	51,081	122,157	97.63
連結子会社のエクスポージャー	1,884	684	388	2,957	2.36
合計	20,164	53,479	51,470	125,114	100.00

期末残高のうち、次に掲げる区分ごとの内訳

● 地域別

(単位：百万円、%)

	2022年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	17,107	54,927	48,149	120,184	97.48
国内	17,107	54,927	48,149	120,184	97.48
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	2,233	630	235	3,100	2.51
合計	19,341	55,557	48,385	123,284	100.00

(単位：百万円、%)

	2023年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	18,280	52,795	51,081	122,157	97.63
国内	18,280	52,795	51,081	122,157	97.63
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,884	684	388	2,957	2.36
合計	20,164	53,479	51,470	125,114	100.00

※「国内」とは、当行の国内店です。「海外」とは、当行の海外店です。

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定量的な開示事項

● 業種別

(単位：百万円、%)

	2022年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	17,107	54,927	48,149	120,184	97.48
製造業	312	5,233	5,949	11,496	9.32
農業、林業	4	144	27	176	0.14
漁業	-	3	-	3	0.00
鉱業、採石業、砂利採取業	-	190	-	190	0.15
建設業	665	3,049	1,427	5,142	4.17
電気・ガス・熱供給・水道業	7	27	-	35	0.02
情報通信業	59	551	10	620	0.50
運輸業、郵便業	123	1,127	11,040	12,291	9.96
卸売業、小売業	556	8,564	7,651	16,773	13.60
金融業、保険業	-	28	-	28	0.02
不動産業、物品賃貸業	3,029	11,695	11,822	26,548	21.53
医療、福祉その他サービス業	1,134	11,005	7,218	19,358	15.70
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	11,212	13,305	3,002	27,520	22.32
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	2,233	630	235	3,100	2.51
合 計	19,341	55,557	48,385	123,284	100.00

(単位：百万円、%)

	2023年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	18,280	52,795	51,081	122,157	97.63
製造業	899	7,387	7,848	16,134	12.89
農業、林業	4	581	398	984	0.78
漁業	-	3	-	3	0.00
鉱業、採石業、砂利採取業	3	-	-	3	0.00
建設業	1,013	3,082	1,305	5,401	4.31
電気・ガス・熱供給・水道業	0	-	-	0	0.00
情報通信業	69	530	142	742	0.59
運輸業、郵便業	105	2,258	11,873	14,237	11.37
卸売業、小売業	617	8,542	6,526	15,686	12.53
金融業、保険業	-	45	-	45	0.03
不動産業、物品賃貸業	2,339	9,940	11,027	23,307	18.62
医療、福祉その他サービス業	2,087	8,313	8,800	19,200	15.34
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	11,138	12,110	3,158	26,408	21.10
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,884	684	388	2,957	2.36
合 計	20,164	53,479	51,470	125,114	100.00

## 金融再生法開示債権に係る債務者のエクスポージャーに係る貸倒引当金

### 期末残高

(単位：百万円、%)

	2022年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	1,030	6,117	6,672	13,819	75.42
連結子会社のエクスポージャー	3,358	1,068	74	4,501	24.57
合 計	4,388	7,186	6,746	18,321	100.00

(単位：百万円、%)

	2023年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	1,639	6,035	6,351	14,026	78.64
連結子会社のエクスポージャー	2,895	851	63	3,809	21.35
合 計	4,534	6,886	6,414	17,836	100.00

### 期末残高のうち、次に掲げる区分ごとの内訳

#### ● 地域別

(単位：百万円、%)

	2022年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	1,030	6,117	6,672	13,819	75.42
国内	1,030	6,117	6,672	13,819	75.42
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	3,358	1,068	74	4,501	24.57
合 計	4,388	7,186	6,746	18,321	100.00

(単位：百万円、%)

	2023年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	1,639	6,035	6,351	14,026	78.64
国内	1,639	6,035	6,351	14,026	78.64
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	2,895	851	63	3,809	21.35
合 計	4,534	6,886	6,414	17,836	100.00

※「国内」とは、当行の国内店です。「海外」とは、当行の海外店です。

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定量的な開示事項

● 業種別

(単位：百万円、%)

	2022年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	1,030	6,117	6,672	13,819	75.42
製造業	12	785	1,151	1,949	10.64
農業、林業	-	21	1	23	0.12
漁業	-	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	23	-	23	0.13
建設業	90	151	105	348	1.89
電気・ガス・熱供給・水道業	2	3	-	5	0.03
情報通信業	-	66	0	67	0.36
運輸業、郵便業	14	68	2,937	3,019	16.48
卸売業、小売業	58	971	674	1,703	9.29
金融業、保険業	-	1	-	1	0.00
不動産業、物品賃貸業	710	1,284	904	2,899	15.82
医療、福祉その他サービス業	120	2,500	759	3,379	18.44
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	20	238	139	398	2.17
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	3,358	1,068	74	4,501	24.57
合 計	4,388	7,186	6,746	18,321	100.00

(単位：百万円、%)

	2023年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	1,639	6,035	6,351	14,026	78.64
製造業	201	1,461	1,405	3,068	17.20
農業、林業	-	128	21	149	0.83
漁業	-	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-
建設業	134	185	104	424	2.37
電気・ガス・熱供給・水道業	0	-	-	0	0.00
情報通信業	4	68	7	81	0.45
運輸業、郵便業	2	257	2,678	2,938	16.47
卸売業、小売業	55	1,078	533	1,667	9.34
金融業、保険業	-	5	-	5	0.03
不動産業、物品賃貸業	451	951	622	2,025	11.35
医療、福祉その他サービス業	783	1,730	806	3,319	18.61
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	5	168	171	344	1.93
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	2,895	851	63	3,809	21.35
合 計	4,534	6,886	6,414	17,836	100.00

## 金融再生法開示債権に係る債務者のエクスポージャーに係る償却額

### 期末残高

(単位：百万円、%)

	2022年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	5,663	-	-	5,663	83.76
連結子会社のエクスポージャー	1,097	-	-	1,097	16.23
合 計	6,760	-	-	6,760	100.00

(単位：百万円、%)

	2023年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	5,063	-	-	5,063	81.74
連結子会社のエクスポージャー	1,130	-	-	1,130	18.25
合 計	6,194	-	-	6,194	100.00

### 期末残高のうち、次に掲げる区分ごとの内訳

#### ● 地域別

(単位：百万円、%)

	2022年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	5,663	-	-	5,663	83.76
国内	5,663	-	-	5,663	83.76
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,097	-	-	1,097	16.23
合 計	6,760	-	-	6,760	100.00

(単位：百万円、%)

	2023年3月末				
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	5,063	-	-	5,063	81.74
国内	5,063	-	-	5,063	81.74
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,130	-	-	1,130	18.25
合 計	6,194	-	-	6,194	100.00

※「国内」とは、当行の国内店です。「海外」とは、当行の海外店です。

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定量的な開示事項

● 業種別

(単位：百万円、%)

	2022年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	5,663	-	-	5,663	83.76
製造業	1,114	-	-	1,114	16.47
農業、林業	-	-	-	-	-
漁業	-	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-
建設業	297	-	-	297	4.40
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-
情報通信業	6	-	-	6	0.09
運輸業、郵便業	27	-	-	27	0.40
卸売業、小売業	1,552	-	-	1,552	22.97
金融業、保険業	-	-	-	-	-
不動産業、物品賃貸業	1,596	-	-	1,596	23.61
医療、福祉その他サービス業	1,064	-	-	1,064	15.74
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	3	-	-	3	0.05
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,097	-	-	1,097	16.23
合 計	6,760	-	-	6,760	100.00

(単位：百万円、%)

	2023年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	5,063	-	-	5,063	81.74
製造業	1,156	-	-	1,156	18.66
農業、林業	-	-	-	-	-
漁業	-	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	105	-	-	105	1.70
建設業	781	-	-	781	12.60
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-
情報通信業	40	-	-	40	0.65
運輸業、郵便業	171	-	-	171	2.76
卸売業、小売業	860	-	-	860	13.89
金融業、保険業	-	-	-	-	-
不動産業、物品賃貸業	287	-	-	287	4.64
医療、福祉その他サービス業	1,659	-	-	1,659	26.78
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	0	-	-	0	0.00
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,130	-	-	1,130	18.25
合 計	6,194	-	-	6,194	100.00



## 延滞期間別のエクスポージャーの期末残高

(単位：百万円、%)

	2022年3月末									
	1ヵ月未満		1ヵ月以上2ヵ月未満		2ヵ月以上3ヵ月未満		3ヵ月以上		計	
	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比
当行のエクスポージャー	29,348	74.39	6,395	16.21	1,691	4.28	912	2.31	38,348	97.21
連結子会社のエクスポージャー	385	0.97	13	0.03	91	0.23	608	1.54	1,099	2.78
合 計	29,734	75.37	6,408	16.24	1,783	4.52	1,521	3.85	39,448	100.00

(単位：百万円、%)

	2023年3月末									
	1ヵ月未満		1ヵ月以上2ヵ月未満		2ヵ月以上3ヵ月未満		3ヵ月以上		計	
	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比
当行のエクスポージャー	22,491	74.70	4,986	16.56	1,512	5.02	191	0.63	29,182	96.92
連結子会社のエクスポージャー	181	0.60	61	0.20	99	0.32	583	1.93	924	3.07
合 計	22,672	75.30	5,047	16.76	1,611	5.35	774	2.57	30,107	100.00

\*危険債権以下に該当するものを除く。

経営再建又は支援を図ることを目的として貸出条件の緩和を実施した債権に係る債務者のエクスポージャーの期末残高のうち、貸出条件の緩和を実施したことに伴い、当該エクスポージャーに係る引当金の額を増加させたものの額及びそれ以外のものの額

(単位：百万円、%)

	2022年3月末	
	期末残高	構成比
経営再建又は支援を図ることを目的として貸出条件の緩和を実施した債権	230,049	100.00
引当金の額を増加させたもの	46,988	20.42
それ以外のもの	183,060	79.57

(単位：百万円、%)

	2023年3月末	
	期末残高	構成比
経営再建又は支援を図ることを目的として貸出条件の緩和を実施した債権	222,897	100.00
引当金の額を増加させたもの	50,115	22.48
それ以外のもの	172,781	77.51

\*破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権又は三月以上延滞債権に該当するものを除く。

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの額

(単位：百万円)

	2022年3月末	2023年3月末
ルック・スルー方式	544,095	531,654
マンドート方式	6,067	5,563
蓋然性方式（リスク・ウェイト=250%）	-	-
蓋然性方式（リスク・ウェイト=400%）	-	-
フォールバック方式（リスク・ウェイト=1250%）	107	219
合 計	550,271	537,437

※1.「ルック・スルー方式」とは、自己資本比率告示第167条第2項に掲げる方式で、当該エクスポージャーの裏付けとなる個々の資産の信用リスク・アセットを算出し足し上げるものです。

※2.「マンドート方式」とは、自己資本比率告示第167条第7項に掲げる方式で、当該エクスポージャーの運用基準（マンドート）に基づき、当該エクスポージャーの資産構成を保守的に仮定し、個々の資産の信用リスク・アセットを算出し足し上げるものです。

※3.「蓋然性方式（リスク・ウェイト=250%）」とは、自己資本比率告示第167条第10項第1号に掲げる方式、「蓋然性方式（リスク・ウェイト=400%）」とは自己資本比率告示第167条第10項第2号に掲げる方式で、上記2つの方式が適用できない場合、当該エクスポージャーのリスク・ウェイトについて250%または400%である蓋然性が高いことを疎明したとき、各リスク・ウェイトを用いて信用リスク・アセットを算出し足し上げるものです。

※4.「フォールバック方式（リスク・ウェイト=1250%）」とは、自己資本比率告示第167条第11項に掲げる方式で、上記3つの方式がいずれも適用できない場合、当該エクスポージャーに1250%のリスク・ウェイトを用いて信用リスク・アセットを算出し足し上げるものです。

## 開示告示別紙様式第二号に基づく開示事項

### 第一面 OV1：リスク・アセットの概要

(単位：百万円)

#### OV1：リスク・アセットの概要

国際様式の 該当番号		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセット		所要自己資本	
		2023年3月末	2022年3月末	2023年3月末	2022年3月末
1	信用リスク	5,233,203	5,048,019	442,825	427,142
2	うち、標準的手法適用分	70,820	66,275	5,665	5,302
3	うち、内部格付手法適用分	5,035,332	4,854,350	426,996	411,648
	うち、重要な出資のエクスポージャー	-	-	-	-
	うち、リース取引における見積残存価額のエクスポージャー	9,133	8,239	730	659
	その他	117,916	119,153	9,433	9,532
4	カウンターパーティ信用リスク	139,279	132,646	11,317	10,787
5	うち、SA-CCR 適用分	35,467	35,678	3,007	3,025
6	うち、期待エクスポージャー方式適用分	-	-	-	-
	うち、CVAリスク	101,498	95,435	8,119	7,634
	うち、中央清算機関関連エクスポージャー	1,213	594	97	47
	その他	1,099	937	93	79
7	マーケット・ベース方式に基づく株式等エクスポージャー	265,943	265,272	22,552	22,495
8	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（ルック・スルー方式）	955,910	970,753	80,950	82,238
9	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（マンドート方式）	69,539	75,849	5,563	6,067
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式250%）	-	-	-	-
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式400%）	-	-	-	-
10	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（フォールバック方式1250%）	2,744	1,344	219	107
11	未決済取引	-	-	-	-
12	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	-	-	-	-
13	うち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分	-	-	-	-
14	うち、外部格付準拠方式適用分	-	-	-	-
15	うち、標準的手法準拠方式適用分	-	-	-	-
	うち、1250%のリスク・ウェイト適用分	-	-	-	-
16	マーケット・リスク	132,063	137,827	10,565	11,026
17	うち、標準的方式適用分	132,063	137,827	10,565	11,026
18	うち、内部モデル方式適用分	-	-	-	-
19	オペレーショナル・リスク	323,603	309,577	25,888	24,766
20	うち、基礎的手法適用分	-	-	-	-
21	うち、粗利益配分手法適用分	323,603	309,577	25,888	24,766
22	うち、先進的計測手法適用分	-	-	-	-
23	特定項目のうち、調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	38,171	33,073	3,236	2,804
	経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	-	-	-	-
24	フロア調整	1,159,683	1,112,958	92,774	89,036
25	合計	8,320,144	8,087,322	695,894	676,472

※1.「国際様式の該当番号」とは、パーゼル銀行監督委員会より2015年1月に公表された「開示要件（第3の柱）の改訂に係る最終規則文書」における開示様式に記載された項目番号です。

※2.内部格付手法が適用される資産については、リスク・アセットの額はスケールリング・ファクター（1.06）を乗じる前の額を記載し、所要自己資本の額はスケールリング・ファクター（1.06）を乗じて得たリスク・アセットの額に8%を乗じて得た額を記載しています。

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定量的な開示事項

第二面 LI1：会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲との間の差異及び連結貸借対照表の区分と自己資本比率規制上のリスク・カテゴリーとの対応関係

2022年3月末

(単位：百万円)

LI1:会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲との間の差異及び連結貸借対照表の区分と自己資本比率規制上のリスク・カテゴリーとの対応関係

	イ及びロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
	連結貸借対照表計上額及び自己資本比率規制上の連結範囲に基づく連結貸借対照表計上額	各項目に対応する帳簿価額				
		信用リスク (二欄及びホ欄に該当する額を除く。)	カウンターパーティー信用リスク	証券化エクスポージャー (ハ欄に該当する額を除く。)	マーケット・リスク	所要自己資本算定対象外の項目又は規制資本からの調整項目
<b>資産</b>						
現金預け金	4,201,429	4,201,429	-	-	-	-
コールローン及び買入手形	152,070	152,070	-	-	-	-
買現先勘定	14,999	-	14,999	-	-	-
買入金銭債権	21,404	21,404	-	-	-	-
特定取引資産	138,757	-	13,487	-	138,757	-
金銭の信託	9,879	9,879	-	-	-	-
有価証券	2,482,224	2,482,131	283,394	-	-	92
貸出金	11,646,721	11,645,969	-	-	-	751
外国為替	5,970	5,970	-	-	5,970	-
その他資産	279,891	117,045	85,321	-	-	79,524
有形固定資産	125,937	125,937	-	-	-	-
無形固定資産	14,450	-	-	-	-	14,450
退職給付に係る資産	16,576	-	-	-	-	16,576
繰延税金資産	3,924	-	-	-	-	3,924
支払承諾見返	25,771	25,771	-	-	-	-
貸倒引当金	△35,246	△35,246	-	-	-	-
資産合計	19,104,764	18,752,364	397,203	-	144,728	115,321
<b>負債</b>						
預金	14,771,202	80,086	-	-	-	14,691,116
譲渡性預金	552,959	-	-	-	-	552,959
コールマネー及び売渡手形	681,777	-	-	-	-	681,777
売現先勘定	13,945	-	-	-	-	13,945
債券貸借取引受入担保金	262,547	-	-	-	-	262,547
特定取引負債	10,448	-	10,448	-	10,448	-
借入金	1,336,732	-	-	-	-	1,336,732
外国為替	576	-	-	-	576	-
社債	103,331	-	-	-	-	103,331
信託勘定借	8,883	-	-	-	-	8,883
その他負債	233,541	-	80,169	-	-	153,371
退職給付に係る負債	732	-	-	-	-	732
役員退職慰労引当金	152	-	-	-	-	152
睡眠預金払戻損失引当金	1,296	-	-	-	-	1,296
ポイント引当金	746	-	-	-	-	746
特別法上の引当金	24	-	-	-	-	24
繰延税金負債	30,595	-	-	-	-	30,595
再評価に係る繰延税金負債	10,407	-	-	-	-	10,407
支払承諾	25,771	-	-	-	-	25,771
負債合計	18,045,673	80,086	90,617	-	11,024	17,874,392

※1.会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲が同一であるため、イ欄とロ欄を統合しています。

※2.複数のリスク・カテゴリーにおいて、資本賦課の対象となる項目については、ハートの合計とイが一致しない場合があります。

2023年3月末

(単位：百万円)

I1:会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲との間の差異及び連結貸借対照表の区分と自己資本比率規制上のリスク・カテゴリとの対応関係

	イ及びロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
	連結貸借対照表計上額及び自己資本比率規制上の連結範囲に基づく連結貸借対照表計上額	各項目に対応する帳簿価額				
		信用リスク (二欄及びホ欄に該当する額を除く。)	カウンターパーティ信用リスク	証券化エクスポージャー (ハ欄に該当する額を除く。)	マーケット・リスク	所要自己資本算定対象外の項目又は規制資本からの調整項目
<b>資産</b>						
現金預け金	4,065,850	4,065,850	-	-	-	-
コールローン及び買入手形	335,089	335,089	-	-	-	-
買現先勘定	17,999	-	17,999	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	5,446	-	5,446	-	-	-
買入金銭債権	22,612	22,612	-	-	-	-
特定取引資産	162,444	-	16,159	-	162,444	-
金銭の信託	9,279	9,279	-	-	-	-
有価証券	2,576,106	2,575,998	362,640	-	-	107
貸出金	12,107,066	12,106,703	-	-	-	363
外国為替	5,375	5,375	-	-	5,375	-
その他資産	320,687	127,759	130,055	-	-	64,872
有形固定資産	124,473	124,473	-	-	-	-
無形固定資産	14,222	-	-	-	-	14,222
退職給付に係る資産	18,578	-	-	-	-	18,578
繰延税金資産	3,088	-	-	-	-	3,088
支払承諾見返	31,822	31,822	-	-	-	-
貸倒引当金	△32,260	△32,260	-	-	-	-
資産合計	19,787,882	19,372,703	532,301	-	167,819	101,233
<b>負債</b>						
預金	15,408,192	83,188	-	-	-	15,325,003
譲渡性預金	495,748	-	-	-	-	495,748
コールマネー及び売渡手形	810,859	-	-	-	-	810,859
売現先勘定	17,160	-	-	-	-	17,160
債券貸借取引受入担保金	337,074	-	-	-	-	337,074
特定取引負債	18,618	-	13,190	-	18,618	-
借入金	1,206,808	-	-	-	-	1,206,808
外国為替	724	-	-	-	724	-
社債	110,038	-	-	-	-	110,038
信託勘定借	13,439	-	-	-	-	13,439
その他負債	237,725	-	116,216	-	-	121,509
退職給付に係る負債	4,476	-	-	-	-	4,476
役員退職慰労引当金	160	-	-	-	-	160
睡眠預金払戻損失引当金	910	-	-	-	-	910
ポイント引当金	838	-	-	-	-	838
特別法上の引当金	24	-	-	-	-	24
繰延税金負債	21,742	-	-	-	-	21,742
再評価に係る繰延税金負債	10,402	-	-	-	-	10,402
支払承諾	31,822	-	-	-	-	31,822
負債合計	18,726,767	83,188	129,406	-	19,342	18,508,019

※1.会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲が同一であるため、イ欄とロ欄を統合しています。

※2.複数のリスク・カテゴリにおいて、資本賦課の対象となる項目については、ハートの合計とイが一致しない場合があります。

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

第三面 LI2：自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異の主な要因

2022年3月末

(単位：百万円)

LI2：自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異の主な要因

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		合計	対応する項目			
			信用リスク (ハ欄及び ニ欄に該当 する額を除 く。)	カウンター パーティ信 用リスク	証券化エク スポージャー (ホ欄に該 当する額を 除く。)	マ ー ケ ッ ト・リス ク
1	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産の額	18,989,443	18,752,364	397,203	-	144,728
2	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく負債の額	171,280	80,086	90,617	-	11,024
3	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産及び負債の純額	18,818,162	18,672,278	21,190	-	133,703
4	オフ・バランスシートの額	1,669,780	1,384,385	285,394	-	-
5	引当て及び償却を勘案することによる差異	65,807	65,807	-	-	-
6	デリバティブ取引による差異	115,545	-	115,545	-	-
7	複数のリスク・カテゴリーに計上されることによる差異	-	-	-	-	-
8	その他 (為替換算差額等)	3	3	-	-	-
9	自己資本比率規制上のエクスポージャーの額	20,669,298	20,122,474	422,130	-	133,703

2023年3月末

(単位：百万円)

LI2：自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異の主な要因

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		合計	対応する項目			
			信用リスク (ハ欄及び ニ欄に該当 する額を除 く。)	カウンター パーティ信 用リスク	証券化エク スポージャー (ホ欄に該 当する額を 除く。)	マ ー ケ ッ ト・リス ク
1	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産の額	19,686,649	19,372,703	532,301	-	167,819
2	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく負債の額	218,747	83,188	129,406	-	19,342
3	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産及び負債の純額	19,467,901	19,289,514	38,254	-	148,476
4	オフ・バランスシートの額	1,711,889	1,347,249	364,640	-	-
5	引当て及び償却を勘案することによる差異	59,060	59,060	-	-	-
6	デリバティブ取引による差異	141,698	-	141,698	-	-
7	複数のリスク・カテゴリーに計上されることによる差異	-	-	-	-	-
8	その他 (為替換算差額等)	4	4	-	-	-
9	自己資本比率規制上のエクスポージャーの額	21,380,553	20,695,828	544,592	-	148,476

※複数のリスク・カテゴリーに計上される項目について、ロ～ホの合計とイが一致しない場合があります。



第四面 CR1：資産の信用の質

2022年3月末

(単位：百万円)

CR1：資産の信用の質

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		帳簿価額の総額		引当金	ネット金額 (イ+ロ-ハ)
		デフォルトした エクスポージャー	非デフォルト エクスポージャー		
	オン・バランスシートの資産				
1	貸出金	151,067	11,607,126	34,445	11,723,748
2	有価証券（うち負債性のもの）	78	1,599,681	-	1,599,759
3	その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）	26	4,291,219	6	4,291,239
4	オン・バランスシートの資産の合計（1+2+3）	151,171	17,498,027	34,452	17,614,747
	オフ・バランスシートの資産				
5	支払承諾等	830	50,461	289	51,001
6	コミットメント等	500	402,954	-	403,454
7	オフ・バランスシートの資産の合計（5+6）	1,330	453,416	289	454,456
	合計				
8	合計（4+7）	152,502	17,951,443	34,741	18,069,204

2023年3月末

(単位：百万円)

CR1：資産の信用の質

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		帳簿価額の総額		引当金	ネット金額 (イ+ロ-ハ)
		デフォルトした エクスポージャー	非デフォルト エクスポージャー		
	オン・バランスシートの資産				
1	貸出金	149,289	12,070,241	31,390	12,188,141
2	有価証券（うち負債性のもの）	55	1,703,444	-	1,703,499
3	その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）	30	4,329,293	4	4,329,318
4	オン・バランスシートの資産の合計（1+2+3）	149,375	18,102,979	31,394	18,220,959
	オフ・バランスシートの資産				
5	支払承諾等	920	52,262	303	52,879
6	コミットメント等	500	429,003	-	429,503
7	オフ・バランスシートの資産の合計（5+6）	1,420	481,266	303	482,383
	合計				
8	合計（4+7）	150,796	18,584,245	31,698	18,703,343

※1.当行におけるデフォルト事由の判定は、信用供与先などの債務者格付が要管理先以下に下方遷移することです。

※2.「その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）」には、預け金、コールローン、外国為替等が含まれます。

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

第五面 CR2：デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動

2022年3月末

(単位：百万円)

CR2:デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動

項番		額
1	前期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高	160,713
2		デフォルトした額
3		32,713
4	貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の当期中の要因別の変動額	非デフォルト状態へ復帰した額
5		償却された額
6		その他の変動額
7		11,286
8		7,636
9		△23,333
10	当期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高（1+2-3-4+5）	151,171

2023年3月末

(単位：百万円)

CR2:デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動

項番		額
1	前期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高	151,171
2		デフォルトした額
3		40,383
4	貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の当期中の要因別の変動額	非デフォルト状態へ復帰した額
5		償却された額
6		その他の変動額
7		10,517
8		6,328
9		△25,333
10	当期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高（1+2-3-4+5）	149,375

※「その他の変動額」の主な発生要因は、回収による残高減少及び売却による残高減少です。

第六面 CR3：信用リスク削減手法

2022年3月末

(単位：百万円)

CR3:信用リスク削減手法

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		非保全 エクスポ ージャー	保全された エクスポ ージャー	担保で保全 された エクスポ ージャー	保証で保全 された エクスポ ージャー	クレジット・ デリバティブで 保全された エクスポ ージャー
1	貸出金	9,412,072	2,311,676	1,817,711	493,964	-
2	有価証券（負債性のもの）	1,572,706	27,053	-	27,053	-
3	その他オン・バランスシートの資産（負債性のもの）	4,291,202	36	36	-	-
4	合計（1+2+3）	15,275,981	2,338,766	1,817,747	521,018	-
5	うちデフォルトしたもの	98,829	34,404	19,389	15,015	-

2023年3月末

(単位：百万円)

CR3:信用リスク削減手法

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		非保全 エクスポ ージャー	保全された エクスポ ージャー	担保で保全 された エクスポ ージャー	保証で保全 された エクスポ ージャー	クレジット・ デリバティブで 保全された エクスポ ージャー
1	貸出金	9,871,683	2,316,458	1,860,896	455,561	-
2	有価証券（負債性のもの）	1,660,911	42,588	-	42,588	-
3	その他オン・バランスシートの資産（負債性のもの）	4,329,275	42	42	-	-
4	合計（1+2+3）	15,861,870	2,359,089	1,860,939	498,149	-
5	うちデフォルトしたもの	97,063	34,925	19,163	15,761	-

※「その他オン・バランスシートの資産（負債性のもの）」には、預け金、コールローン、外国為替等が含まれます。

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

第七面 CR4：標準的手法-信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果

2022年3月末

(単位：百万円、%)

CR4:標準的手法-信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果

項番	資産クラス	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		CCF・信用リスク削減手法適用前のエクスポージャー		CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー		信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値 (RWA density)
		オン・バランスシートの額	オフ・バランスシートの額	オン・バランスシートの額	オフ・バランスシートの額		
1	現金	0	-	0	-	-	-
2	日本国政府及び日本銀行向け	1,640	-	1,640	-	-	-
3	外国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-	-	-
4	国際決済銀行等向け	-	-	-	-	-	-
5	我が国の地方公共団体向け	-	-	-	-	-	-
6	外国の中央政府等以外の公共部門向け	-	-	-	-	-	-
7	国際開発銀行向け	-	-	-	-	-	-
8	地方公共団体金融機構向け	-	-	-	-	-	-
9	我が国の政府関係機関向け	-	-	-	-	-	-
10	地方三公社向け	-	-	-	-	-	-
11	金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	1,971	-	1,971	-	394	20.00
12	法人等向け	55,086	33,691	55,086	373	55,460	100.00
13	中小企業等向け及び個人向け	13,557	-	13,557	-	10,168	75.00
14	抵当権付住宅ローン	-	-	-	-	-	-
15	不動産取得等事業向け	-	-	-	-	-	-
16	三月以上延滞等 (抵当権付住宅ローンを除く。)	200	-	200	-	253	126.36
17	抵当権付住宅ローンに係る三月以上延滞	-	-	-	-	-	-
18	取立未済手形	-	-	-	-	-	-
19	信用保証協会等による保証付	-	-	-	-	-	-
20	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-	-	-
21	出資等 (重要な出資を除く。)	-	-	-	-	-	-
22	合計	72,457	33,691	72,457	373	66,275	90.99

2023年3月末

(単位：百万円、%)

CR4:標準的手法-信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果

項番	資産クラス	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		CCF・信用リスク削減手法適用前のエクスポージャー		CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー		信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値 (RWA density)
		オン・バランスシートの額	オフ・バランスシートの額	オン・バランスシートの額	オフ・バランスシートの額		
1	現金	0	-	0	-	-	-
2	日本国政府及び日本銀行向け	2,644	-	2,644	-	-	-
3	外国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-	-	-
4	国際決済銀行等向け	-	-	-	-	-	-
5	我が国の地方公共団体向け	-	-	-	-	-	-
6	外国の中央政府等以外の公共部門向け	-	-	-	-	-	-
7	国際開発銀行向け	-	-	-	-	-	-
8	地方公共団体金融機構向け	-	-	-	-	-	-
9	我が国の政府関係機関向け	-	-	-	-	-	-
10	地方三公社向け	-	-	-	-	-	-
11	金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	1,622	-	1,622	-	324	20.00
12	法人等向け	59,253	32,123	59,253	343	59,596	100.00
13	中小企業等向け及び個人向け	14,143	-	14,143	-	10,607	75.00
14	抵当権付住宅ローン	-	-	-	-	-	-
15	不動産取得等事業向け	-	-	-	-	-	-
16	三月以上延滞等 (抵当権付住宅ローンを除く。)	226	-	226	-	291	128.48
17	抵当権付住宅ローンに係る三月以上延滞	-	-	-	-	-	-
18	取立未済手形	-	-	-	-	-	-
19	信用保証協会等による保証付	-	-	-	-	-	-
20	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-	-	-
21	出資等 (重要な出資を除く。)	-	-	-	-	-	-
22	合計	77,891	32,123	77,891	343	70,820	90.52

第八面 CR5：標準的手法 -資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー

2022年3月末

(単位：百万円)

CR5:標準的手法-資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー

項番	リスク・ウェイト 資産クラス	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル
		信用リスク・エクスポージャーの額 (CCF・信用リスク削減手法適用後)										
		0%	10%	20%	35%	50%	75%	100%	150%	250%	1250%	合計
1	現金	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
2	日本国政府及び日本銀行向け	1,640	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,640
3	外国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	国際決済銀行等向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	我が国の地方公共団体向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	外国の中央政府等以外の公共部門向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	国際開発銀行向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	地方公共団体金融機構向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	我が国の政府関係機関向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	地方三公社向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	-	-	1,971	-	-	-	-	-	-	-	1,971
12	法人等向け	-	-	-	-	-	-	55,460	-	-	-	55,460
13	中小企業等向け及び個人向け	-	-	-	-	-	13,557	-	-	-	-	13,557
14	抵当権付住宅ローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	不動産取得等事業向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	三月以上延滞等 (抵当権付住宅ローンを除く。)	-	-	-	-	-	-	94	105	-	-	200
17	抵当権付住宅ローンに係る三月以上延滞	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	取立未済手形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	信用保証協会等による保証付	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	出資等 (重要な出資を除く。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	合計	1,641	-	1,971	-	-	13,557	55,554	105	-	-	72,830

2023年3月末

(単位：百万円)

CR5:標準的手法-資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー

項番	リスク・ウェイト 資産クラス	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル
		信用リスク・エクスポージャーの額 (CCF・信用リスク削減手法適用後)										
		0%	10%	20%	35%	50%	75%	100%	150%	250%	1250%	合計
1	現金	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
2	日本国政府及び日本銀行向け	2,644	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,644
3	外国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	国際決済銀行等向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	我が国の地方公共団体向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	外国の中央政府等以外の公共部門向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	国際開発銀行向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	地方公共団体金融機構向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	我が国の政府関係機関向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	地方三公社向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	-	-	1,622	-	-	-	-	-	-	-	1,622
12	法人等向け	-	-	-	-	-	-	59,596	-	-	-	59,596
13	中小企業等向け及び個人向け	-	-	-	-	-	14,143	-	-	-	-	14,143
14	抵当権付住宅ローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	不動産取得等事業向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	三月以上延滞等 (抵当権付住宅ローンを除く。)	-	-	-	-	-	-	97	129	-	-	226
17	抵当権付住宅ローンに係る三月以上延滞	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	取立未済手形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	信用保証協会等による保証付	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	出資等 (重要な出資を除く。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	合計	2,644	-	1,622	-	-	14,143	59,694	129	-	-	78,234

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定量的な開示事項

第九面 CR6：内部格付手法-ポートフォリオ及びデフォルト率（PD）区分別の信用リスク・エクスポージャー

2022年3月末

(単位：百万円、%、千件、年)

CR6:内部格付手法-ポートフォリオ及びデフォルト率（PD）区分別の信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ラ
		オン・バランスシート・グロスエクスポージャーの額	CCF・信用リスク削減手法適用前のオフ・バランスシート・エクスポージャーの額	平均CCF	CCF・信用リスク削減手法適用後EAD	平均PD	債務者の数	平均LGD	平均残存期間	信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値(RWA density)	EL	適格引当金
ソブリン向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	5,725,058	453,699	13.48	6,214,042	0.00	0.1	44.75	1.2	204,037	3.28	79	
2	0.15以上0.25未満	2,439	-	-	2,439	0.22	0.0	45.00	1.5	896	36.76	2	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	531	3,622	100.00	3,622	1.05	0.0	45.00	5.0	4,555	125.75	17	
6	2.50以上10.00未満	22	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	-	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	5,728,051	457,322	14.16	6,220,104	0.00	0.1	44.75	1.2	209,489	3.36	99	1,528
金融機関等向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	322,797	33,834	90.49	350,929	0.04	0.0	46.04	1.2	57,132	16.28	77	
2	0.15以上0.25未満	4,313	1,223	75.00	4,313	0.22	0.0	45.00	1.6	2,212	51.29	4	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	100	-	-	-	0.0	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	2.50以上10.00未満	585	-	-	566	8.31	0.0	53.18	2.1	1,216	214.73	25	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	327,695	35,158	89.70	355,809	0.06	0.0	46.04	1.2	60,561	17.02	106	150
事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く。）													
1	0.00以上0.15未満	2,503,926	1,339,543	10.94	2,642,515	0.06	1.9	45.17	2.5	612,961	23.19	744	
2	0.15以上0.25未満	343,368	74,738	30.34	358,399	0.22	0.7	43.72	2.5	162,466	45.33	344	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	273,557	87,143	56.05	304,846	0.67	0.7	43.78	2.9	256,658	84.19	894	
5	0.75以上2.50未満	122,773	17,061	22.02	105,841	1.05	0.4	42.80	3.2	104,381	98.62	475	
6	2.50以上10.00未満	75,670	6,352	27.81	71,440	4.19	0.3	43.80	2.3	96,285	134.77	1,318	
7	10.00以上100.00未満	12,268	168	1.03	11,527	12.30	0.0	42.25	3.0	23,401	202.99	599	
8	100.00 (デフォルト)	23,969	2,392	34.07	24,640	100.00	0.0	43.45	1.8	-	-	10,707	
9	小計	3,355,533	1,527,399	14.69	3,519,212	0.98	4.4	44.78	2.6	1,256,155	35.69	15,084	12,746
中堅中小企業向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	671,818	80,977	19.18	624,045	0.12	3.3	40.78	3.4	191,199	30.63	305	
2	0.15以上0.25未満	1,245,844	41,835	53.23	1,180,773	0.22	8.7	39.55	4.3	530,385	44.91	1,027	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	564,447	40,166	82.21	537,863	0.67	3.2	40.56	4.0	383,356	71.27	1,461	
5	0.75以上2.50未満	476,101	13,258	60.41	446,696	1.05	2.9	39.53	4.5	373,175	83.54	1,854	
6	2.50以上10.00未満	600,737	8,948	18.04	491,411	4.02	4.7	39.57	4.1	530,075	107.86	7,854	
7	10.00以上100.00未満	63,247	192	13.39	31,180	12.30	0.5	43.89	2.2	50,138	160.80	1,683	
8	100.00 (デフォルト)	84,254	785	1.42	68,637	100.00	0.4	41.69	2.0	-	-	28,620	
9	小計	3,706,451	186,165	43.23	3,380,607	3.07	24.0	40.02	4.0	2,058,332	60.88	42,807	29,930
株式等エクスポージャー（PD/LGD方式が適用されるエクスポージャーに限る。）													
1	0.00以上0.15未満	257,569	-	-	257,569	0.04	0.1	90.00	5.0	276,626	107.39	20	
2	0.15以上0.25未満	1,764	-	-	1,764	0.22	0.0	90.00	5.0	2,584	146.44	3	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	1,361	-	-	1,361	0.67	0.0	90.00	5.0	5,133	376.94	8	
5	0.75以上2.50未満	285	-	-	285	1.05	0.0	90.00	5.0	1,111	388.67	2	
6	2.50以上10.00未満	851	-	-	851	3.15	0.0	90.00	5.0	3,646	428.07	24	
7	10.00以上100.00未満	20	-	-	20	12.30	0.0	90.00	5.0	122	610.19	2	
8	100.00 (デフォルト)	0	-	-	0	100.00	0.0	90.00	5.0	0	1,250.00	0	
9	小計	261,853	-	-	261,853	0.05	0.2	90.00	5.0	289,223	110.45	61	
購入債権（事業法人等向け）（デフォルト・リスク相当部分）													
1	0.00以上0.15未満	19,154	5,298	79.54	22,888	0.05	0.0	45.00	1.8	3,672	16.04	5	
2	0.15以上0.25未満	2,901	506	88.73	3,294	0.22	0.0	45.00	1.2	1,142	34.68	3	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	700	100.00	672	0.67	0.0	45.00	1.0	408	60.76	2	
5	0.75以上2.50未満	36	-	-	36	1.05	0.0	45.00	3.4	38	106.64	0	
6	2.50以上10.00未満	-	740	100.00	727	4.87	0.0	45.00	1.0	949	130.56	15	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	22,093	7,245	84.25	27,618	0.21	0.0	45.00	1.7	6,212	22.49	27	7



2022年3月末

(単位：百万円、%、千件、年)

CR6:内部格付手法-ポートフォリオ及びデフォルト率 (PD) 区分別の信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ラ
		オン・バランスシート・グロスエクスポージャーの額	CCF・信用リスク削減手法適用前のオフ・バランスシート・エクスポージャーの額	平均CCF	CCF・信用リスク削減手法適用後EAD	平均PD	債務者の数	平均LGD	平均残存期間	信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値(RWA density)	EL	適格引当金
購入債権 (事業法人等向け) (希薄化リスク相当部分)													
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	28,052	0.05	0.0	100.00	1.0	6,956	24.79	14	-
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	145	0.22	0.0	100.00	1.0	102	70.98	0	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	-	-	-	28,197	0.05	0.0	100.00	1.0	7,059	25.03	14	-
適格リボリング型リテール向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	0	139,971	39.05	50,508	0.12	150.4	73.78	-	2,610	5.16	44	-
2	0.15以上0.25未満	2	70,272	40.01	28,118	0.22	98.3	46.21	-	1,498	5.32	28	-
3	0.25以上0.50未満	8,980	207,311	20.29	51,047	0.36	363.0	65.43	-	5,636	11.04	117	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	9,128	8,313	39.44	12,144	1.14	33.8	73.95	-	3,815	31.41	103	-
6	2.50以上10.00未満	50,784	22,202	36.64	58,569	4.24	136.7	76.32	-	48,431	82.68	1,895	-
7	10.00以上100.00未満	709	338	34.75	826	26.79	2.7	76.35	-	1,633	197.62	170	-
8	100.00 (デフォルト)	966	3,099	39.74	2,194	100.00	15.7	65.82	-	823	37.50	1,378	-
9	小計	70,572	451,510	30.48	203,409	2.62	800.9	68.54	-	64,447	31.68	3,739	1,005
居住用不動産向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	845,502	321	100.00	833,280	0.10	60.2	29.06	-	61,842	7.42	266	-
2	0.15以上0.25未満	107,918	-	-	107,917	0.22	16.0	27.53	-	12,798	11.85	65	-
3	0.25以上0.50未満	2,757,051	1,429	100.00	2,758,438	0.35	154.9	29.69	-	501,232	18.17	2,917	-
4	0.50以上0.75未満	476	-	-	475	0.54	0.1	26.62	-	104	21.90	0	-
5	0.75以上2.50未満	-	39	100.00	39	2.18	0.0	17.66	-	14	36.37	0	-
6	2.50以上10.00未満	26,912	-	-	26,808	3.25	1.7	29.31	-	20,473	76.36	255	-
7	10.00以上100.00未満	10,613	4	100.00	10,616	24.25	0.8	29.26	-	17,496	164.81	756	-
8	100.00 (デフォルト)	28,670	10	100.00	28,676	100.00	2.4	36.02	-	11,371	39.65	9,420	-
9	小計	3,777,143	1,806	100.00	3,766,253	1.14	236.5	29.53	-	625,333	16.60	13,682	13,440
その他リテール向けエクスポージャー (消費性)													
1	0.00以上0.15未満	11,576	798,015	100.00	809,591	0.03	605.5	0.01	-	32	0.00	0	-
2	0.15以上0.25未満	-	2,055	100.00	2,055	0.16	1.8	83.60	-	596	29.03	2	-
3	0.25以上0.50未満	68,941	20,476	51.86	78,266	0.43	41.3	43.10	-	22,066	28.19	143	-
4	0.50以上0.75未満	55,200	39	51.86	55,216	0.51	36.6	44.66	-	17,933	32.47	125	-
5	0.75以上2.50未満	6,854	-	-	6,853	0.89	3.5	52.26	-	3,462	50.52	32	-
6	2.50以上10.00未満	7,962	321	51.86	8,111	3.20	8.2	50.72	-	5,662	69.80	122	-
7	10.00以上100.00未満	994	77	51.86	1,033	20.40	0.7	35.55	-	800	77.41	72	-
8	100.00 (デフォルト)	2,651	564	52.23	2,943	100.00	0.9	43.61	-	1,015	34.50	1,202	-
9	小計	154,180	821,549	98.74	964,073	0.45	698.8	7.21	-	51,570	5.34	1,702	595
その他リテール向けエクスポージャー (事業性)													
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	288,285	9,325	17.35	282,216	1.35	24.2	23.49	-	70,967	25.14	852	-
6	2.50以上10.00未満	24,167	325	12.60	23,963	7.26	2.0	18.43	-	6,771	28.25	301	-
7	10.00以上100.00未満	34	-	-	34	22.37	0.0	47.89	-	38	111.53	3	-
8	100.00 (デフォルト)	9,329	132	11.07	9,315	100.00	0.6	26.30	-	6,269	67.30	1,949	-
9	小計	321,817	9,784	17.11	315,530	4.71	26.9	23.19	-	84,047	26.63	3,106	2,728
合計 (全てのポートフォリオ)		17,725,393	3,497,941	38.87	19,015,052	1.08	1,792.3	39.62	-	4,712,432	24.78	80,431	62,133

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定量的な開示事項

2023年3月末

(単位：百万円、%、千件、年)

CR6:内部格付手法-ポートフォリオ及びデフォルト率 (PD) 区分別の信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ラ
		オン・バランスシート・グロスエクスポージャーの額	CCF・信用リスク削減手法適用前のオフ・バランスシート・エクスポージャーの額	平均CCF	CCF・信用リスク削減手法適用後EAD	平均PD	債務者の数	平均LGD	平均残存期間	信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値(RWA density)	EL	適格引当金
ソブリン向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	5,643,917	337,196	13.83	6,088,813	0.00	0.1	44.98	1.2	188,176	3.09	76	
2	0.15以上0.25未満	3,006	-	-	3,006	0.21	0.0	45.00	1.7	1,138	37.87	2	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	382	3,598	100.00	3,598	1.01	0.0	45.00	5.0	4,476	124.39	16	
6	2.50以上10.00未満	44	-	-	11	3.04	0.0	45.00	2.9	16	134.59	0	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	5,647,351	340,794	14.74	6,095,430	0.00	0.1	44.98	1.2	193,807	3.17	96	1,475
金融機関等向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	447,044	15,849	66.43	457,574	0.04	0.0	45.61	0.9	60,171	13.15	93	
2	0.15以上0.25未満	11,787	-	-	9,117	0.21	0.0	45.00	1.9	4,850	53.20	8	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	100	-	-	-	0.0	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	2.50以上10.00未満	557	-	-	520	8.11	0.0	54.13	2.2	1,132	217.71	22	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	459,390	15,949	66.01	467,212	0.05	0.1	45.61	0.9	66,154	14.15	124	124
事業法人向けエクスポージャー (中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く。)													
1	0.00以上0.15未満	2,779,046	1,383,589	12.18	2,936,180	0.06	2.1	45.16	2.5	676,625	23.04	817	
2	0.15以上0.25未満	356,624	68,956	26.20	365,728	0.21	0.7	43.65	2.6	164,222	44.90	335	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	328,357	96,184	56.25	363,379	0.65	0.8	43.65	2.9	299,359	82.38	1,031	
5	0.75以上2.50未満	109,565	15,885	37.29	95,634	1.01	0.4	42.92	3.3	94,152	98.45	414	
6	2.50以上10.00未満	76,744	4,484	29.37	71,718	3.91	0.2	43.67	2.5	96,009	133.87	1,229	
7	10.00以上100.00未満	8,222	144	-	7,625	12.07	0.0	44.13	3.1	15,944	209.10	406	
8	100.00 (デフォルト)	25,093	2,325	38.62	25,628	100.00	0.0	42.89	1.8	-	-	10,992	
9	小計	3,683,653	1,571,570	15.83	3,865,893	0.91	4.6	44.77	2.6	1,346,313	34.82	15,227	14,214
中堅中小企業向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	739,675	86,129	22.61	697,572	0.12	3.5	40.67	3.4	214,064	30.68	340	
2	0.15以上0.25未満	1,274,161	35,006	57.86	1,209,633	0.21	8.7	39.68	4.3	533,167	44.07	1,008	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	567,449	37,231	79.85	544,617	0.65	3.1	40.51	4.0	385,043	70.69	1,434	
5	0.75以上2.50未満	483,577	12,619	67.86	459,831	1.01	2.9	39.34	4.5	378,590	82.33	1,827	
6	2.50以上10.00未満	562,819	9,642	19.28	470,622	3.85	4.5	39.55	4.1	502,675	106.81	7,204	
7	10.00以上100.00未満	67,588	383	4.60	32,823	12.07	0.5	43.47	2.1	51,527	156.98	1,722	
8	100.00 (デフォルト)	82,534	752	-	66,268	100.00	0.4	41.99	2.0	-	-	27,829	
9	小計	3,777,806	181,765	43.96	3,481,369	2.87	24.0	40.03	4.0	2,065,068	59.31	41,366	24,898
株式等エクスポージャー (PD/LGD方式が適用されるエクスポージャーに限る。)													
1	0.00以上0.15未満	263,897	-	-	263,897	0.04	0.1	90.00	5.0	306,573	116.17	21	
2	0.15以上0.25未満	606	-	-	606	0.21	0.0	90.00	5.0	929	153.35	1	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	1,321	-	-	1,321	0.65	0.0	90.00	5.0	5,200	393.40	7	
5	0.75以上2.50未満	277	-	-	277	1.01	0.0	90.00	5.0	1,062	383.04	2	
6	2.50以上10.00未満	667	-	-	667	3.04	0.0	90.00	5.0	2,853	427.61	18	
7	10.00以上100.00未満	20	-	-	20	12.07	0.0	90.00	5.0	121	605.62	2	
8	100.00 (デフォルト)	0	-	-	0	100.00	0.0	90.00	5.0	0	1,250.00	0	
9	小計	266,790	-	-	266,790	0.05	0.2	90.00	5.0	316,739	118.72	53	
購入債権 (事業法人等向け) (デフォルト・リスク相当部分)													
1	0.00以上0.15未満	13,447	6,860	100.00	19,828	0.05	0.0	45.00	1.7	3,049	15.38	4	
2	0.15以上0.25未満	1,508	1,890	74.99	2,876	0.21	0.0	45.00	3.0	1,436	49.96	2	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	26	2,500	100.00	2,428	0.65	0.0	45.00	1.0	1,458	60.04	7	
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	2.50以上10.00未満	-	476	100.00	468	4.72	0.0	45.00	1.0	604	129.02	9	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00 (デフォルト)	62	-	-	62	100.00	0.0	45.00	2.9	-	-	27	
9	小計	15,046	11,727	95.97	25,663	0.44	0.0	45.00	1.8	6,549	25.52	52	18

2023年3月末

(単位：百万円、%、千件、年)

CR6:内部格付手法-ポートフォリオ及びデフォルト率 (PD) 区分別の信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ
		オン・バランスシート・グロスエクスポージャーの額	CCF・信用リスク削減手法適用前のオフ・バランスシート・エクスポージャーの額	平均CCF	CCF・信用リスク削減手法適用後EAD	平均PD	債務者の数	平均LGD	平均残存期間	信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値(RWA density)	EL	適格引当金
購入債権 (事業法人等向け) (希薄化リスク相当部分)													
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	26,001	0.06	0.0	100.00	1.0	7,551	29.04	16	
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	300	0.21	0.0	100.00	1.0	206	68.88	0	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	-	-	-	26,301	0.06	0.0	100.00	1.0	7,758	29.49	17	-
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	1	143,673	39.49	52,744	0.13	154.3	73.82	-	2,914	5.52	50	
2	0.15以上0.25未満	2	69,606	38.36	26,703	0.22	96.8	45.12	-	1,389	5.20	26	
3	0.25以上0.50未満	9,409	205,253	19.57	49,581	0.36	367.5	65.17	-	5,413	10.91	113	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	8,403	7,629	39.72	11,190	1.13	30.7	73.93	-	3,499	31.27	94	
6	2.50以上10.00未満	55,158	22,934	37.33	63,371	4.23	143.4	76.22	-	52,283	82.50	2,046	
7	10.00以上100.00未満	937	372	35.38	1,069	25.72	3.4	76.04	-	2,132	199.45	210	
8	100.00 (デフォルト)	970	3,237	38.40	2,210	100.00	16.4	65.12	-	799	36.18	1,375	
9	小計	74,882	452,707	30.17	206,871	2.70	812.9	68.70	-	68,433	33.08	3,917	953
居住用不動産向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	820,105	504	100.00	808,252	0.10	58.6	28.68	-	59,204	7.32	254	
2	0.15以上0.25未満	102,851	-	-	102,850	0.21	15.2	27.29	-	11,680	11.35	58	
3	0.25以上0.50未満	2,872,450	1,432	100.00	2,873,840	0.34	160.5	29.38	-	508,929	17.70	2,943	
4	0.50以上0.75未満	579	-	-	579	0.52	0.1	26.52	-	123	21.25	0	
5	0.75以上2.50未満	-	35	100.00	35	2.09	0.0	18.80	-	13	37.74	0	
6	2.50以上10.00未満	27,085	-	-	27,024	3.04	1.8	28.81	-	19,526	72.25	236	
7	10.00以上100.00未満	11,521	-	-	11,516	23.22	0.8	28.45	-	18,343	159.27	763	
8	100.00 (デフォルト)	27,471	5	100.00	27,466	100.00	2.3	35.26	-	11,188	40.73	8,790	
9	小計	3,862,066	1,978	100.00	3,851,565	1.09	239.6	29.21	-	629,007	16.33	13,049	11,895
その他リテール向けエクスポージャー (消費性)													
1	0.00以上0.15未満	11,195	767,777	100.00	778,972	0.03	552.9	0.01	-	22	0.00	0	
2	0.15以上0.25未満	-	2,046	100.00	2,046	0.16	1.8	83.60	-	594	29.03	2	
3	0.25以上0.50未満	68,332	23,415	52.13	79,291	0.42	42.9	44.89	-	23,234	29.30	151	
4	0.50以上0.75未満	59,518	17	52.13	59,523	0.50	38.4	48.19	-	20,629	34.65	143	
5	0.75以上2.50未満	13,243	-	-	13,241	1.54	11.3	56.56	-	8,492	64.13	119	
6	2.50以上10.00未満	1,840	257	52.13	1,964	4.94	0.3	30.98	-	901	45.89	31	
7	10.00以上100.00未満	964	50	52.13	990	19.91	0.8	36.34	-	783	79.10	71	
8	100.00 (デフォルト)	2,473	529	52.80	2,749	100.00	0.8	43.55	-	931	33.87	1,122	
9	小計	157,568	794,094	98.53	938,779	0.43	649.6	8.06	-	55,589	5.92	1,642	579
その他リテール向けエクスポージャー (事業性)													
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	285,713	9,448	17.10	279,575	1.29	24.9	24.00	-	71,111	25.43	832	
6	2.50以上10.00未満	23,769	265	10.99	23,569	7.09	2.0	17.98	-	6,453	27.38	278	
7	10.00以上100.00未満	32	-	-	32	21.90	0.0	49.02	-	36	113.24	3	
8	100.00 (デフォルト)	9,511	124	10.99	9,462	100.00	0.6	25.99	-	6,121	64.69	1,970	
9	小計	319,026	9,838	16.86	312,638	4.71	27.6	23.61	-	83,723	26.77	3,084	2,684
合計 (全てのポートフォリオ)		18,263,582	3,380,426	39.15	19,512,852	1.03	1,759.1	39.78	-	4,839,143	24.79	78,632	56,843

※1.平均残存期間はリスク・アセットの計算において、マチュリティ (期間) が用いられるエクスポージャー区分のみ記載しています。  
 ※2.ヘ欄について、PD推計に債権の数を用いている適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー、居住用不動産向けエクスポージャー、その他リテール向けエクスポージャー (消費性) は債権数を記載しており、それ以外のエクスポージャー区分は債務者数を記載しています。  
 ※3.その他リテール向けエクスポージャー (消費性) のオフ・バランスシート・エクスポージャー及びEADには総合口座貸越の空き枠を含めています。  
 ※4.リース取引は債務者に対応するエクスポージャー区分に含めています。  
 ※5.購入債権 (事業法人等向け) (希薄化リスク相当部分) のポートフォリオについては、行の名称を下記の通り読み替えるものとします。  
 「PD区分」⇒「EL dilution 区分」  
 二欄「CCF・信用リスク削減手法適用後EAD」⇒「CCF・信用リスク削減手法適用後のEAD dilution」  
 三欄「平均PD」⇒「平均EL dilution」  
 四欄「信用リスク・アセットの額」⇒「希薄化リスク相当部分の信用リスク・アセットの額」  
 ※6.特定貸付債権については、すべて「スロッシング・クライテリア方式」を適用しているため、記載していません。また、購入債権 (リテール向け) は該当ありません。

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

第十面 CR7：内部格付手法-信用リスク削減手法として用いられるクレジット・デリバティブが信用リスク・アセットの額に与える影響

2022年3月末

(単位：百万円)

CR7:内部格付手法-信用リスク削減手法として用いられるクレジット・デリバティブが信用リスク・アセットの額に与える影響

項番	ポートフォリオ	イ	ロ
		クレジット・デリバティブ勘案前の信用リスク・アセットの額	実際の信用リスク・アセットの額
1	ソブリン向けエクスポージャー-FIRB	-	209,489
2	ソブリン向けエクスポージャー-AIRB	-	-
3	金融機関等向けエクスポージャー-FIRB	-	60,561
4	金融機関等向けエクスポージャー-AIRB	-	-
5	事業法人向けエクスポージャー（特定貸付債権を除く。）-FIRB	-	3,314,487
6	事業法人向けエクスポージャー（特定貸付債権を除く。）-AIRB	-	-
7	特定貸付債権-FIRB	-	141,917
8	特定貸付債権-AIRB	-	-
9	リテール-適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	-	64,447
10	リテール-居住用不動産向けエクスポージャー	-	625,333
11	リテール-その他リテール向けエクスポージャー	-	135,617
12	株式-FIRB	-	554,495
13	株式-AIRB	-	-
14	購入債権-FIRB	-	13,271
15	購入債権-AIRB	-	-
16	合計	-	5,119,622

2023年3月末

(単位：百万円)

CR7:内部格付手法-信用リスク削減手法として用いられるクレジット・デリバティブが信用リスク・アセットの額に与える影響

項番	ポートフォリオ	イ	ロ
		クレジット・デリバティブ勘案前の信用リスク・アセットの額	実際の信用リスク・アセットの額
1	ソブリン向けエクスポージャー-FIRB	-	193,807
2	ソブリン向けエクスポージャー-AIRB	-	-
3	金融機関等向けエクスポージャー-FIRB	-	66,154
4	金融機関等向けエクスポージャー-AIRB	-	-
5	事業法人向けエクスポージャー（特定貸付債権を除く。）-FIRB	-	3,411,381
6	事業法人向けエクスポージャー（特定貸付債権を除く。）-AIRB	-	-
7	特定貸付債権-FIRB	-	196,188
8	特定貸付債権-AIRB	-	-
9	リテール-適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	-	68,433
10	リテール-居住用不動産向けエクスポージャー	-	629,007
11	リテール-その他リテール向けエクスポージャー	-	139,312
12	株式-FIRB	-	582,683
13	株式-AIRB	-	-
14	購入債権-FIRB	-	14,307
15	購入債権-AIRB	-	-
16	合計	-	5,301,276

※信用リスク削減手法として、クレジット・デリバティブは用いていません。

第十一面 CR8：内部格付手法を適用した信用リスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

2022年3月末

(単位：百万円)

CR8:内部格付手法を適用した信用リスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

項番		信用リスク・アセットの額	
1	前期末時点における信用リスク・アセットの額	4,780,071	
2	当期中の要因別の変動額	資産の規模	187,204
3		ポートフォリオの質	△137,783
4		モデルの更新	-
5		手法及び方針	-
6		買収又は売却	-
7		為替の変動	24,857
8		その他	-
9	当期末時点における信用リスク・アセットの額	4,854,350	

2023年3月末

(単位：百万円)

CR8:内部格付手法を適用した信用リスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

項番		信用リスク・アセットの額	
1	前期末時点における信用リスク・アセットの額	4,854,350	
2	当期中の要因別の変動額	資産の規模	263,079
3		ポートフォリオの質	△105,543
4		モデルの更新	-
5		手法及び方針	-
6		買収又は売却	-
7		為替の変動	23,446
8		その他	-
9	当期末時点における信用リスク・アセットの額	5,035,332	

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

第十二面 CR9：内部格付手法-ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テスト

2022年3月末

(単位：％、件)

CR9:内部格付手法-ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テスト

イ	ロ	ハ					ニ	ホ	ヘ		ト	チ	リ
		相当する外部格付							加重平均PD (EAD加重)	相加平均PD			
ポートフォリオ	PD区分	S&P	Moody's	Fitch	R&I	JCR					前期末	当期末	期中にデフォルトした債務者の数
ソブリン・金融機関等向け	0.00以上0.15未満	AAA ~BB+	Aaa ~Ba1		AAA ~BBB	AAA ~BBB+	0.00	0.03	245	245	-	-	-
	0.15以上0.25未満	BB ~BB	Ba2 ~Ba2		BBB- ~BBB-	BBB ~BBB-	0.22	0.22	7	7	-	-	-
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	-	0.67	1	1	-	-	-
	0.75以上2.50未満	BB-~	Ba3~		BB+~	BB+~	1.05	1.05	2	2	-	-	-
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	8.31	5.73	1	2	-	-	-
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	-	-	1	-	-	-	-
	100.00 (デフォルト)	-	-		-	-	100.00	100.00	-	-	-	-	-
事業法人向け (特定貸付債権を除く。)	0.00以上0.15未満	AAA ~BB+	Aaa ~Ba1		AAA ~BBB	AAA ~BBB+	0.07	0.10	4,914	5,282	2	-	0.04
	0.15以上0.25未満	BB ~BB	Ba2 ~Ba2		BBB- ~BBB-	BBB ~BBB-	0.22	0.22	9,168	9,530	5	-	0.06
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	0.14
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	0.67	0.67	4,093	4,002	8	-	0.30
	0.75以上2.50未満	BB-~	Ba3~		BB+~	BB+~	1.05	1.05	3,439	3,429	8	-	0.34
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	4.04	4.11	5,167	5,095	61	-	1.57
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	12.30	12.30	556	585	33	-	7.49
	100.00 (デフォルト)	-	-		-	-	100.00	100.00	607	560	-	-	-
株式等エクスポージャー (PD/LGD方式)・購入債権 (事業法人等向け)	0.00以上0.15未満	AAA ~BB+	Aaa ~Ba1		AAA ~BBB	AAA ~BBB+	0.04	0.06	242	222	-	-	-
	0.15以上0.25未満	BB ~BB	Ba2 ~Ba2		BBB- ~BBB-	BBB ~BBB-	0.22	0.22	18	21	-	-	-
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	0.67	0.67	10	14	-	-	-
	0.75以上2.50未満	BB-~	Ba3~		BB+~	BB+~	1.05	1.05	5	3	-	-	-
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	3.94	3.81	12	13	-	-	2.50
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	12.30	12.30	1	3	-	-	-
	100.00 (デフォルト)	-	-		-	-	100.00	100.00	1	1	-	-	-
特定貸付債権	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
購入債権 (リテール向け)	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	

## CR9:内部格付手法－ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テスト

イ	ロ	ハ					ニ	ホ	ヘ		ト	チ	リ
		相当する外部格付							加重平均PD (EAD加重)	相加重平均PD			
ポートフォリオ	PD区分	S&P	Moody's	Fitch	R&I	JCR				期中にデフォルトした債務者の数	うち、期中にデフォルトした新たな債務者の数	過去の年平均デフォルト率 (5年間)	
居住用 不動産向け	0.00以上0.15未満						0.10	0.10	61,272	60,286	35	-	0.07
	0.15以上0.25未満						0.22	0.22	16,659	16,034	24	-	0.16
	0.25以上0.50未満						0.35	0.34	148,696	154,994	307	1	0.23
	0.50以上0.75未満						0.54	0.54	225	163	-	-	0.62
	0.75以上2.50未満						2.18	2.18	18	17	-	-	2.62
	2.50以上10.00未満						3.25	3.25	1,763	1,756	17	-	1.39
	10.00以上100.00未満						24.25	24.78	777	821	159	-	18.18
	100.00 (デフォルト)						100.00	100.00	2,478	2,447			
適格 リボルビング型 リテール向け	0.00以上0.15未満						0.12	0.12	-	150,451	235	25	0.15
	0.15以上0.25未満						0.22	0.22	243,615	98,368	251	3	0.20
	0.25以上0.50未満						0.36	0.40	358,829	363,046	760	3	0.26
	0.50以上0.75未満						-	-	-	-	-	-	0.27
	0.75以上2.50未満						1.14	1.10	37,428	42,352	176	-	0.85
	2.50以上10.00未満						4.24	4.19	131,845	136,730	2,262	142	3.00
	10.00以上100.00未満						26.79	26.47	2,643	2,769	458	-	27.80
	100.00 (デフォルト)						100.00	100.00	16,428	8,474			
その他 リテール向け (消費性)	0.00以上0.15未満						0.03	0.03	676,610	605,512	-	-	-
	0.15以上0.25未満						0.16	0.16	1,893	1,869	-	-	-
	0.25以上0.50未満						0.43	0.42	40,873	41,349	103	6	0.32
	0.50以上0.75未満						0.51	0.51	35,469	36,660	112	4	0.38
	0.75以上2.50未満						0.89	0.90	3,262	3,567	12	-	0.51
	2.50以上10.00未満						3.20	2.64	8,703	8,265	171	11	2.34
	10.00以上100.00未満						20.40	18.24	573	767	78	3	14.87
	100.00 (デフォルト)						100.00	100.00	942	906			
その他 リテール向け (事業性)	0.00以上0.15未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.15以上0.25未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.25以上0.50未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.75以上2.50未満						1.35	1.17	23,210	24,275	98	4	0.48
	2.50以上10.00未満						7.26	6.68	2,049	2,029	76	-	3.93
	10.00以上100.00未満						22.37	22.37	32	24	4	-	23.14
	100.00 (デフォルト)						100.00	100.00	674	654			



【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

2023年3月末

(単位：％、件)

CR9:内部格付手法－ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テストニング

イ	ロ	ハ					ニ	ホ	ヘ		ト	チ	リ
		相当する外部格付							加重平均PD (EAD加重)	相加平均PD			
ポートフォリオ	PD区分	S&P	Moody's	Fitch	R&I	JCR					期中にデフォルトした債務者の数	うち、期中にデフォルトした新たな債務者の数	過去の年平均デフォルト率 (5年間)
ソブリン・金融機関等向け	0.00以上0.15未満	AAA ~BB+	Aaa ~Ba1		AAA ~BBB	AAA ~BBB+	0.00	0.03	245	244	-	-	-
	0.15以上0.25未満	BB ~BB	Ba2 ~Ba2		BBB- ~BBB-	BBB ~BBB-	0.21	0.21	7	12	-	-	-
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	-	0.65	1	1	-	-	-
	0.75以上2.50未満	BB~	Ba3~		BB+~	BB+~	1.01	1.01	2	2	-	-	-
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	7.99	4.73	2	3	-	-	-
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.00 (デフォルト)	-	-		-	-	100.00	100.00	-	-	-	-	-
事業法人向け (特定貸付債権を除く。)	0.00以上0.15未満	AAA ~BB+	Aaa ~Ba1		AAA ~BBB	AAA ~BBB+	0.07	0.10	5,282	5,642	1	-	0.04
	0.15以上0.25未満	BB ~BB	Ba2 ~Ba2		BBB- ~BBB-	BBB ~BBB-	0.21	0.21	9,530	9,576	4	-	0.05
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	0.16
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	0.65	0.65	4,002	4,036	3	-	0.23
	0.75以上2.50未満	BB~	Ba3~		BB+~	BB+~	1.01	1.01	3,429	3,437	7	-	0.31
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	3.86	3.93	5,095	4,892	74	-	1.61
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	12.07	12.07	585	587	56	-	8.05
	100.00 (デフォルト)	-	-		-	-	100.00	100.00	560	543	-	-	-
株式等エクスポージャー (PD/LGD方式)・購入債権 (事業法人等向け)	0.00以上0.15未満	AAA ~BB+	Aaa ~Ba1		AAA ~BBB	AAA ~BBB+	0.04	0.06	222	222	-	-	-
	0.15以上0.25未満	BB ~BB	Ba2 ~Ba2		BBB- ~BBB-	BBB ~BBB-	0.21	0.21	21	12	-	-	-
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	0.65	0.65	14	13	-	-	-
	0.75以上2.50未満	BB~	Ba3~		BB+~	BB+~	1.01	1.01	3	3	-	-	-
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	3.73	3.60	13	15	-	-	-
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	12.07	12.07	3	2	-	-	-
	100.00 (デフォルト)	-	-		-	-	100.00	100.00	1	1	-	-	-
特定貸付債権	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
購入債権 (リート向け)	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	

CR9:内部格付手法-ポートフォリオ別のデフォルト率 (PD) のバック・テスト

イ	ロ	ハ					ニ	ホ	ヘ		ト	チ	リ
		相当する外部格付							加重平均PD (EAD加重)	相加平均PD			
ポートフォリオ	PD区分	S&P	Moody's	Fitch	R&I	JCR					前期末	当期末	期中にデフォルトした債務者の数
居住用不動産向け	0.00以上0.15未満						0.10	0.10	60,286	58,601	41	1	0.06
	0.15以上0.25未満						0.21	0.21	16,034	15,273	23	-	0.15
	0.25以上0.50未満						0.34	0.34	154,994	160,567	270	2	0.21
	0.50以上0.75未満						0.52	0.52	163	119	-	-	0.49
	0.75以上2.50未満						2.09	2.09	17	15	-	-	2.10
	2.50以上10.00未満						3.04	3.04	1,756	1,805	34	-	1.48
	10.00以上100.00未満						23.22	23.75	821	891	135	-	18.03
	100.00 (デフォルト)						100.00	100.00	2,447	2,381			
適格リボルビング型リテール向け	0.00以上0.15未満						0.13	0.13	150,451	154,380	287	33	0.17
	0.15以上0.25未満						0.22	0.22	98,368	96,873	257	3	0.22
	0.25以上0.50未満						0.36	0.39	363,046	367,526	859	7	0.24
	0.50以上0.75未満						-	-	-	-	-	-	0.24
	0.75以上2.50未満						1.13	1.12	42,352	30,797	155	-	0.85
	2.50以上10.00未満						4.23	4.18	136,730	143,484	2,387	155	2.96
	10.00以上100.00未満						25.72	26.10	2,769	3,484	467	-	28.12
	100.00 (デフォルト)						100.00	100.00	8,474	17,602			
その他リテール向け (消費性)	0.00以上0.15未満						0.03	0.03	605,512	552,996	1	-	0.00
	0.15以上0.25未満						0.16	0.16	1,869	1,808	-	-	-
	0.25以上0.50未満						0.42	0.42	41,349	42,958	92	4	0.30
	0.50以上0.75未満						0.50	0.50	36,660	38,457	112	8	0.34
	0.75以上2.50未満						1.54	1.92	3,567	11,328	168	12	0.71
	2.50以上10.00未満						4.94	5.30	8,265	346	12	-	2.56
	10.00以上100.00未満						19.91	18.18	767	880	89	1	14.15
	100.00 (デフォルト)						100.00	100.00	906	882			
その他リテール向け (事業性)	0.00以上0.15未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.15以上0.25未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.25以上0.50未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.75以上2.50未満						1.29	1.13	24,275	24,915	150	6	0.51
	2.50以上10.00未満						7.09	6.52	2,029	2,021	102	-	4.31
	10.00以上100.00未満						21.90	21.90	24	17	6	-	24.36
	100.00 (デフォルト)						100.00	100.00	654	672			

※1.ソブリン向けエクスポージャーと金融機関等向けエクスポージャー、株式等エクスポージャー (PD/LGD方式が適用されるエクスポージャーに限る。)と購入債権 (事業法人等向け) については、対象先が少ないため、ポートフォリオを統合して開示しています。  
 ※2.「PD区分」は、様式間における開示情報把握の容易性を重視したため、CR6と同一のPD区分を設定しています。  
 ※3.ヘ〜チ欄について、PD推計に債権の数を用いている居住用不動産向けエクスポージャー、適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー、その他リテール向けエクスポージャー (消費性) は債権数を記載しており、それ以外のエクスポージャー区分は債務者数を記載しています。  
 ※4.内部モデルの適用範囲がどのように決定されたかは、「定性的な開示事項 信用リスクに関する事項 内部格付手法に関する事項」に開示しています。  
 ※5.ポートフォリオ別に各内部モデルが対象とする信用リスク・アセットの額の割合は次のとおりです。

2022年3月末

ソブリン・金融機関等向け	6%
事業法人向け (特定貸付債権を除く。)	70%
株式等エクスポージャー (PD/LGD方式)・購入債権 (事業法人等向け)	6%
居住用不動産向け	13%
適格リボルビング型リテール向け	1%
その他リテール向け (消費性)	1%
その他リテール向け (事業性)	2%

2023年3月末

ソブリン・金融機関等向け	5%
事業法人向け (特定貸付債権を除く。)	70%
株式等エクスポージャー (PD/LGD方式)・購入債権 (事業法人等向け)	7%
居住用不動産向け	13%
適格リボルビング型リテール向け	1%
その他リテール向け (消費性)	1%
その他リテール向け (事業性)	2%

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

第十三面 CR10：内部格付手法-特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）と株式等エクスポージャー（マーケット・ベース方式等）

2022年3月末

(単位：百万円)

CR10：内部格付手法-特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）と株式等エクスポージャー（マーケット・ベース方式等）

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	
特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）												
ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）以外												
規制上の区分	残存期間	オン・バランス シートの額	オフ・バランス シートの額	リスク・ ウェイト	エクスポージャーの額（EAD）					信用リスク・ アセットの額	期待損失	
					PF	OF	CF	IPRE	合計			
優（Strong）	2.5年未満	4,002	12,491	50%	9,481	-	-	3,732	13,214	6,607	-	
	2.5年以上	127,697	32,465	70%	137,066	-	-	4,147	141,214	98,850	564	
良（Good）	2.5年未満	273	-	70%	273	-	-	-	273	191	1	
	2.5年以上	9,730	1,112	90%	9,220	-	-	1,344	10,565	9,508	84	
可（Satisfactory）		3,446	4,000	115%	3,000	2,956	-	489	6,446	7,413	180	
弱い（Weak）		12,388	284	250%	4,302	2,918	-	517	7,738	19,346	619	
デフォルト（Default）		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計		157,538	50,353	-	163,344	5,875	-	10,231	179,452	141,917	1,450	
ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）												
規制上の区分	残存期間	オン・バランス シートの額	オフ・バランス シートの額	リスク・ ウェイト	/					エクスポージャーの額 （EAD）	信用リスク・ アセットの額	期待損失
優（Strong）	2.5年未満	-	-	70%	/					-	-	-
	2.5年以上	-	-	95%	/					-	-	-
良（Good）	2.5年未満	-	-	95%	/					-	-	-
	2.5年以上	-	-	120%	/					-	-	-
可（Satisfactory）		-	-	140%	/					-	-	-
弱い（Weak）		-	-	250%	/					-	-	-
デフォルト（Default）		-	-	-	/					-	-	-
合計		-	-	-	/					-	-	-
株式等エクスポージャー（マーケット・ベース方式等）												
マーケット・ベース方式が適用される株式等エクスポージャー												
カテゴリー	オン・バランス シートの額	オフ・バランス シートの額	リスク・ ウェイト	/					エクスポージャーの額 （EAD）	信用リスク・ アセットの額		
簡易手法-上場株式	77,734	-	300%	/					77,734	233,202		
簡易手法-非上場株式	8,017	-	400%	/					8,017	32,069		
内部モデル手法	-	-	-	/					-	-		
合計	85,751	-	-	/					85,751	265,272		
100%のリスク・ウェイトが適用される株式等エクスポージャー												
自己資本比率告示第百六十六 条第一項ただし書又は持株自 己資本比率告示第百四十四条 第一項ただし書の定めるところ により100%のリスク・ウ ェイトが適用される株式等エ クスポージャー	-	-	100%	/					-	-		

2023年3月末

(単位：百万円)

## CR10：内部格付手法－特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）と株式等エクスポージャー（マーケット・ベース方式等）

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ラ
特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）											
ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）以外											
規制上の区分	残存期間	オン・バランス シートの額	オフ・バランス シートの額	リスク・ ウェイト	エクスポージャーの額（EAD）					信用リスク・ アセットの額	期待損失
					PF	OF	CF	IPRE	合計		
優（Strong）	2.5年未満	17,205	18,191	50%	18,063	-	-	12,786	30,849	15,424	-
	2.5年以上	163,403	28,578	70%	138,794	-	-	37,549	176,344	123,441	705
良（Good）	2.5年未満	485	1,105	70%	439	-	-	874	1,314	919	5
	2.5年以上	18,989	5,028	90%	13,202	-	-	9,558	22,760	20,484	182
可（Satisfactory）		9,876	-	115%	1,412	2,668	-	5,795	9,876	11,357	276
弱い（Weak）		15,996	108	250%	6,890	2,378	-	555	9,824	24,560	785
デフォルト（Default）		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		225,957	53,013	-	178,801	5,047	-	67,119	250,969	196,188	1,955

## ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）

規制上の区分	残存期間	オン・バランス シートの額	オフ・バランス シートの額	リスク・ ウェイト	エクスポー ジャーの額 （EAD）	信用リスク・ アセットの額	期待損失
優（Strong）	2.5年未満	-	-	70%		-	-
	2.5年以上	-	-	95%		-	-
良（Good）	2.5年未満	-	-	95%		-	-
	2.5年以上	-	-	120%		-	-
可（Satisfactory）		-	-	140%		-	-
弱い（Weak）		-	-	250%		-	-
デフォルト（Default）		-	-	-		-	-
合計		-	-	-		-	-

## 株式等エクスポージャー（マーケット・ベース方式等）

## マーケット・ベース方式が適用される株式等エクスポージャー

カテゴリー	オン・バランス シートの額	オフ・バランス シートの額	リスク・ ウェイト	エクスポー ジャーの額 （EAD）	信用リスク・ アセットの額	期待損失
簡易手法-上場株式	77,924	-	300%	77,924	233,773	
簡易手法-非上場株式	8,042	-	400%	8,042	32,170	
内部モデル手法	-	-	-	-	-	
合計	85,967	-	-	85,967	265,943	

## 100%のリスク・ウェイトが適用される株式等エクスポージャー

自己資本比率告示第百六十六 条第一項ただし書又は持株自 己資本比率告示第百四十四条 第一項ただし書の定めるところ により100%のリスク・ウ ェイトが適用される株式等エ クスポージャー	-	-	100%		-	-
--	---	---	------	--	---	---

※1.「スロットティング・クライテリア」とは特定貸付債権について自己資本比率告示第153条第4項及び第6項に基づき優・良・可・弱い・デフォルトの5段階に区分されたリスク・ウェイトの基準です。

※2.「PF」は「プロジェクト・ファイナンス」、「OF」は「オブジェクト・ファイナンス」、「CF」は「コモディティ・ファイナンス」、「IPRE」は「事業用不動産向け貸付け」です。

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

第十四面 CCR1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

2022年3月末

(単位：百万円)

CCR1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		RC	PFE	実効EPE	規制上のエクスポージャーの算定に使用される $\alpha$	信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	リスク・アセットの額
1	SA-CCR	32,154	11,502		1.4	61,118	35,678
2	期待エクスポージャー方式			-	-	-	-
3	信用リスク削減手法における簡便手法					-	-
4	信用リスク削減手法における包括的手法					297,534	937
5	エクスポージャー変動推計モデル					-	-
6	合計						36,616

2023年3月末

(単位：百万円)

CCR1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		RC	PFE	実効EPE	規制上のエクスポージャーの算定に使用される $\alpha$	信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	リスク・アセットの額
1	SA-CCR	30,043	15,553		1.4	63,835	35,467
2	期待エクスポージャー方式			-	-	-	-
3	信用リスク削減手法における簡便手法					-	-
4	信用リスク削減手法における包括的手法					385,296	1,099
5	エクスポージャー変動推計モデル					-	-
6	合計						36,566

第十五面 CCR2：CVAリスクに対する資本賦課

2022年3月末

(単位：百万円)

CCR2：CVAリスクに対する資本賦課

項番		イ	ロ
		信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	リスク・アセットの額 (CVAリスク相当額を8%で除して得た額)
1	先進的リスク測定方式の対象となるポートフォリオの合計	-	-
2	(i) CVAバリュー・アット・リスクの額 (乗数適用後)		-
3	(ii) CVAストレス・バリュー・アット・リスクの額 (乗数適用後)		-
4	標準的リスク測定方式の対象となるポートフォリオの合計	44,066	95,435
5	CVAリスク相当額の対象となるポートフォリオの合計	44,066	95,435

2023年3月末

(単位：百万円)

CCR2：CVAリスクに対する資本賦課

項番		イ	ロ
		信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	リスク・アセットの額 (CVAリスク相当額を8%で除して得た額)
1	先進的リスク測定方式の対象となるポートフォリオの合計	-	-
2	(i) CVAバリュー・アット・リスクの額 (乗数適用後)		-
3	(ii) CVAストレス・バリュー・アット・リスクの額 (乗数適用後)		-
4	標準的リスク測定方式の対象となるポートフォリオの合計	46,231	101,498
5	CVAリスク相当額の対象となるポートフォリオの合計	46,231	101,498

第十六面 CCR3：業種別及びリスク・ウェイト別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー  
2022年3月末

(単位：百万円)

CCR3:業種別及びリスク・ウェイト別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

項番	業種	リスク・ウェイト	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	
			与信相当額（信用リスク削減効果勘案後）									合計
			0%	10%	20%	50%	75%	100%	150%	その他		
1	日本国政府及び日本銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	外国の中央政府及び中央銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	国際決済銀行等向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	我が国の地方公共団体向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	外国の中央政府等以外の公共部門向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	国際開発銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	地方公共団体金融機構向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	我が国の政府関係機関向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	地方三公社向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	金融機関及び第一種金融商品取引業者向け		-	-	0	-	-	-	-	-	0	
11	法人等向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	中小企業等向け及び個人向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	上記以外		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14	合計		-	-	0	-	-	-	-	-	0	

2023年3月末

(単位：百万円)

CCR3:業種別及びリスク・ウェイト別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

項番	業種	リスク・ウェイト	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	
			与信相当額（信用リスク削減効果勘案後）									合計
			0%	10%	20%	50%	75%	100%	150%	その他		
1	日本国政府及び日本銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	外国の中央政府及び中央銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	国際決済銀行等向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	我が国の地方公共団体向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	外国の中央政府等以外の公共部門向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	国際開発銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	地方公共団体金融機構向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	我が国の政府関係機関向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	地方三公社向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	金融機関及び第一種金融商品取引業者向け		-	-	0	-	-	-	-	-	0	
11	法人等向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	中小企業等向け及び個人向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	上記以外		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14	合計		-	-	0	-	-	-	-	-	0	

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

第十七面 CCR4：内部格付手法-ポートフォリオ別及びPD区分別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー  
2022年3月末

(単位：百万円、%、千件、年)

CCR4:内部格付手法-ポートフォリオ別及びPD区分別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
		EAD (信用 リスク削減 効果勘案後)	平均PD	取引相手方 の数	平均LGD	平均残存 期間	信用リスク ・アセット	リスク・ ウェイトの 加重平均値 (RWA density)
ソブリン向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	-	-	-	-	-	-	-
金融機関等向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	193,498	0.05	0.0	4.16	0.2	3,714	1.91
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	193,498	0.05	0.0	4.16	0.2	3,714	1.91
事業法人向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	116,078	0.03	0.0	2.07	0.0	718	0.61
2	0.15以上0.25未満	836	0.22	0.0	45.00	4.2	528	63.11
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	1,024	0.67	0.0	45.00	4.7	1,097	107.14
5	0.75以上2.50未満	158	1.05	0.0	45.00	3.3	164	104.16
6	2.50以上10.00未満	74	4.16	0.0	45.00	3.6	115	154.55
7	10.00以上100.00未満	6	12.30	0.0	45.00	1.5	12	197.68
8	100.00 (デフォルト)	2	100.00	0.0	45.00	1.4	-	-
9	小計	118,181	0.05	0.2	2.83	0.1	2,636	2.23
中堅中小企業向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	1,039	0.12	0.1	45.00	4.2	414	39.86
2	0.15以上0.25未満	1,410	0.22	0.1	45.00	4.7	838	59.43
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	1,324	0.67	0.1	45.00	4.4	1,197	90.39
5	0.75以上2.50未満	468	1.05	0.0	45.00	4.6	482	103.04
6	2.50以上10.00未満	679	4.19	0.1	45.00	4.4	928	136.62
7	10.00以上100.00未満	41	12.30	0.0	45.00	4.3	77	189.35
8	100.00 (デフォルト)	76	100.00	0.0	45.00	4.2	-	-
9	小計	5,040	2.53	0.5	45.00	4.5	3,939	78.15
その他リテール向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	4,265	0.03	0.1	-	-	-	-
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	4,265	0.03	0.1	-	-	-	-
合計 (全てのポートフォリオ)		320,986	0.09	1.0	4.26	-	10,290	3.20



2023年3月末

(単位：百万円、%、千件、年)

## CCR4:内部格付手法-ポートフォリオ別及びPD区分別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
		EAD (信用リスク削減効果勘案後)	平均PD	取引相手方の数	平均LGD	平均残存期間	信用リスク・アセット	リスク・ウェイトの加重平均値 (RWA density)
ソブリン向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	-	-	-	-	-	-	-
金融機関等向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	196,776	0.05	0.0	4.49	0.3	5,033	2.55
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	196,776	0.05	0.0	4.49	0.3	5,033	2.55
事業法人向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	201,834	0.03	0.0	1.71	0.0	976	0.48
2	0.15以上0.25未満	669	0.21	0.0	45.00	3.8	388	58.00
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	793	0.65	0.0	45.00	3.7	750	94.61
5	0.75以上2.50未満	191	1.01	0.0	45.00	3.6	206	107.64
6	2.50以上10.00未満	131	3.29	0.0	45.00	4.5	207	157.38
7	10.00以上100.00未満	0	12.07	0.0	45.00	1.0	0	189.54
8	100.00 (デフォルト)	17	100.00	0.0	45.00	3.3	-	-
9	小計	203,637	0.05	0.2	2.10	0.0	2,528	1.24
中堅中小企業向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	1,999	0.12	0.1	45.00	4.1	754	37.74
2	0.15以上0.25未満	1,236	0.21	0.1	45.00	3.8	632	51.13
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	1,365	0.65	0.1	45.00	3.5	1,092	79.97
5	0.75以上2.50未満	246	1.01	0.0	45.00	4.2	249	100.90
6	2.50以上10.00未満	698	3.67	0.1	45.00	3.9	905	129.62
7	10.00以上100.00未満	34	12.07	0.0	45.00	4.2	62	180.31
8	100.00 (デフォルト)	56	100.00	0.0	45.00	3.8	-	-
9	小計	5,638	1.82	0.5	45.00	3.9	3,696	65.55
その他リテール向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	6,888	0.03	0.2	-	-	-	-
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	6,888	0.03	0.2	-	-	-	-
合計 (全てのポートフォリオ)		412,940	0.07	1.0	3.79	-	11,258	2.72

※1.平均残存期間はリスク・アセットの計算において、マチュリティ (期間) が用いられる区分のみ記載しています。

※2.上記以外に特定貸付債権 (スロットティング・クライテリア方式) のカウンターパーティ信用リスクとして、2022年3月末EAD37,666百万円、信用リスク・アセット26,326百万円、2023年3月末EAD36,190百万円、信用リスク・アセット25,308百万円を計上しています。

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定量的な開示事項

第十八面 CCR5：担保の内訳

2022年3月末

(単位：百万円)

CCR5:担保の内訳

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		派生商品取引で使用される担保				レポ形式の取引で使用される担保	
		受入担保の公正価値		差入担保の公正価値		受入担保の公正価値	差入担保の公正価値
		分別管理されている	分別管理されていない	分別管理されている	分別管理されていない		
1	現金（国内通貨）	-	5,603	-	20,867	99,663	14,999
2	現金（外国通貨）	-	-	-	-	176,829	-
3	国内ソブリン債	-	-	-	-	-	103,715
4	その他ソブリン債	-	-	-	-	-	138,014
5	政府関係機関債	-	-	-	-	-	38,847
6	社債	-	-	-	-	11,249	2,851
7	株式	-	-	-	-	-	-
8	その他担保	-	-	-	-	-	-
9	合計	-	5,603	-	20,867	287,743	298,429

2023年3月末

(単位：百万円)

CCR5:担保の内訳

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		派生商品取引で使用される担保				レポ形式の取引で使用される担保	
		受入担保の公正価値		差入担保の公正価値		受入担保の公正価値	差入担保の公正価値
		分別管理されている	分別管理されていない	分別管理されている	分別管理されていない		
1	現金（国内通貨）	-	28,920	-	21,147	175,372	23,446
2	現金（外国通貨）	-	-	-	-	178,862	-
3	国内ソブリン債	-	-	-	-	5,428	179,785
4	その他ソブリン債	-	-	-	-	-	147,164
5	政府関係機関債	-	-	-	-	-	30,965
6	社債	-	-	-	-	13,499	4,630
7	株式	-	-	-	-	-	-
8	その他担保	-	-	-	-	-	-
9	合計	-	28,920	-	21,147	373,163	385,993

※中央清算機関に差入れした担保については含まれていません。(CCR8に記載しています。)

第十九面 CCR6：クレジット・デリバティブ取引のエクスポージャー  
2022年3月末

(単位：百万円)

CCR6:クレジット・デリバティブ取引のエクスポージャー

項番		イ	ロ
		購入したプロテクション	提供したプロテクション
	想定元本		
1	シングルネーム・クレジット・デフォルト・スワップ	-	-
2	インデックス・クレジット・デフォルト・スワップ	-	-
3	トータル・リターン・スワップ	-	-
4	クレジットオプション	-	-
5	その他のクレジット・デリバティブ	-	-
6	想定元本合計	-	-
	公正価値		
7	プラスの公正価値（資産）	-	-
8	マイナスの公正価値（負債）	-	-

2023年3月末

(単位：百万円)

CCR6:クレジット・デリバティブ取引のエクスポージャー

項番		イ	ロ
		購入したプロテクション	提供したプロテクション
	想定元本		
1	シングルネーム・クレジット・デフォルト・スワップ	-	-
2	インデックス・クレジット・デフォルト・スワップ	-	-
3	トータル・リターン・スワップ	-	-
4	クレジットオプション	-	-
5	その他のクレジット・デリバティブ	-	-
6	想定元本合計	-	-
	公正価値		
7	プラスの公正価値（資産）	-	-
8	マイナスの公正価値（負債）	-	-

※クレジット・デリバティブ取引は行っていません。

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

第二十一面 CCR8：中央清算機関向けエクスポージャー

2022年3月末

(単位：百万円)

CCR8:中央清算機関向けエクスポージャー

項番		イ	ロ
		中央清算機関向けエクスポージャー (信用リスク削減手法適用後)	リスク・アセットの額
1	適格中央清算機関へのエクスポージャー (合計)		594
2	適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー (当初証拠金を除く。)	11,190	196
3	(i) 派生商品取引 (上場以外)	9,822	196
4	(ii) 派生商品取引 (上場)	1,367	-
5	(iii) レポ形式の取引	-	-
6	(iv) クロスプロダクト・ネットtingが承認された場合のネットting・セット	-	-
7	分別管理されている当初証拠金	-	
8	分別管理されていない当初証拠金	4,463	124
9	事前拠出された清算基金	1,970	273
10	未拠出の清算基金	-	-
11	非適格中央清算機関へのエクスポージャー (合計)		-
12	非適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー (当初証拠金を除く。)	-	-
13	(i) 派生商品取引 (上場以外)	-	-
14	(ii) 派生商品取引 (上場)	-	-
15	(iii) レポ形式の取引	-	-
16	(iv) クロスプロダクト・ネットtingが承認された場合のネットting・セット	-	-
17	分別管理されている当初証拠金	-	
18	分別管理されていない当初証拠金	-	-
19	事前拠出された清算基金	-	-
20	未拠出の清算基金	-	-

2023年3月末

(単位：百万円)

CCR8:中央清算機関向けエクスポージャー

項番		イ	ロ
		中央清算機関向けエクスポージャー (信用リスク削減手法適用後)	リスク・アセットの額
1	適格中央清算機関へのエクスポージャー (合計)		1,213
2	適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー (当初証拠金を除く。)	22,948	429
3	(i) 派生商品取引 (上場以外)	21,457	429
4	(ii) 派生商品取引 (上場)	1,490	-
5	(iii) レポ形式の取引	-	-
6	(iv) クロスプロダクト・ネットtingが承認された場合のネットting・セット	-	-
7	分別管理されている当初証拠金	-	
8	分別管理されていない当初証拠金	17,370	486
9	事前拠出された清算基金	1,962	298
10	未拠出の清算基金	-	-
11	非適格中央清算機関へのエクスポージャー (合計)		-
12	非適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー (当初証拠金を除く。)	-	-
13	(i) 派生商品取引 (上場以外)	-	-
14	(ii) 派生商品取引 (上場)	-	-
15	(iii) レポ形式の取引	-	-
16	(iv) クロスプロダクト・ネットtingが承認された場合のネットting・セット	-	-
17	分別管理されている当初証拠金	-	
18	分別管理されていない当初証拠金	-	-
19	事前拠出された清算基金	-	-
20	未拠出の清算基金	-	-

第二十二面 SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

2022年3月末

(単位：百万円)

SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	担保付住宅ローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	クレジットカード債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	その他リテールに係るエクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ホールセール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	事業法人向けローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	商業用モーゲージ担保証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	リース債権及び売掛債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	その他のホールセール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2023年3月末

(単位：百万円)

SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	担保付住宅ローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	クレジットカード債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	その他リテールに係るエクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ホールセール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	事業法人向けローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	商業用モーゲージ担保証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	リース債権及び売掛債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	その他のホールセール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※証券化取引はありません。

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定量的な開示事項

第二十三面 SEC2：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（マーケット・リスク相当額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

2022年3月末

(単位：百万円)

SEC2：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（マーケット・リスク相当額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	担保付住宅ローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	クレジットカード債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	その他リテールに係るエクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ホールセール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	事業法人向けローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	商業用モーゲージ担保証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	リース債権及び売掛債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	その他のホールセール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2023年3月末

(単位：百万円)

SEC2：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（マーケット・リスク相当額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	担保付住宅ローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	クレジットカード債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	その他リテールに係るエクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ホールセール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	事業法人向けローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	商業用モーゲージ担保証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	リース債権及び売掛債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	その他のホールセール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※証券化取引はありません。

第二十四面 SEC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本  
(自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合)

2022年3月末

(単位：百万円)

SEC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本 (自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合)

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ		
		合計	資産譲渡型証券化取引(小計)	証券化			再証券化	シニア		非シニア	合成型証券化取引(小計)	証券化			再証券化	シニア		非シニア
				裏付けとなるリテール	ホールセール			裏付けとなるリテール	ホールセール				裏付けとなるリテール	ホールセール				
エクスポージャーの額 (リスク・ウェイト区分別)																		
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	20%超50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	50%超100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	100%超1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エクスポージャーの額 (算出方法別)																		
6	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	外部格付準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
信用リスク・アセットの額 (算出方法別)																		
10	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
所要自己資本の額 (算出方法別)																		
14	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15	外部格付準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

2023年3月末

(単位：百万円)

SEC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合）

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ	
		合計		資産譲渡型証券化取引（小計）				再証券化			合成型証券化取引（小計）		再証券化		シニア		非シニア
		証券化	裏付けとなるリテール	ホールセール	再証券化	シニア	非シニア	証券化	裏付けとなるリテール	ホールセール	再証券化	シニア	非シニア				
エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）																	
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	20%超50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	50%超100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	100%超1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エクスポージャーの額（算出方法別）																	
6	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	外部格付準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
信用リスク・アセットの額（算出方法別）																	
10	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
所要自己資本の額（算出方法別）																	
14	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	外部格付準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※証券化取引はありません。

第二十五面 SEC4：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本  
(自金融機関が投資家である場合)

2022年3月末

(単位：百万円)

SEC4：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本 (自金融機関が投資家である場合)

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ	
		合計	資産譲渡型証券化取引(小計)	証券化			再証券化	シニア		合成型証券化取引(小計)	証券化			再証券化	シニア		非シニア
				裏付けとなるリテール	ホールセール	非シニア		裏付けとなるリテール	ホールセール		シニア	非シニア					
エクスポージャーの額 (リスク・ウェイト区分別)																	
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	20%超50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	50%超100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	100%超1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エクスポージャーの額 (算出方法別)																	
6	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	外部格付準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
信用リスク・アセットの額 (算出方法別)																	
10	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
所要自己資本の額 (算出方法別)																	
14	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	外部格付準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

2023年3月末

(単位：百万円)

SEC4：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ
		合計		資産譲渡型証券化取引（小計）				再証券化		合成型証券化取引（小計）		再証券化		シニア		非シニア
		証券化	裏付けとなるリテール	ホールセール	再証券化	シニア	非シニア	証券化	裏付けとなるリテール	ホールセール	再証券化	シニア	非シニア			
エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）																
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	20%超50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	50%超100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	100%超1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エクスポージャーの額（算出方法別）																
6	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	外部格付準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
信用リスク・アセットの額（算出方法別）																
10	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	外部格付準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
所要自己資本の額（算出方法別）																
14	内部格付手法準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	外部格付準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※証券化取引はありません。

第二十六面 MR1：標準的方式によるマーケット・リスク相当額

2022年3月末

(単位：百万円)

MR1:標準的方式によるマーケット・リスク相当額

項番		リスク・アセット (リスク相当額を8%で除して得た額)
1	金利リスク（一般市場リスク及び個別リスク）の額	64,814
2	株式リスク（一般市場リスク及び個別リスク）の額	-
3	外国為替リスクの額	72,879
4	コモディティ・リスクの額	-
	オプション取引	
5	簡便法により算出した額	-
6	デルタ・プラス法により算出した額	133
7	シナリオ法により算出した額	-
8	証券化エクスポージャーに係る個別リスクの額	-
9	合計	137,827

2023年3月末

(単位：百万円)

MR1:標準的方式によるマーケット・リスク相当額

項番		リスク・アセット (リスク相当額を8%で除して得た額)
1	金利リスク（一般市場リスク及び個別リスク）の額	62,418
2	株式リスク（一般市場リスク及び個別リスク）の額	-
3	外国為替リスクの額	69,608
4	コモディティ・リスクの額	-
	オプション取引	
5	簡便法により算出した額	-
6	デルタ・プラス法により算出した額	37
7	シナリオ法により算出した額	-
8	証券化エクスポージャーに係る個別リスクの額	-
9	合計	132,063

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 連結】  
定量的な開示事項

第三十面 IRRBB1：金利リスク

(単位：百万円)

IRRBB1：金利リスク

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		ΔEVE		ΔNII	
		2023年3月末	2022年3月末	2023年3月末	2022年3月末
1	上方パラレルシフト	38,567	81,224	106	312
2	下方パラレルシフト	3	13	39,590	35,080
3	スティープ化	57,854	81,770		
4	フラット化	22	2		
5	短期金利上昇	8,357	7,630		
6	短期金利低下	27,427	19,192		
7	最大値	57,854	81,770	39,590	35,080
		ホ		ヘ	
		2023年3月末		2022年3月末	
8	Tier1 資本の額	915,389		922,121	

※1.当行連結における金利リスクは、重要性の観点より単体の金利リスクと等しいものと見なしており、ΔEVE、ΔNII及びTier1は単体の額としています。

※2.ΔEVEは経済的価値の減少をプラス、ΔNIIは期間収益の減少をプラスで表しています。

※3.ΔEVE及びΔNIIにおける複数の通貨の集計は、異なる通貨間の相関を考慮せず、通貨別に算出した金利リスクの正値（経済的価値や期間収益の減少額）を単純合算しています。

※4.ΔEVEの算出における流動性預金への満期の割当て方法については、金融庁が定める保守的な前提を採用しています。

第三十一面 CCyB1：カウンター・シクリカル・バッファー比率に係る国又は地域別の状況

2022年3月末

(単位：百万円、%)

CCyB1：カウンター・シクリカル・バッファー比率に係る国又は地域別の状況

	イ	ロ	ハ	ニ
国又は地域	各金融当局が定める比率	カウンター・シクリカル・ バッファー比率の計算に用 いた当該国又は地域に係る 信用リスク・アセットの額	カウンター・シクリカル・ バッファー比率	カウンター・シクリカル・ バッファーの額
香港	1.00	2,828		
ルクセンブルク	0.50	2,211		
小計		5,039		
合計		6,516,649	0.00	-

2023年3月末

(単位：百万円、%)

CCyB1：カウンター・シクリカル・バッファー比率に係る国又は地域別の状況

	イ	ロ	ハ	ニ
国又は地域	各金融当局が定める比率	カウンター・シクリカル・ バッファー比率の計算に用 いた当該国又は地域に係る 信用リスク・アセットの額	カウンター・シクリカル・ バッファー比率	カウンター・シクリカル・ バッファーの額
オーストラリア	1.00	8,287		
ドイツ	0.75	23,704		
香港	1.00	6,221		
ルクセンブルク	0.50	2,841		
スウェーデン	1.00	3,950		
英国	1.00	112,964		
小計		157,971		
合計		6,720,365	0.02	1,739

※1.原則として、最終リスクベースで信用リスク・アセット額を算出しています。なお、信用リスク・アセットのみなし計算が適用される資産等、複数の資産が裏付資産となるものは、裏付資産の最終リスクベースでの信用リスク・アセット額に応じて按分して計上しています。

※2.信用リスク・アセットのみなし計算が適用される資産のうち、ルック・スルー方式が適用できない部分等、最終リスク帰属先が不明である資産については、記帳国（日本もしくは米国）で集計しています。

※3.信用リスク・アセットの額の主な変動要因は、信用リスク・アセットのみなし計算が適用される裏付資産の構成比の変動及び、各金融当局が定める比率が零を超えた国又は地域の変更によるものです。

## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 連結】

## 連結レバレッジ比率に関する開示事項

### 連結レバレッジ比率の構成に関する事項

(単位：百万円、%)

国際様式 (表2)の 該当番号	国際様式 (表1)の 該当番号	項目	2023年3月末	2022年3月末
<b>オン・バランス資産の額 (1)</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	15,680,254	14,889,411
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	15,830,772	15,000,203
1b	2	連結レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	-	-
1c	7	連結レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	-	-
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	150,517	110,792
2	7	Tier1資本に係る調整項目の額 (△)	45,224	39,496
3		オン・バランス資産の額 (イ)	15,635,029	14,849,914
<b>デリバティブ取引等に関する額 (2)</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	56,087	51,107
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	48,426	35,529
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	32,277	23,006
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)	-	-
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	-	-
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	72,236	63,630
<b>レポ取引等に関する額 (3)</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	23,446	14,999
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	-	-
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	8,968	6,747
15		代理取引のエクスポージャーの額	-	-
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	32,415	21,747
<b>オフ・バランス取引に関する額 (4)</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	3,418,335	3,516,628
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	2,881,806	2,977,399
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	536,528	539,228
<b>連結レバレッジ比率 (5)</b>				
20		資本の額 (ホ)	1,003,940	1,009,805
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	16,276,211	15,474,520
22		連結レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	6.16	6.52
		適用する所要連結レバレッジ比率	3.00	-
		適用する所要連結レバレッジ・バッファ率	-	-
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率 (6)</b>				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	16,276,211	15,474,520
		日本銀行に対する預け金の額	3,957,110	4,104,561
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	20,233,321	19,579,081
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ'))	4.96	5.15

※「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表された「レバレッジ比率の枠組みと開示要件」と題する文書の表1及び表2に記載された番号です。

### 前連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因

該当事項はありません。



【自己資本の充実の状況】  
【銀行 単体】  
自己資本の構成に関する開示事項

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行単体）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2023年3月末	2022年3月末	別紙様式 第十三号 (CC2) の参照項目
<b>普通株式等Tier1資本に係る基礎項目（1）</b>				
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	880,199	852,395	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	267,215	267,203	(1) (2)
2	うち、利益剰余金の額	686,795	647,883	(3)
1c	うち、自己株式の額（△）	62,943	53,108	(4)
26	うち、社外流出予定額（△）	10,868	9,582	
	うち、上記以外に該当するものの額	-	-	
1b	普通株式に係る新株予約権の額	-	-	
3	評価・換算差額等及びその他公表準備金の額	91,257	117,932	(5)
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額 (イ)	971,456	970,328	
<b>普通株式等Tier1資本に係る調整項目（2）</b>				
8+9	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）の額の合計額	9,713	9,844	
8	うち、のれんに係るものの額	-	-	
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外のものの額	9,713	9,844	(6)
10	繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	
11	繰延ヘッジ損益の額	853	4	(7)
12	適格引当金不足額	30,945	26,688	
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	228	201	
15	前払年金費用の額	14,217	11,375	(8)
16	自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	107	92	
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-	
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	-	-	
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	
20	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	
21	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	
24	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	
25	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	
27	その他Tier1資本不足額	-	-	
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額 (ロ)	56,066	48,207	
<b>普通株式等Tier1資本</b>				
29	普通株式等Tier1資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	915,389	922,121	

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 単体】  
自己資本の構成に関する開示事項

(前ページより続く)

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行単体）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ	
		2023年3月末	2022年3月末	別紙様式 第十三号 (CC2) の参照項目	
<b>その他Tier1資本に係る基礎項目（3）</b>					
30	31a	その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-	
	31b	その他Tier1資本調達手段に係る新株予約権の額	-	-	
	32	その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	-	-	
		特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	-	-	
33+35	適格旧Tier1資本調達手段の額のうちその他Tier1資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-		
36	その他Tier1資本に係る基礎項目の額 (二)	-	-		
<b>その他Tier1資本に係る調整項目</b>					
37	自己保有その他Tier1資本調達手段の額	-	-		
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		
39	少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		
40	その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		
42	Tier2資本不足額	-	-		
43	その他Tier1資本に係る調整項目の額 (ホ)	-	-		
<b>その他Tier1資本</b>					
44	その他Tier1資本の額 ((二) - (ホ)) (ヘ)	-	-		
<b>Tier1資本</b>					
45	Tier1資本の額 ((ハ) + (ヘ)) (ト)	915,389	922,121		
<b>Tier2資本に係る基礎項目（4）</b>					
46	Tier2資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-		
	Tier2資本調達手段に係る新株予約権の額	-	-		
	Tier2資本調達手段に係る負債の額	8,489	14,482		
	特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	-	-		
47+49	適格旧Tier2資本調達手段の額のうちTier2資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-		
50	一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額	4	4		
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2算入額	4	4		
50b	うち、適格引当金Tier2算入額	-	-		
51	Tier2資本に係る基礎項目の額 (チ)	8,493	14,487		
<b>Tier2資本に係る調整項目（5）</b>					
52	自己保有Tier2資本調達手段の額	-	-		
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		
54	少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		
55	その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		
57	Tier2資本に係る調整項目の額 (リ)	-	-		
<b>Tier2資本</b>					
58	Tier2資本の額 ((チ) - (リ)) (ヌ)	8,493	14,487		
<b>総自己資本</b>					
59	総自己資本の額 ((ト) + (ヌ)) (ル)	923,883	936,608		

## CC1：自己資本の構成（銀行単体）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2023年3月末	2022年3月末	別紙様式 第十三号 (CC2) の参照項目
<b>リスク・アセット (6)</b>				
60	リスク・アセットの額 (ヲ)	8,383,510	8,181,745	
<b>自己資本比率及び資本バッファー (7)</b>				
61	普通株式等Tier1比率 ((ハ) / (ヲ))	10.91	11.27	
62	Tier1比率 ((ト) / (ヲ))	10.91	11.27	
63	総自己資本比率 ((ル) / (ヲ))	11.02	11.44	
<b>調整項目に係る参考事項 (8)</b>				
72	少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額	74,769	80,143	
73	その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	6,070	4,675	
74	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	-	-	
75	繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	-	-	
<b>Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項 (9)</b>				
76	一般貸倒引当金の額	4	4	
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額	321	282	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）	-	-	
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額	40,877	39,801	
<b>資本調達手段に係る経過措置に関する事項 (10)</b>				
82	適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額	-	-	
83	適格旧Tier1資本調達手段の額から適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）	-	-	
84	適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額	-	-	
85	適格旧Tier2資本調達手段の額から適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）	-	-	

## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 単体】

#### 定性的な開示事項

##### 金利リスクに関する事項

【自己資本の充実の状況】【銀行 連結】における「定性的な開示事項」の「金利リスクに関する事項」に記載しています。

#### 貸借対照表の科目が別紙様式第一号に記載する項目のいずれに相当するかについての説明

2022年3月末

(単位：百万円)

##### CC2：貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係

項目	イ	ハ	ニ
	公表貸借対照表	別紙様式第一号を参照する番号又は記号	付表参照番号
<b>資産の部</b>			
現金預け金	4,197,816		
コールローン	152,070		
買現先勘定	14,999		
買入金銭債権	10,400		
特定取引資産	137,929		
金銭の信託	2,079		
有価証券	2,463,245		6-a
貸出金	11,691,342		6-b
外国為替	5,970		
その他資産	191,539		6-c
有形固定資産	118,724		
無形固定資産	14,164	(6)	2
前払年金費用	14,908	(8)	3
支払承諾見返	23,657		
貸倒引当金	△ 27,638		
資産の部合計	19,011,209		
<b>負債の部</b>			
預金	14,787,688		
譲渡性預金	608,959		
コールマネー	681,777		
売現先勘定	13,945		
債券貸借取引受入担保金	262,547		
特定取引負債	10,448		
借入金	1,324,536		
外国為替	576		
社債	103,331		7
信託勘定借	8,883		
その他負債	166,519		
睡眠預金払戻損失引当金	1,296		
ポイント引当金	432		
繰延税金負債	26,290		4-a
再評価に係る繰延税金負債	10,407		4-b
支払承諾	23,657		
負債の部合計	18,031,298		
<b>純資産の部</b>			
資本金	145,069	(1)	1-a
資本剰余金	122,134	(2)	1-b
利益剰余金	647,883	(3)	1-c
自己株式	△ 53,108	(4)	1-d
株主資本合計	861,978		
その他有価証券評価差額金	102,942		
繰延ヘッジ損益	5,198	(7)	5
土地再評価差額金	9,791		
評価・換算差額等合計	117,932	(5)	
新株予約権	-		
純資産の部合計	979,911		
負債及び純資産の部合計	19,011,209		

2023年3月末

(単位：百万円)

## CC2：貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係

項目	イ	ハ	ニ
	公表貸借対照表	別紙様式第一号を 参照する番号又は 記号	付表 参照番号
<b>資産の部</b>			
現金預け金	4,061,582		
コールローン	335,089		
買現先勘定	17,999		
債券貸借取引支払保証金	5,446		
買入金銭債権	10,982		
特定取引資産	161,660		
金銭の信託	2,079		
有価証券	2,554,340		6-a
貸出金	12,153,618		6-b
外国為替	5,375		
その他資産	228,007		6-c
有形固定資産	117,499		
無形固定資産	13,976	(6)	2
前払年金費用	19,009	(8)	3
支払承認見返	29,727		
貸倒引当金	△ 25,819		
資産の部合計	19,690,575		
<b>負債の部</b>			
預金	15,424,491		
譲渡性預金	554,748		
コールマネー	810,859		
売現先勘定	17,160		
債券貸借取引受入担保金	337,074		
特定取引負債	18,618		
借入金	1,194,268		
外国為替	724		
社債	110,038		7
信託勘定借	13,439		
その他負債	166,448		
睡眠預金払戻損失引当金	910		
ポイント引当金	502		
繰延税金負債	18,834		4-a
再評価に係る繰延税金負債	10,402		4-b
支払承認	29,727		
負債の部合計	18,708,250		
<b>純資産の部</b>			
資本金	145,069	(1)	1-a
資本剰余金	122,146	(2)	1-b
利益剰余金	686,795	(3)	1-c
自己株式	△ 62,943	(4)	1-d
株主資本合計	891,067		
その他有価証券評価差額金	70,926		
繰延ヘッジ損益	10,408	(7)	5
土地再評価差額金	9,921		
評価・換算差額等合計	91,257	(5)	
純資産の部合計	982,325		
負債及び純資産の部合計	19,690,575		

【自己資本の充実の状況】  
【銀行 単体】  
定性的な開示事項

≪付表≫ 単体

株主資本

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
資本金	145,069	145,069		1-a
資本剰余金	122,134	122,146		1-b
利益剰余金	647,883	686,795		1-c
自己株式	△ 53,108	△ 62,943		1-d
株主資本合計	861,978	891,067		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
普通株式等Tier1資本に係る額	861,978	891,067	普通株式に係る株主資本の額 (社外流出予定額調整前)	
うち、資本金及び資本剰余金の額	267,203	267,215		1a
うち、利益剰余金の額	647,883	686,795		2
うち、自己株式の額 (△)	53,108	62,943		1c
うち、上記以外に該当するものの額	-	-		

無形固定資産

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
無形固定資産	14,164	13,976		2
うち、のれん	-	-		
うち、モーゲージ・サービシング・ライツ	-	-		
うち、その他の無形固定資産	14,164	13,976	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外 (ソフトウェア等)	
上記に係る税効果	4,320	4,262	全額費用認識した場合の繰延税金 資産相当額	

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
無形固定資産 のれんに係るものの額	-	-		8
無形固定資産 その他の無形固定資産に係るものの額	9,844	9,713	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外 (ソフトウェア等) 税効果控除後	9
無形固定資産 モーゲージ・サービシング・ライツに係るものの額	-	-		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		20
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		24
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-	-		74

## 前払年金費用

### (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
前払年金費用	14,908	19,009		3
上記に係る繰延税金負債	3,532	4,791		

### (2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
前払年金費用の額	11,375	14,217	繰延税金負債控除後	15

## 繰延税金資産

### (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
繰延税金負債	26,290	18,834		4-a
再評価に係る繰延税金負債	10,407	10,402		4-b
その他の無形固定資産の税効果勘案分	4,320	4,262	全額費用認識した場合の繰延税金 資産相当額	
前払年金費用の繰延税金負債	3,532	4,791		

### (2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	資産負債相殺処理のため、貸借対照 表計上額とは一致せず	10
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）の額	-	-	資産負債相殺処理のため、貸借対照 表計上額とは一致せず	
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		21
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		25
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。） に係る調整項目不算入額	-	-		75

## 繰延ヘッジ損益

### (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
繰延ヘッジ損益	5,198	10,408		5

### (2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
繰延ヘッジ損益の額	4	853	ヘッジ対象に係る時価評価差額が 「評価・換算差額等」として計上さ れているものを除いたもの	11



## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 単体】

#### 定性的な開示事項

#### 金融機関向け出資等の対象科目

##### (1) 貸借対照表

(単位：百万円)				
貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
有価証券	2,463,245	2,554,340	うち、金融機関向け出資等 2022年3月末 65,248百万円 2023年3月末 64,784百万円	6-a
貸出金	11,691,342	12,153,618	劣後ローン等を含む うち、金融機関向け出資等 2022年3月末 19,661百万円 2023年3月末 16,161百万円	6-b
その他資産	191,539	228,007	出資金を含む うち、金融機関向け出資等 2022年3月末 2百万円 2023年3月末 2百万円	6-c

##### (2) 自己資本の構成

(単位：百万円)				
自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
自己保有資本調達手段の額	92	107		
自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	92	107		16
自己保有その他Tier1資本調達手段の額	-	-		37
自己保有Tier2資本調達手段の額	-	-		52
意図的に保有している他の金融機関等の資本等調達手段の額	-	-		
意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-		17
意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		38
意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		53
少数出資金融機関等の資本等調達手段の額	80,143	74,769		
少数出資金融機関等の普通株式の額	-	-		18
少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		39
少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		54
少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額	80,143	74,769		72
その他金融機関等の資本等調達手段の額	4,675	6,070		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		19
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		23
その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		40
その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		55
その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	4,675	6,070		73

## その他資本調達

### (1) 貸借対照表

(単位：百万円)				
貸借対照表科目	2022年3月末	2023年3月末	備考	参照番号
社債	103,331	110,038		7

### (2) 自己資本の構成

(単位：百万円)				
自己資本の構成に関する開示事項	2022年3月末	2023年3月末	備考	国際様式の 該当番号
その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	-	-		32
Tier2資本調達手段に係る負債の額	14,482	8,489		46

### 自己資本調達手段に関する契約内容

バーゼルⅢによる自己資本比率規制に係る開示事項のうち「自己資本調達手段に関する契約内容の概要および詳細」につきましては、当行ウェブサイト (<https://www.chibabank.co.jp/company/ir/library/capital/>) に掲載しています。

# 【自己資本の充実の状況】

## 【銀行 単体】

### 定量的な開示事項

#### 開示告示別紙様式第二号に基づく開示事項

##### 第一面 OV1：リスク・アセットの概要

(単位：百万円)

##### OV1：リスク・アセットの概要

国際様式の 該当番号		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセット		所要自己資本	
		2023年3月末	2022年3月末	2023年3月末	2022年3月末
1	信用リスク	5,188,127	4,993,814	439,265	422,796
2	うち、標準的手法適用分	25,744	22,639	2,059	1,811
3	うち、内部格付手法適用分	5,044,883	4,852,451	427,806	411,487
	うち、重要な出資のエクスポージャー	-	-	-	-
	うち、リース取引における見積残存価額のエクスポージャー	-	-	-	-
	その他	117,499	118,724	9,399	9,497
4	カウンターパーティ信用リスク	139,279	132,646	11,317	10,787
5	うち、SA-CCR 適用分	35,467	35,678	3,007	3,025
6	うち、期待エクスポージャー方式適用分	-	-	-	-
	うち、CVAリスク	101,498	95,435	8,119	7,634
	うち、中央清算機関関連エクスポージャー	1,213	594	97	47
	その他	1,099	937	93	79
7	マーケット・ベース方式に基づく株式等エクスポージャー	196,967	202,769	16,702	17,194
8	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（レック・スルー方式）	955,910	970,753	80,950	82,238
9	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（マンドート方式）	69,539	75,849	5,563	6,067
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式250%）	-	-	-	-
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式400%）	-	-	-	-
10	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（フォールバック方式1250%）	2,744	1,344	219	107
11	未決済取引	-	-	-	-
12	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	-	-	-	-
13	うち、内部格付手法準拠方式又は内部評価方式適用分	-	-	-	-
14	うち、外部格付準拠方式適用分	-	-	-	-
15	うち、標準的手法準拠方式適用分	-	-	-	-
	うち、1250%のリスク・ウェイト適用分	-	-	-	-
16	マーケット・リスク	130,872	136,587	10,469	10,926
17	うち、標準的方式適用分	130,872	136,587	10,469	10,926
18	うち、内部モデル方式適用分	-	-	-	-
19	オペレーショナル・リスク	307,458	291,297	24,596	23,303
20	うち、基礎的手法適用分	-	-	-	-
21	うち、粗利益配分手法適用分	307,458	291,297	24,596	23,303
22	うち、先進的計測手法適用分	-	-	-	-
23	特定項目のうち、調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	15,175	11,687	1,286	991
	経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	-	-	-	-
24	フロア調整	1,003,843	1,001,558	80,307	80,124
25	合計	8,009,919	7,818,307	670,680	654,539

※1.「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会より2015年1月に公表された「開示要件（第3の柱）の改訂に係る最終規則文書」における開示様式に記載された項目番号です。

※2.内部格付手法が適用される資産については、リスク・アセットの額はスケールリング・ファクター（1.06）を乗じる前の額を記載し、所要自己資本の額はスケールリング・ファクター（1.06）を乗じて得たリスク・アセットの額に8%を乗じて得た額を記載しています。

第三十面 IRRBB1：金利リスク

(単位：百万円)

IRRBB1：金利リスク

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		ΔEVE		ΔNII	
		2023年3月末	2022年3月末	2023年3月末	2022年3月末
1	上方パラレルシフト	38,567	81,224	106	312
2	下方パラレルシフト	3	13	39,590	35,080
3	スティープ化	57,854	81,770		
4	フラット化	22	2		
5	短期金利上昇	8,357	7,630		
6	短期金利低下	27,427	19,192		
7	最大値	57,854	81,770	39,590	35,080
		ホ		へ	
		2023年3月末		2022年3月末	
8	Tier1 資本の額	915,389		922,121	

※1. ΔEVEは経済的価値の減少をプラス、ΔNIIは期間収益の減少をプラスで表しています。

※2. ΔEVE及びΔNIIにおける複数の通貨の集計は、異なる通貨間の相関を考慮せず、通貨別に算出した金利リスクの正値（経済的価値や期間収益の減少額）を単純合算しています。

※3. ΔEVEの算出における流動性預金への満期の割当て方法については、金融庁が定める保守的な前提を採用しています。

## 【自己資本の充実の状況】

### 【銀行 単体】

## 単体レバレッジ比率に関する開示事項

### 単体レバレッジ比率の構成に関する事項

(単位：百万円、%)

国際様式 (表2)の 該当番号	国際様式 (表1)の 該当番号	項目	2023年3月末	2022年3月末
<b>オン・バランス資産の額 (1)</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	15,587,685	14,799,611
	1a	1 貸借対照表における総資産の額	15,736,108	14,908,289
	1b	3 貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	148,423	108,678
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額 (△)	54,984	48,001
3		オン・バランス資産の額 (イ)	15,532,700	14,751,610
<b>デリバティブ取引等に関する額 (2)</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	56,087	51,107
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	48,426	35,528
6		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	32,277	23,006
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	-	-
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	72,236	63,629
<b>レポ取引等に関する額 (3)</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	23,446	14,999
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	-	-
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	8,968	6,747
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	32,415	21,747
<b>オフ・バランス取引に関する額 (4)</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	3,431,960	3,520,595
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	2,895,954	2,982,873
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	536,006	537,722
<b>単体レバレッジ比率 (5)</b>				
20		資本の額 (ホ)	915,389	922,121
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	16,173,359	15,374,709
22		単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	5.65	5.99
		適用する所要単体レバレッジ比率	3.00	
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 (6)</b>				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	16,173,359	15,374,709
		日本銀行に対する預け金の額	3,954,466	4,102,920
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ´)	20,127,825	19,477,629
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ´))	4.54	4.73

※「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表された「レバレッジ比率の枠組みと開示要件」と題する文書の表1及び表2に記載された番号です。

### 前事業年度の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因

該当事項はありません。